

[保健福祉事業]

医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に係る  
QOL向上等のための調査研究事業報告書

【令和6事業年度報告書】

令和8年3月

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構



## はじめに

独立行政法人医薬品医療機器総合機構の保健福祉事業の一環として、平成 17 年度に実施した医薬品の副作用による健康被害実態調査の結果を踏まえ、障害者のための一般施策では必ずしも支援が十分でないと考えられる重篤かつ希少な健康被害者の QOL の向上策及び必要なサービス提供の在り方等を検討するための資料を得るため、健康被害を受けられた方々の日常生活の様々な取り組み状況を報告していただく調査研究事業を実施するにあたり、有識者の方からご意見をいただくために平成 18 年 4 月に「医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に係る QOL 向上等のための調査研究班」を設置しました。

本報告書は、令和 6 年 4 月から令和 7 年 3 月までの日常生活の状況等について調査を実施してその結果をとりまとめたものです。

日常生活の状況等の調査の実施に当たっては、健康被害を受けた方や家族の方々のご協力をいただき心から感謝を申し上げます。



〔医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に  
係るQOL向上等のための調査研究班〕

小澤 温	筑波大学・名誉教授
金子 美子	京都府立医科大学教育センター呼吸器内科 講師（呼吸器内科学）
高橋 孝雄	新百合ヶ丘病院総合病院発達神経学センター センター長（小児科学）
坪田 一男	株式会社坪田ラボ 代表取締役社長（眼科学）
松永 千恵子	国際医療福祉大学医療福祉学部 教授（社会福祉学）



## 目 次

<b>I 医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に係るQOL向上等のための調査研究事業の実施概要</b>	<b>1</b>
1. 目的	3
2. 事業内容	3
<b>II 生活状況調査結果のとりまとめについて</b>	<b>5</b>
<b>(1) A票（福祉サービスの利用状況についての調査）から見た生活状況の概要</b>	<b>8</b>
■ 使用している点眼液について（SJSの健康被害者の方のみに質問）	8
■ 福祉サービスの利用状況について（SJSの健康被害者の方のみに質問）	10
■ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスの利用状況について（SJSの健康被害者の方のみに質問）	11
① 同行援護	11
② 移動支援	11
③ 就労継続支援A型	12
④ 就労継続支援B型	12
⑤ 上記以外のサービス	12
■ 介護保険制度に基づく福祉サービスの利用状況について	14
① 訪問介護	14
② 訪問入浴介護	15
③ 訪問看護	15
④ 訪問リハビリテーション	15
⑤ 居宅療養管理指導	16
⑥ 通所介護	16
⑦ 通所リハビリテーション	16
⑧ 短期入所	17
⑨ 送迎サービス	17
⑩ その他の福祉サービス	18
⑪ 福祉サービスの年間利用状況	19
■ 診察回数の状況について（SJSの健康被害者の方のみに質問）	20
⑫ SJS専門医への診察回数の状況	20
⑬ SJS専門医の診察で通院に係る交通費	20
⑭ 入院の有無	21
<b>(2) B票（社会活動を中心とした調査）からみた生活状況の概要</b>	<b>22</b>
■ 健康被害者の外出について	22
① 外出の頻度	22

①-1 外出に当たっての介助者 .....	24
■ 外出に当たって困ること・不満に思うことについて .....	26
② 外出に当たって困ること・不満に思うことの有無 .....	26
②-1 外出に当たって困ること・不満に思うこと .....	28
②-2 外出する上で工夫したこと【外出前の準備】（SJS の健康被害者の方のみに質問） ..	30
②-2 外出する上で工夫したこと【服装・持ち物】（SJS の健康被害者の方のみに質問） ..	32
②-2 外出する上で工夫したこと【移動手段】（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	34
②-2 外出する上で工夫したこと .....	36
■ 社会参加や社会活動について .....	37
③ 社会参加・社会活動等の状況 .....	37
③-1 社会参加・社会活動等をしなかった理由（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	39
③-2 社会参加・社会活動等のきっかけ（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	41
③-3 社会参加・社会活動等の内容 .....	42
■ 屋内での生活における工夫について .....	44
④ 屋内での生活における工夫の有無（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	44
④-1 屋内での生活における工夫【家のづくり等】（SJS の健康被害者の方のみに質問） ..	46
④-1 屋内での生活における工夫【補助用具等】（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	48
④-1 屋内での生活における工夫【衛生面等】（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	50
④-1 屋内での生活における工夫【区別方法】（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	52
④-2 屋内での生活における工夫 .....	54
■ 日常生活について（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	55
⑤ 日常生活について .....	55
⑤-1 新聞や本を読むことの不自由さについて .....	55
⑤-2 目や目のまわりの痛み・不快感の程度について .....	57
⑤-3 ものが見えにくいいため物事を思いどおりにやりとげられない場合 .....	59
⑤-4 思いどおりにやりとげられないためイライラすることの有無 .....	61
⑤-5 呼吸器領域に関する診断の有無 .....	63
⑤-6 呼吸器に関する症状の有無 .....	65
⑤-7 視力以外の状況【皮膚や爪に関する症状】 .....	67
⑤-7 視力以外の状況【内臓機能に関する症状】 .....	69
⑤-7 視力以外の状況【聴覚に関する症状】 .....	71
⑤-7 視力以外の状況【眼科領域（視力障害以外）に関する症状】 .....	73
⑤-7 視力以外の状況【口腔に関する症状】 .....	75
⑤-7 視力以外の状況【精神的な症状】 .....	77
⑤-7 視力以外の状況（その他の後遺症等）について .....	79
■ 主たる介護者の状況について .....	80
◎主たる介護者 .....	80
⑥ 主たる介護者の健康状態 .....	81

⑥-1 主たる介護者の健康状態 詳細 .....	83
⑦ 介護をしていく中で困ったことの有無 .....	85
⑦-1 介護をしていく中で困ったこと .....	87
⑦-2 困ったことがあった場合、誰かに相談したか .....	88
⑦-3 解決策の有無 .....	90
⑦-4 困ったことの解決策 .....	92
⑦-5 困ったことの解決方法 .....	93
⑧ 主たる介護者を支えるものの有無 .....	94
⑧-1 介護者を支えるもの 具体的内容 .....	96
⑨ 介護者の社会参加・社会活動等の状況 .....	97
⑨-1 介護者の社会参加・社会活動等をしなかった理由（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	99
⑨-2 介護者の社会参加・社会活動のきっかけ（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	101
⑨-3 介護者の社会参加・社会活動等の内容 .....	102
⑩ 新しい発見や気分転換などの有無 .....	104
⑩-1 新しい発見や気分転換について .....	106
<b>(3) C票（過去1年間の日常生活状況調査）からみた生活状況の概要</b> .....	107
■ 治療状況 .....	107
① 健康被害を受けた方の治療状況 .....	107
② 副作用の疾患以外で治療を受けるときに注意していること .....	108
②-1 通院時に注意している点 .....	108
②-2 治療を受けるときに注意している点 .....	110
②-3 治療を受けるときに困ったこと（SJS の健康被害者の方のみに質問） .....	111
②-4 その他注意している点 .....	112
■ 過去1年間の日常生活について .....	113
③ 困ったことの有無 .....	113
③-1 困ったことについて .....	114
③-2 困ったことがあった場合、誰に相談したか .....	115
③-3 解決策の有無 .....	116
③-4 解決策について .....	117
③-5 解決方法について .....	118
④ 日常生活の満足度 .....	119
④-1 満足度の理由について .....	120
⑤ 日常生活を満足にするために一番やりたいことについて .....	122
⑤-1 実現可能性 .....	124
⑤-2 実現可能性の理由について .....	125
⑥ 今後やってみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動について（複数回答） ..	126
⑥-1 今後やってみたい活動についての情報取得元（複数回答） .....	127

■ 福祉サービスについて.....	128
⑦ 必要な福祉サービスについて（複数回答） .....	128
■ 必要な情報について.....	129
⑧ 必要な情報について（複数回答） .....	129
⑧-1 今必要な情報についての情報取得元（複数回答） .....	131
III む す び.....	133
IV 参 考 資 料.....	137
V 用語の解説.....	175
VI 保健福祉事業の一環として実施する調査研究報告書（生活状況調査票） .....	181
VII 健康状態報告書（診断書様式） .....	231
VIII 自由欄に記載されたお悩み事項についてのFAQ .....	239

**I 医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に係るQOL向上等のための調査研究事業の実施概要**



# 医薬品による重篤かつ希少な健康被害に係る QOL向上等のための調査研究事業の実施概要

## 1. 目的

独立行政法人医薬品医療機器総合機構の保健福祉事業の一環として、平成17年度に実施した医薬品の副作用による健康被害実態調査の結果を踏まえ、障害者のための一般施策では必ずしも支援が十分でないと考えられる重篤かつ希少な健康被害者のQOLの向上策及び必要なサービス提供の在り方等を検討するための資料を得ることを目的として、調査研究事業を実施した。

## 2. 事業内容

健康被害を受けられた方々の日常生活の様々な取り組み状況等について、調査票等により報告していただき、その内容について集計と解析・評価を行う。

### (1) 事業実施時期

令和6年4月1日から令和7年3月31日

### (2) 調査研究対象者

医薬品の副作用により重篤（障害年金受給相当）かつ希少な健康被害（ライ症候群及び重度のSJS）を受けた者

### (3) 調査票の種別

A票（福祉サービスの利用状況についての調査）

B票（社会活動を中心とした調査）

C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）

D票（健康状態報告書（医師記入用））

①医薬品副作用被害救済制度における障害年金等受給者は、現況届に添付する診断書の写しを健康状態報告書として取り扱う。

②医薬品副作用被害救済制度の障害年金等受給者以外の者はD票（本調査研究事業用診断書）を提出する。

(4) 調査票の記入時期及び提出時期

調査票	記 入 時 期	提 出 時 期
A票	毎月の状況を末日に記入する。	3ヶ月分まとめて 7月、10月、1月、4月の各月の10日までに提出
B票	3ヶ月間の状況を四半期毎の（6月、9月、12月、3月）末日に記入する。	7月、10月、1月、4月の各月の10日までに提出
C票	1年間の状況を年1回3月末日に記入する。	4月10日までに提出
D票	年1回12月の健康状態を医師が記入する。	1月10日までに本人が提出

## Ⅱ 生活状況調査結果のとりまとめについて



# 生活状況調査結果のとりまとめについて

## 1. 回答状況（各四半期共通）

各四半期における調査への回答状況（回収率等）は、以下のとおりである。

第1・四半期：71名中54名（回収率76.0%）うちライ症候群：5名、SJS：49名

第2・四半期：70名中53名（回収率75.7%）うちライ症候群：4名、SJS：49名

第3・四半期：70名中52名（回収率74.3%）うちライ症候群：4名、SJS：48名

第4・四半期：70名中53名（回収率75.7%）うちライ症候群：5名、SJS：48名

特段の記載がない限り、各四半期の集計に当たっての母数は上記のとおりである。

また、割合等の集計結果は端数処理（四捨五入）の関係で合計が一致しない場合がある。

## 2. 基本情報

表-1 男女・年代別（人数）

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70代	80代以上	合計
男	0	0	1	2	1	9	3	2	5	3	26
女	0	0	1	0	3	7	1	6	7	5	30
合計	0	0	2	2	4	16	4	8	12	8	56

表-2 男女・疾病別（人数）

	ライ症候群	SJS	合計
男	3	23	26
女	2	28	30
合計	5	51	56

表-3 疾病・年代別（人数）

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70代	80代以上	合計
ライ症候群	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0	5
SJS	0	0	0	1	2	16	4	8	12	8	51
合計	0	0	2	2	4	16	4	8	12	8	56

### 3. 調査結果の概要

#### (1) A票（福祉サービスの利用状況についての調査）から見た生活状況の概要

##### ■ 使用している点眼液について（SJSの健康被害者の方のみに質問）

○SJSの健康被害者が現在使用している点眼液は、表1-1のとおりである。なお、各月の延べの使用人数を示している。

表1-1 現在使用している点眼液

点眼薬	投与	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① ソフトサンティア	両目	23	23	23	25	25	25	24	24	24	23	24	23	23.8
	右目	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1.3
	左目	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1.3
	合計	26	25	25	28	28	28	26	27	27	25	26	26	26.4
② クラビット	両目	2	3	3	5	5	5	1	3	3	5	5	4	3.7
	右目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1.3
	左目	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0.8
	合計	4	5	5	6	6	6	3	5	5	8	8	7	5.7
③ ヒアレイン	両目	2	2	2	6	5	4	4	3	3	3	3	3	3.3
	右目	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.1
	左目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	合計	2	2	2	6	5	5	4	3	3	3	3	3	3.4
④ フルメトロン	両目	22	21	21	20	19	18	20	20	19	19	17	17	19.4
	右目	4	3	3	2	2	2	4	4	4	3	4	4	3.3
	左目	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1.0
	合計	27	25	24	23	22	21	25	25	24	23	22	23	23.7
⑤ 0.1%ヒアレインミニ	両目	20	20	19	20	19	19	18	20	20	19	19	18	19.3
	右目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	左目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	合計	21	21	20	21	20	20	19	21	21	20	20	19	20.3
⑥ リンデロン	両目	1	1	1	1	1	2	0	0	0	1	1	1	0.8
	右目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	左目	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1.2
	合計	2	2	2	2	3	4	1	1	1	2	2	2	2.0
⑦ 0.3%ヒアレインミニ	両目	6	6	7	7	7	7	10	10	9	8	9	9	7.9
	右目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0.3
	左目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	合計	6	6	7	7	7	7	10	10	9	9	10	10	8.2
⑧ 血清点眼	両目	5	5	5	4	4	3	5	5	5	4	2	4	4.3
	右目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	左目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	合計	6	6	6	5	5	4	6	6	6	5	3	5	5.3
⑨ その他眼科処方薬	両目	58	58	58	59	56	56	57	57	53	56	54	51	56.1
	右目	5	5	4	5	5	5	5	4	5	6	6	6	5.1
	左目	9	7	8	5	5	5	6	7	7	8	8	8	6.9
	合計	72	70	70	69	66	66	68	68	65	70	68	65	68.1
⑩ 涙点プラグ	両目	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2.3
	右目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	左目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.1
	合計	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	4	3	2.3
SJS回答者数		49	49	49	49	49	49	48	48	48	48	48	48	—
点眼液投与患者数		49	49	49	49	49	49	48	48	48	48	48	48	—

□月々の点眼液を使用している平均延べ人数では、ソフトサンティアが26.4人、フルメトロンが23.7人、0.1%ヒアレインミニが20.3人となっている。

○SJS の健康被害者が使用している点眼液の推移は、表 1-2 及び図 1-1 のとおりである。

表 1-2 使用している点眼液の推移

点眼液	令和元年度 平均	令和2年度 平均	令和3年度 平均	令和4年度 平均	令和5年度 平均	令和6年度 平均
①ソフトサンティア	22.8	23.4	22.6	23.8	24.1	26.4
②クラビット	7.5	5.4	3.8	4.9	5.9	5.7
③ヒアレイン	4.7	2.1	3.1	3.2	3.1	3.4
④フルメトロン	24.9	25.5	24	23.9	21.6	23.7
⑤0.1%ヒアレインミニ	19.1	19.9	20.9	21.7	20.8	20.3
⑥リンデロン	3.7	3.3	3.9	3.8	2.9	2.0
⑦0.3%ヒアレインミニ	7.9	8.7	6.8	7.3	7.3	8.2
⑧血清点眼	6.6	7	7.4	5.5	6.7	5.3
⑨その他眼科処方薬	64.6	43.8	46.3	39.3	37.8	68.1
⑩涙点プラグ	5.6	4	0.9	3.1	3.1	2.3

(人) ■ 令和元年度平均 ■ 令和2年度平均 ■ 令和3年度平均 ■ 令和4年度平均 ▨ 令和5年度平均 ▩ 令和6年度平均

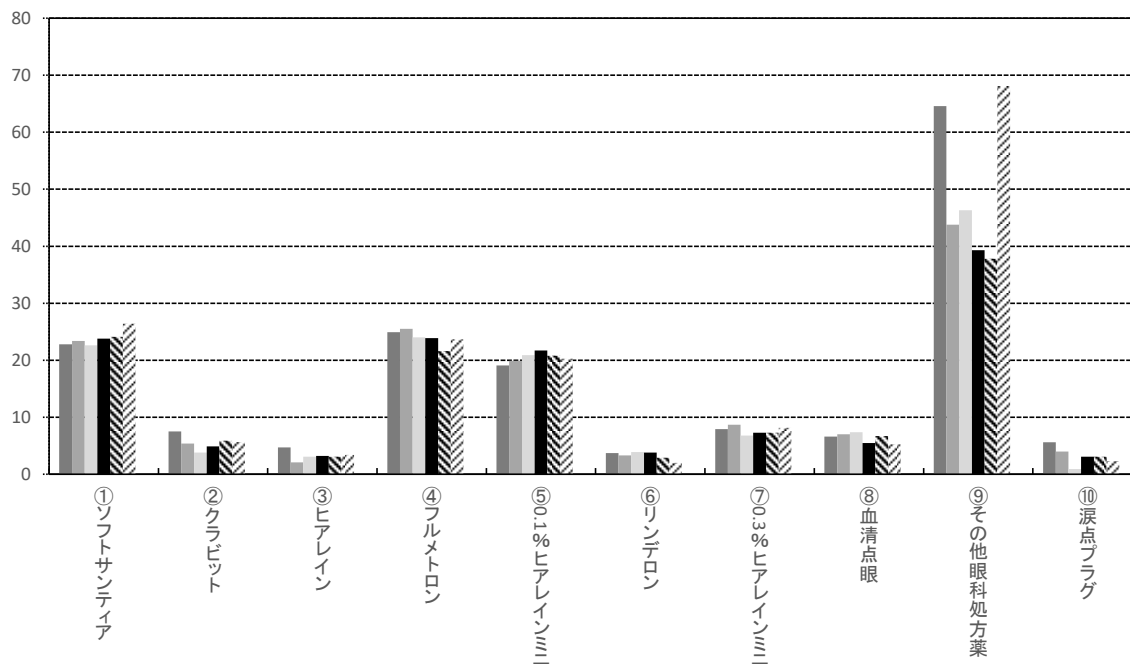


図 1-1 使用している点眼液の推移

■ 福祉サービスの利用状況について（SJS の健康被害者の方のみに質問）

○ 福祉サービスの利用状況は、以下のとおりである。

表 1-3 福祉サービスの月別の利用状況

利用状況（人）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① 障害者総合支援法に基づく福祉サービス	21	20	19	22	21	22	20	20	19	22	22	20	20.7
② 介護保険制度に基づく福祉サービス	10	9	8	10	10	10	11	10	9	10	11	11	9.9
③ 上記①②以外の福祉サービス	2	1	2	2	1	2	3	3	3	2	2	2	2.1

□ 利用者数は「①障害者総合支援法に基づく福祉サービス」は延べ 248 人で、平均では毎月 20.7 人が、「②介護保険制度に基づく福祉サービス」は延べ 119 人で、平均では毎月 9.9 人が、「③上記①②以外の福祉サービス」は延べ 25 人で、平均では毎月 2.1 人が利用している

○ 「③上記①②以外の福祉サービス」の主な具体的内容は、以下のとおりである  
（自由記載、順不同、複数記載）

- ・ 月一度の見守り
- ・ 音訳サービス・某都道府県障害者福祉会館における視覚障害者文字サービス（代読・代筆・PC 入力も含む）・地元社会福祉協議会からの有償ボランティアサポートによる屋内片付け（週一回）・国民健康保険制度による訪問看護（毎週一回ずつの健康管理、2 週間毎のアレルギー皮下注射サポート）・訪問薬剤管理（週一回の分包管理サポート））・在宅訪問による PC サポート>
- ・ サピエ
- ・ 同行援護のガイドヘルパー
- ・ 福祉医療費受給、特定医療費（指定難病）受給
- ・ 盲養護老人ホームでの契約入所

■ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスの利用状況について（SJS の健康被害者の方のみに質問）

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスの利用状況は、以下のとおりである。

○ なお、満足度の点数は、「不満」～「満足」を以下の4段階で評価する。

- ・ 満足： 4点
- ・ やや満足： 3点
- ・ やや不満： 2点
- ・ 不満： 1点

① 同行援護

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスのうち、同行援護の利用状況は、表1-4のとおりである。

表1-4 同行援護の月別の利用状況

同行援護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数(人)	15	14	12	15	15	16	16	16	15	16	17	17	15.3
平均利用日数(日)	5.3	5.6	4.3	5.5	5.4	5.6	6.1	5.6	5.9	5.4	5.3	5.6	5.5
満足度平均(4点満点)	3.3	3.2	3.2	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.5	3.4

□ 利用者数は延べ184人で、平均では毎月15.3人が利用している

□ 平均利用日数は月に5.5日となっている

□ サービスに対する満足度は平均すると3.4点となっている

□ 満足度が高い理由としては「見えないので代わりに見てもらい助かっている」「気を使って、安全に歩行を助けてもらっている。」などをあげている

② 移動支援

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスのうち、移動支援の利用状況は、表1-5のとおりである。

表1-5 移動支援の月別利用状況

移動支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数(人)	2	1	0	1	2	2	0	0	0	1	1	1	0.9
平均利用日数(日)	1.0	1.0	-	2.0	4.0	6.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	1.4
満足度平均(4点満点)	4.0	4.0	-	4.0	4.0	4.0	-	-	-	4.0	-	4.0	4.0

□ 利用者数は延べ11人で、平均では毎月0.9人が利用している

□ 平均利用日数は月に1.4日となっている

□ サービスに対する満足度は平均すると4.0点となっている

□ 満足度が高い理由としては「玄関まで送りむかえして頂いているので助かっている」「気くばりがあり歩くのに不安なし」等をあげている

### ③ 就労継続支援 A 型

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスのうち、就労継続支援 A 型の利用状況は、表 1-6 のとおりである。

表 1-6 就労継続支援 A 型の月別の利用状況

就労継続支援A型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平均利用日数(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満足度平均(4点満点)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

本年度の利用者はなかった

### ④ 就労継続支援 B 型

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスのうち、就労継続支援 B 型の利用状況は、表 1-7 のとおりである。

表 1-7 就労継続支援 B 型の月別の利用状況

就労継続支援B型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数(人)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
平均利用日数(日)	13.5	12.5	13.0	16.5	13.0	13.5	14.5	13.5	12.0	13.0	11.5	13.0	13.3
満足度平均(4点満点)	3.0	3.0	3.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.5	2.5	2.5	2.6

利用者数は延べ 24 人で、平均 2.0 人が利用している

平均利用日数は月に 13.3 日となっている

サービスに対する満足度は平均 2.6 点となっている

### ⑤ 上記以外のサービス

○ 上記①～④以外の障害者総合支援法に基づく福祉サービスの利用状況は、表 1-8 のとおりである。

表 1-8 その他障害者総合支援法に基づく福祉サービスの利用状況

上記以外のサービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数(人)	7	6	6	5	5	5	5	6	6	6	5	6	5.7
平均利用日数(日)	4.9	5.5	7.8	8.6	6.0	8.0	7.8	7.8	7.5	7.7	9.0	9.0	7.5
満足度平均(4点満点)	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.5	3.2	3.2	3.3	3.4	3.0	3.2

利用者数は延べ 68 人で、平均では毎月 5.7 人が利用している

平均利用日数は月に 7.5 日となっている

サービスに対する満足度は平均すると 3.2 点となっている

満足度が高い理由としては「自分では出来ない事をこなして頂くので、助かっている。」「朗読 CD は、本が読めないなので、心が穏かになります。」などをあげている

○具体的な「⑤上記以外のサービス」の内容は、以下のとおりである  
(自由記載、順不同、複数記載)。

- ・同行援護
- ・演奏会
- ・家事援助
- ・デイジー図書
- ・家事援助 買物 粗大ゴミ出し

## ■ 介護保険制度に基づく福祉サービスの利用状況について

○介護保険制度に基づく福祉サービスの利用状況は、以下のとおりである。

なお、満足度の点数は、「不満」～「満足」を以下の4段階で評価する。

- ・満足： 4点
- ・やや満足： 3点
- ・やや不満： 2点
- ・不満： 1点

○併せて、令和1年度～令和5年度の平均値も示す。

### ① 訪問介護

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、訪問介護の利用状況および介護内容は、表1-9、表1-10のとおりである。

表1-9 訪問介護の月別の利用状況

訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	5	5	4	7	6	5	6	6	6	5	5	5	5.4	6.3	6.3	5.9	3.2	4.6
平均利用日数(日)	16.2	16.2	18.5	12.6	14.7	16.6	13.7	14.2	14.2	16.6	16.2	16.6	15.5	15.7	16.7	17.5	24.9	18.1
満足度平均(4点満点)	3.6	3.6	3.5	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	3.8	3.6	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9

表1-10 介護内容の月別の状況

介護内容(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
身体介護中心型	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3.3	4.0	5.8	3.5	2.1	2.8
生活援助中心型	4	4	3	4	4	2	4	4	4	3	2	3	3.4	4.1	4.1	4.0	2.3	4.2
通院等乗降介助	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.7	0.7	0.2	0.1	0.4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

□利用者数は延べ65人で、平均では毎月5.4人が利用している

□平均利用日数は月に15.5日となっている

□サービスに対する満足度は平均すると3.6点となっている

□満足度が高い理由としては「身の回りの掃除をしてくれ助かっている」などをあげている

## ② 訪問入浴介護

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、訪問入浴介護の利用状況は、表 1-11 のとおりである。

表 1-11 訪問入浴介護の月別の利用状況

訪問入浴介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1.3	2.1	2.0	2.0	2.4	3.0
平均利用日数(日)	19.5	20.0	18.5	27.0	27.0	25.0	27.0	26.0	26.0	23.0	23.0	19.5	23.5	18	17.8	17.3	18.9	19.4
満足度平均(4点満点)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.0	3.0	2.9	3.0	3.3	3.4

- 利用者数は延べ 16 人で、平均では毎月 1.3 人が利用している
- 平均利用日数は月に 23.5 日となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.0 点となっている
- 満足度の理由としては「人によるが、おおむね満足している」などをあげている

## ③ 訪問看護

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、訪問看護の利用状況は、表 1-12 のとおりである。

表 1-12 訪問看護の月別の利用状況

訪問看護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	5	5	5	3	3	3	4	3	3	4	4	5	3.9	4.6	4.2	3.7	3	3.3
平均利用日数(日)	6.6	6.6	5.6	7.0	7.0	6.3	8.3	7.3	7.7	6.0	5.8	7.4	6.8	7.0	4.9	4.7	4.8	5.0
満足度平均(4点満点)	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	3.9	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7

- 利用者数は延べ 47 人で、平均では毎月 3.9 人が利用している
- 平均利用日数は月に 6.8 日となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.9 点となっている
- 満足度が高い理由としては「生活のアドバイスを受けることが出来る。」などをあげている

## ④ 訪問リハビリテーション

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、訪問リハビリテーションの利用状況は、表 1-13 のとおりである。

表 1-13 訪問リハビリテーションの月別の利用状況

訪問リハビリテーション	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	5	5	5	3	3	2	3	3	3	4	4	5	3.8	3.9	3.5	4.3	3.7	4.4
平均利用回数(回)	8.6	8.4	8.2	7.3	7.7	9.5	8.0	7.0	8.0	7.0	6.8	9.0	8.0	7.1	6.8	6.9	7.6	7.6
満足度平均(4点満点)	3.8	3.6	3.6	3.7	3.7	3.5	3.7	3.3	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2

- 利用者数は延べ 45 人で、平均では毎月 3.8 人が利用している
- 平均利用回数は月に 8.0 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.7 点となっている
- 満足度が高い理由としては「身体のことを良く分かっている」などをあげている

## ⑤ 居宅療養管理指導

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、居宅療養管理指導の利用状況は、表1-14のとおりである。

表1-14 居宅療養管理指導の月別の利用状況

居宅療養管理指導	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	2	2	2	1	1	1	0	0	0	1	1	2	1.1	2.5	3.0	4.3	3.0	2.9
平均利用回数(回)	1.5	1.5	1.5	1	1	1	0	0	0	1	1	1.5	0.9	1.6	1.3	1.4	1.3	1.3
満足度平均(4点満点)	2.7	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	3.5	2.8	3.5	3.7	3.7	3.6	3.5

- 利用者数は延べ13人で、平均では毎月1.1人が利用している
- 平均利用回数は月に0.9回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると2.8点となっている
- 満足度の理由としては「調整をしてくれて安心」などをあげている

## ⑥ 通所介護

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、通所介護の利用状況は、表1-15のとおりである。

表1-15 通所介護の月別の利用状況

通所介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	6	6	5.1	4.2	5.3	4.2	2.9	3.1
平均利用回数(回)	14.0	14.2	13.4	14.2	14.6	12.2	12.6	11.5	11.4	12.8	11	11.5	12.8	14.6	13.1	13.8	15.7	14.6
満足度平均(4点満点)	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.6	3.5

- 利用者数は延べ61人で、平均では毎月5.1人が利用している
- 平均利用回数は月に12.8回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると3.8点となっている
- 満足度が高い理由としては「職員が親切である」などをあげている

## ⑦ 通所リハビリテーション

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、通所リハビリテーションの利用状況は、表1-16のとおりである。

表1-16 通所リハビリテーションの月別の利用状況

通所リハビリテーション	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	3	3	2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.4	3.6	3.3	4.3	3.3	4.3
平均利用回数(回)	7.7	8.0	8.0	5.8	7.0	7.0	6.8	6.4	7.0	7.0	7.2	7.4	7.1	6.7	7.1	6.7	6.7	6.2
満足度平均(4点満点)	3.3	3.5	3	3.6	3.6	3.6	3.4	3.4	3.4	3.6	3.4	3.6	3.5	3.8	3.8	3.3	3.5	3.7

- 利用者数は延べ53人で、平均では毎月4.4人が利用している
- 平均利用回数は7.1回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると3.5点となっている
- 満足度が高い理由としては「日常生活動作の維持や唯一の社交の場となっている」などをあげている

## ⑧ 短期入所

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、短期入所の利用状況および入所内容は、表 1-17、表 1-18 のとおりである。

表 1-17 短期入所の月別の利用状況

短期入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1.1	1.2	0.5	0.1	0.1	0.6
平均利用回数(回)	3.0	3.0	3.0	4.0	3.0	3.0	3.0	4.0	3.0	3.0	3.0	2.0	3.1	2.9	2.2	1.0	1.0	2.3
満足度平均(4点満点)	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	3.0	2.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.5	2.2	2.4	2.5	3.0	3.0	3.3

表 1-18 入所内容の月別の利用状況

入所内容(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
短期入所療養介護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	1.0	0.3	0.0	0.0	0.3
短期入所生活介護(ショートステイ)	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.8	1.2	1.1	0.0	0.1	0.3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 利用者数は延べ 13 人で、平均では毎月 1.1 人が利用している
- 平均利用回数は月に 3.1 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 2.2 点となっている
- 満足度の理由としては「入所中体調を崩した。」などをあげている

## ⑨ 送迎サービス

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、送迎サービスの利用状況は、表 1-19 のとおりである。

表 1-19 送迎サービスの月別の利用状況

送迎サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	6	6	5	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5.4	5.5	5.8	5.6	4.3	5.7
平均利用回数(回)	5.8	6.5	6.4	5.5	7.0	6.7	8.0	7.2	7.8	7.8	8.4	8.8	7.2	6.6	6.6	7.4	8.2	5.1
満足度平均(4点満点)	3.3	3.5	3.2	3.3	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.8	3.7	3.7	3.7

- 利用者数は延べ 65 人で、平均では毎月 5.4 人が利用している
- 平均利用回数は月に 7.2 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.5 点となっている
- 満足度の理由としては「ヘルパーさんが慣れている」「玄関までの送迎で助かる」などをあげている

⑩ その他の福祉サービス

○ 上記①～⑨以外の介護保険制度に基づく福祉サービスの利用状況は、表 1-20 のとおりである。

表 1-20 その他の福祉サービスの月別の利用状況

その他の福祉サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	R5 平均	R4 平均	R3 平均	R2 平均	R1 平均
利用者数(人)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	2.3	1.8	0.9	1.2	0.9	2.8
平均利用回数(回)	4.0	4.0	4.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.0	4.0	13.0	12.3	9.8	6.1	4.3	4.2	4.7	4.2	5.4
満足度平均(4点満点)	3.7	4.0	3.3	3.3	3.3	3.5	3.3	3.5	3.5	2.8	3.5	3.3	3.4	3.4	2.9	3.1	3.0	3.4

- 利用者数は延べ 28 人で、平均では毎月 2.3 人が利用している
- 平均利用回数は月に 6.1 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.4 点となっている
- 具体的なサービス内容としては「買い物や余暇活動の同行」「居宅介助」等をあげている
- 満足度の理由としては「ヘルパーさんが良くやって下さいます。」「予約が集中する時がある」などをあげている

## ⑪ 福祉サービスの年間利用状況

○ 上記①～⑩に示した各福祉サービスの年間の平均利用状況（日数または回数）及び満足度の平均点数をとりまとめると、図 1-2 及び図 1-3 のとおりである。

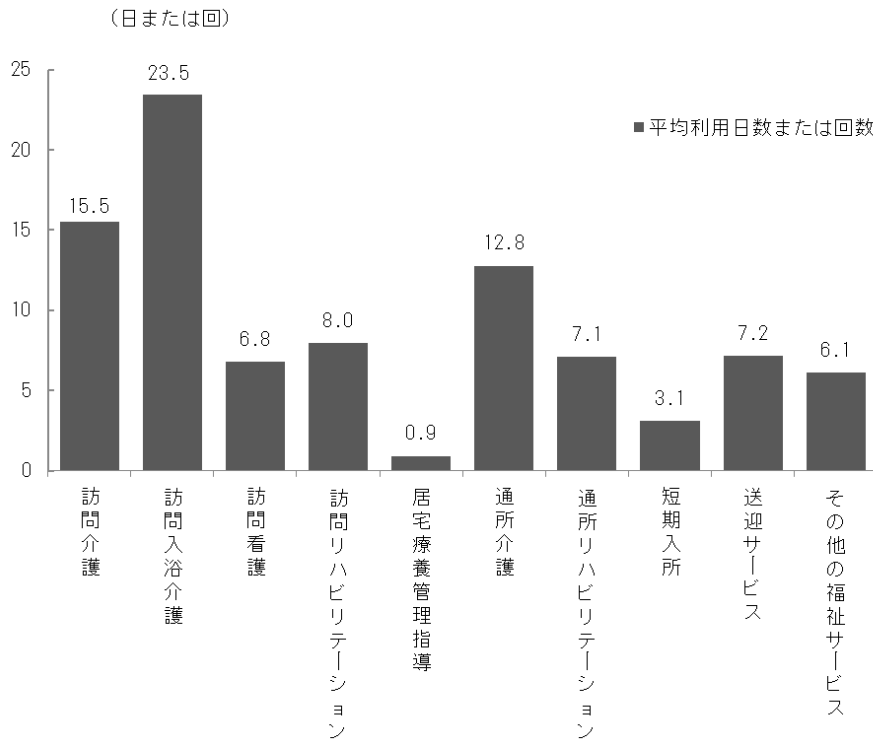


図 1-2 福祉サービスの年間利用状況

□ 1 年間、福祉サービスを利用して満足度が高かったサービスは、「訪問看護」が 3.9 点、「通所介護」が 3.8 点、「訪問リハビリ」が 3.7 点となっている。

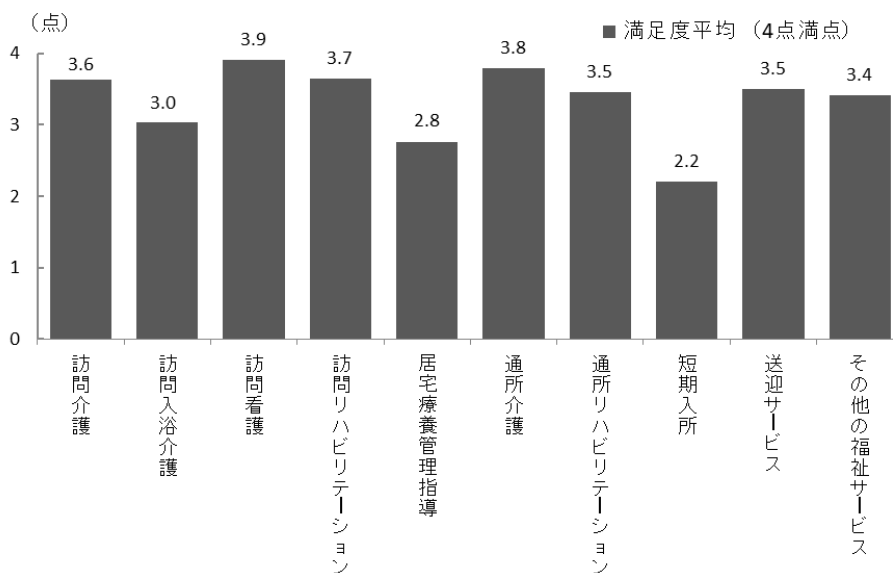


図 1-3 福祉サービスの満足度平均

■ 診察回数の状況について（SJS の健康被害者の方のみに質問）

⑫ SJS 専門医への診察回数の状況

○SJS 専門医に受診した回数についてたずねた結果は、表 1-21 のとおりである。

表 1-21 SJS 専門医への診察回数の状況

利用状況(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月に2回以上	8	7	8	8	7	7	8	8	8	9	7	9	7.8
月に1回程度	14	14	13	13	13	13	10	10	11	11	11	11	12.0
2ヶ月に1回程度	3	3	3	7	7	6	6	6	6	7	7	6	5.6
3ヶ月に1回程度	6	5	7	8	8	8	9	8	9	7	6	6	7.3
半年に1回程度	4	5	4	4	4	3	3	5	4	3	3	3	3.8
1年に1回程度	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.1
その他	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	3	4	2.0
行けていない	7	7	8	5	7	7	8	7	7	7	8	6	7.0
回答なし	8	10	8	6	6	7	4	5	4	6	7	7	6.5

□通院回数は平均で「月に1回程度」と回答した人が12.0人、「月に2回以上」が7.8人、「3ヶ月に1回程度」が7.3人となっている

□一方で、「行けていない」と回答した人は平均で月に7.0人となっている

⑬ SJS 専門医の診察で通院に係る交通費

○SJS 専門医の診察で通院する際にかかる、1回の往復交通費についてたずねた結果は、表 1-22 のとおりである。

表 1-22 SJS 専門医の診察で通院する際の往復交通費の状況

利用状況(金額)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1,000円未満	9	8	9	7	8	8	10	8	9	9	9	9	8.6
1,000円～10,000円	21	21	21	24	23	22	20	20	21	22	23	21	21.6
10,000円～30,000円	4	4	5	5	6	6	3	6	5	4	3	5	4.7
30,000円～50,000円	2	2	2	3	1	1	3	2	3	2	2	2	2.1
50,000円以上	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3	4	3	2.4
その他	3	3	2	3	2	2	1	2	1	1	3	3	2.2
回答なし	13	14	14	9	11	12	13	12	12	12	10	10	11.8

□1回の往復交通費は平均で「1,000円～10,000円」と回答した人が21.6人、「1,000円未満」が8.6人となっている

⑭ 入院の有無

○SJSに係る治療での入院有無についてたずねた結果は、表1-23のとおりである。

表1-23 SJSに係る治療での入院有無の状況

利用状況(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入院した	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0.5
入院していない	45	46	45	45	46	46	46	45	47	46	43	43	45.3
その他	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0.5
回答なし	9	8	8	6	6	7	6	6	5	6	8	7	6.8

- 「入院した」と回答した人数は延べ6人で、平均では月に0.5人が入院している
- 「入院していない」と回答した人は平均で月に45.3人となっている

## (2) B票（社会活動を中心とした調査）からみた生活状況の概要

### ■ 健康被害者の外出について

#### ① 外出の頻度

##### ア 第1・四半期（回答者 53人）

○ 第1・四半期における健康被害者の外出頻度については、表2-1及び図2-1のとおりである。

□ 週に2~3回が32.1%、ほぼ毎日が30.2%となっている

□ 一方、まったく外出していないは3.8%となっている

##### イ 第2・四半期（回答者 52人）

○ 第2・四半期における健康被害者の外出頻度については、表2-1及び図2-1のとおりである。

□ 週に2~3回が34.6%、ほぼ毎日が26.9%となっている

□ 一方、まったく外出していないは3.8%となっている

##### ウ 第3・四半期（回答者 49人）

○ 第3・四半期における健康被害者の外出頻度については、表2-1及び図2-1のとおりである。

□ 週に2~3回が32.7%、ほぼ毎日が26.5%となっている

□ 一方、まったく外出していないは4.1%となっている

##### エ 第4・四半期（回答者 52人）

○ 第4・四半期における健康被害者の外出頻度については、表2-1及び図2-1のとおりである。

□ 週に2~3回が34.6%、ほぼ毎日が25.0%となっている

□ 一方、まったく外出していないは5.8%となっている

##### オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-1及び図2-1のとおりである。

□ 年間の平均では、ほぼ毎日外出している人が27.2%、週に4~5回外出している人が15.0%、週に2~3回外出している人が33.5%、月に2~3回外出している人が19.9%、まったく外出していないが4.4%となっている

表 2-1 健康被害者の外出頻度の推移

	ほぼ毎日	週に4から5回	週に2から3回	月に2から3回	まったく外出していない	回答なし	合計
第1・四半期	16	8	17	10	2	1	53
	30.2%	15.1%	32.1%	18.9%	3.8%	—	100.0%
第2・四半期	14	7	18	11	2	1	52
	26.9%	13.5%	34.6%	21.2%	3.8%	—	100.0%
第3・四半期	13	8	16	10	2	3	49
	26.5%	16.3%	32.7%	20.4%	4.1%	—	100.0%
第4・四半期	13	8	18	10	3	1	52
	25.0%	15.4%	34.6%	19.2%	5.8%	—	100.0%
年間単純平均	14.0	7.8	17.3	10.3	2.3	1.5	51.5
	27.2%	15.0%	33.5%	19.9%	4.4%	—	100.0%
R5年度平均	13.3	6.3	18.3	9.8	3.3	1.5	50.8
	26.1%	12.3%	36.0%	19.2%	6.4%	—	100.0%
R4年度平均	12.8	6.5	16.0	11.5	4.3	1.8	51.0
	25.0%	12.7%	31.4%	22.5%	8.3%	—	100.0%
R3年度平均	13.0	5.3	17.5	9.3	5.8	1.8	50.8
	25.6%	10.3%	34.5%	18.2%	11.3%	—	100.0%
R2年度平均	9.8	7.5	16.0	13.3	5.8	1.3	52.4
	18.7%	14.4%	30.6%	25.4%	11.0%	—	100.0%
R1年度平均	13.0	10.5	14.0	12.0	3.5	0.3	53.0
	24.5%	19.8%	26.4%	22.6%	6.6%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

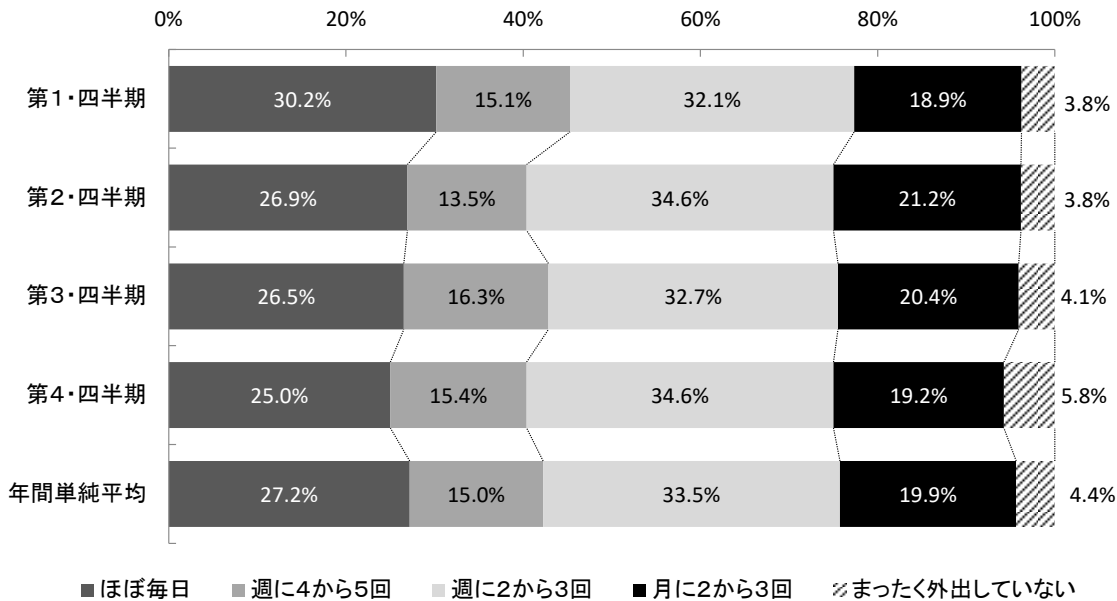


図 2-1 健康被害者の外出頻度の推移

## ①-1 外出に当たっての介助者

### ア 第1・四半期（回答者 50人）

○外出したとする人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期における健康被害者の外出時の主たる介助者については、表2-2及び図2-2のとおりである（複数回答）。

- 主たる介助者は「配偶者」が42.0%、「子供」が30.0%、「ホーム（ガイド）ヘルパー」が24.0%となっている
- 「介助なし」で外出している健康被害者は36.0%となっている
- その他の外出時の介助者としては、「盲導犬」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者 49人）

○第2・四半期における健康被害者の外出時の主たる介助者については、表2-2及び図2-2のとおりである（複数回答）。

- 主たる介助者は「配偶者」が42.9%、「子供」が28.6%、「ホーム（ガイド）ヘルパー」が26.5%となっている
- 「介助なし」で外出している健康被害者は38.8%となっている
- その他の外出時の介助者としては、「デイサービス職員」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者 48人）

○第3・四半期における健康被害者の外出時の主たる介助者については、表2-2及び図2-2のとおりである（複数回答）。

- 主たる介助者は「配偶者」が37.5%、「子供」、「ホーム（ガイド）ヘルパー」がともに25.0%となっている
- 「介助なし」で外出している健康被害者は31.3%となっている
- その他の外出時の介助者としては、「施設職員」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者 48人）

○第4・四半期における健康被害者の外出時の主たる介助者については、表2-2及び図2-2のとおりである（複数回答）。

- 主たる介助者は「配偶者」が39.6%、「子供」が31.3%、「ホーム（ガイド）ヘルパー」が29.2%となっている
- 「介助なし」で外出している健康被害者は37.5%となっている
- その他の外出時の介助者としては、「同行ガイドヘルパー」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-2及び図2-2のとおりである（複数回答）。

□ 外出時の主な介助者の年間の平均では「配偶者」が40.5%、「子供」が28.7%、「ホーム（ガイド）ヘルパー」が26.2%、となっている

□ 一方、「介助なし」で外出している人は35.9%となっている

表2-2 健康被害者の外出時の主たる介助者の推移

	介助なし	配偶者	親	子供	その他の家族	親戚	ホーム（ガイド）ヘルパー	隣人・知人	雇人	ボランティア	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	18	21	9	15	3	5	12	10	2	1	8	4	50
	36.0%	42.0%	18.0%	30.0%	6.0%	10.0%	24.0%	20.0%	4.0%	2.0%	16.0%	—	100.0%
第2・四半期	19	21	7	14	5	7	13	7	2	1	7	4	49
	38.8%	42.9%	14.3%	28.6%	10.2%	14.3%	26.5%	14.3%	4.1%	2.0%	14.3%	—	100.0%
第3・四半期	15	18	6	12	8	5	12	9	1	1	11	4	48
	31.3%	37.5%	12.5%	25.0%	16.7%	10.4%	25.0%	18.8%	2.1%	2.1%	22.9%	—	100.0%
第4・四半期	18	19	8	15	3	5	14	9	1	3	8	5	48
	37.5%	39.6%	16.7%	31.3%	6.3%	10.4%	29.2%	18.8%	2.1%	6.3%	16.7%	—	100.0%
年間単純平均	17.5	19.8	7.5	14.0	4.8	5.5	12.8	8.8	1.5	1.5	8.5	4.3	48.8
	35.9%	40.5%	15.4%	28.7%	9.7%	11.3%	26.2%	17.9%	3.1%	3.1%	17.4%	—	100.0%
R5年度平均	18.0	18.3	8.3	12.3	5.3	3.5	13.3	8.3	1.3	2.5	10.5	0.3	47.3
	38.1%	38.6%	17.5%	25.9%	11.1%	7.4%	28.0%	17.5%	2.6%	5.3%	22.2%	—	100.0%
R4年度平均	16.5	17.3	8.0	12.5	4.8	4.0	11.0	9.5	0.8	3.3	10.8	0.3	46.5
	35.5%	37.1%	17.2%	26.9%	10.2%	8.6%	23.7%	20.4%	1.6%	7.0%	23.1%	—	100.0%
R3年度平均	17.5	15.8	11.0	12.5	4.3	3.8	9.8	4.8	0.8	1.8	9.8	0.3	46.5
	37.6%	33.9%	23.7%	26.9%	9.1%	8.1%	21.0%	10.2%	1.6%	3.8%	21.0%	—	100.0%
R2年度平均	16.0	18.5	11.5	11.0	3.5	3.0	13.3	6.3	1.3	1.8	2.5	0.0	46.5
	34.4%	39.8%	24.7%	23.7%	7.5%	6.5%	28.5%	13.4%	2.7%	3.8%	5.4%	—	100.0%
R1年度平均	18.3	21.8	14.8	12.8	5.5	3.5	12.3	8.8	1.0	12.8	6.0	2.0	47.5
	38.4%	45.8%	31.1%	26.8%	11.6%	7.4%	25.8%	18.4%	2.1%	26.8%	12.6%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

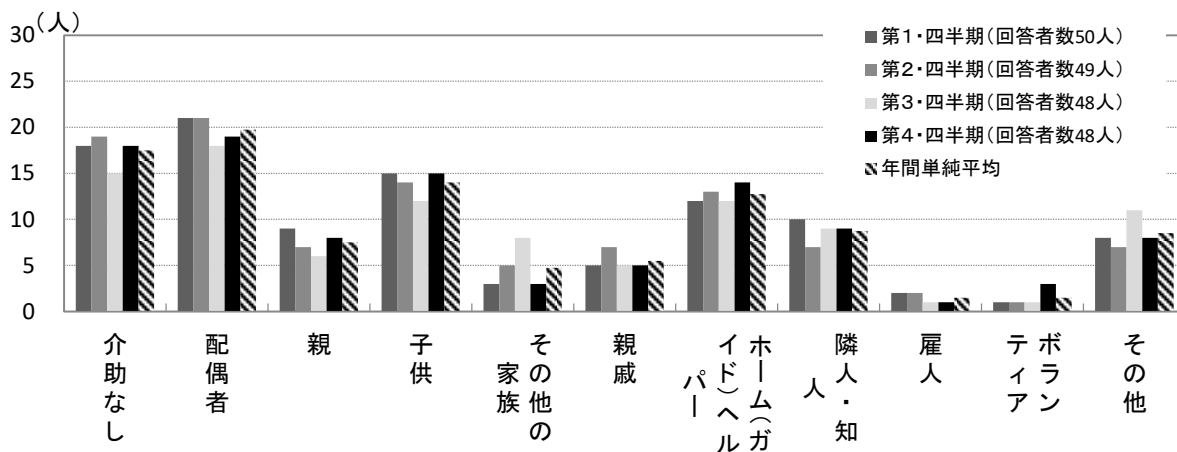


図2-2 健康被害者の外出時の主たる介助者の推移

## ■ 外出に当たって困ること・不満に思うことについて

### ② 外出に当たって困ること・不満に思うことの有無

#### ア 第1・四半期（回答者 51 人）

○ 第1・四半期において、健康被害者が外出する場合に困ることや不満に思うことの有無については、表 2-3 及び図 2-3 のとおりである。

□ 82.4%の人が外出する場合に困ることや不満に思うことがあると回答している

#### イ 第2・四半期（回答者 49 人）

○ 第2・四半期において、健康被害者が外出する場合に困ることや不満に思うことの有無については、表 2-3 及び図 2-3 のとおりである。

□ 81.6%の人が外出する場合に困ることや不満に思うことがあると回答している

#### ウ 第3・四半期（回答者 50 人）

○ 第3・四半期において、健康被害者が外出する場合に困ることや不満に思うことの有無については、表 2-3 及び図 2-3 のとおりである。

□ 80.0%の人が外出する場合に困ることや不満に思うことがあると回答している

#### エ 第4・四半期（回答者 47 人）

○ 第4・四半期において、健康被害者が外出する場合に困ることや不満に思うことの有無については、表 2-3 及び図 2-3 のとおりである。

□ 87.2%の人が外出する場合に困ることや不満に思うことがあると回答している

#### オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-3 及び図 2-3 のとおりである。

□ 外出時に困ることや不満に思うことがあると回答した人は、年間の平均では、82.7%となっている

表 2-3 外出時の困難・不満の有無の推移

	困る事や 不満に思う ことがある	困る事や 不満に思う ことがない	回答なし	合計
第1・四半期	42	9	3	51
	82.4%	17.6%	—	100.0%
第2・四半期	40	9	4	49
	81.6%	18.4%	—	100.0%
第3・四半期	40	10	2	50
	80.0%	20.0%	—	100.0%
第4・四半期	41	6	6	47
	87.2%	12.8%	—	100.0%
年間単純平均	40.8	8.5	3.8	49.3
	82.7%	17.3%	—	100.0%
R5年度平均	39.5	6.5	6.3	46.0
	85.9%	14.1%	—	100.0%
R4年度平均	40.8	6.8	5.3	47.5
	85.8%	14.2%	—	100.0%
R3年度平均	41.0	7.3	4.3	48.3
	85.0%	15.0%	—	100.0%
R2年度平均	42.3	8.0	3.3	50.3
	84.1%	15.9%	—	100.0%
R1年度平均	46.5	5.8	2.5	52.3
	89.0%	11.0%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

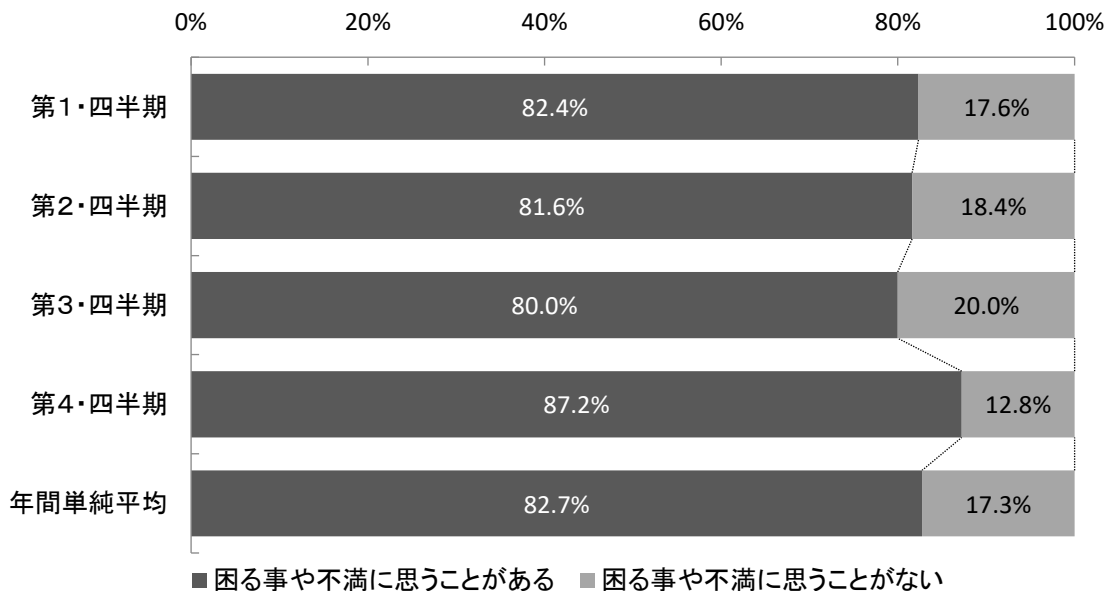


図 2-3 外出時の困難・不満の有無の推移

## ②-1 外出に当たって困ること・不満に思うこと

### ア 第1・四半期（回答者42人）

○外出に当たって困ること・不満に思うことがあると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期における健康被害者の外出に当たって困ること・不満に思うことの内容については、表2-4及び図2-4のとおりである（複数回答）。

- 「人の混雑や車に身の危険を感じる」が66.7%、「利用する建物の設備の利用が不便」が61.9%、「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」が59.5%となっている
- その他としては、「買い物時の商品の情報が得られない」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者41人）

○第2・四半期における健康被害者の外出に当たって困ること・不満に思うことの内容については、表2-4及び図2-4のとおりである（複数回答）。

- 「人の混雑や車に身の危険を感じる」が65.9%、「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」が63.4%、「道路や駅などの公共の場所の利用が不便」、「利用する建物の設備の利用が不便」がそれぞれ53.7%となっている
- その他としては、「思いついたときに行動が出来ない」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者40人）

○第3・四半期における健康被害者の外出に当たって困ること・不満に思うことの内容については、表2-4及び図2-4のとおりである（複数回答）。

- 「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」、「人の混雑や車に身の危険を感じる」がそれぞれ65.0%、「利用する建物の設備の利用が不便」が52.5%となっている
- その他としては、「悪天候時の移動が困る。」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者43人）

○第4・四半期における健康被害者の外出に当たって困ること・不満に思うことの内容については、表2-4及び図2-4のとおりである（複数回答）。

- 「人の混雑や車に身の危険を感じる」が69.8%、「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」、「利用する建物の設備の利用が不便」がそれぞれ53.5%となっている
- その他としては、「雪の為点字ブロックが隠れてしまっていた。」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-4及び図2-4のとおりである（複数回答）。

□ 「人の混雑や車に身の危険を感じる」が66.9%、「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」が60.2%、「利用する建物の設備の利用が不便」が55.4%となっている

表2-4 外出に当たって困ること・不満に思うことの推移

	介助者が いない	経費が かかる	人の目が 気にかかる	人と話を することが 困難	外出に必要 な情報が 得られない	電車・バス・ タクシーな どの乗物の 利用が不便	道路や駅な どの公共の 場所の利用 が不便	利用する建 物の設備の 利用が不便	人の混雑や 車に身の危 険を感じる	駅などにお ける人間関係 のトラブル	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	17	19	6	9	6	25	23	26	28	5	2	12	42
	40.5%	45.2%	14.3%	21.4%	14.3%	59.5%	54.8%	61.9%	66.7%	11.9%	4.8%	—	100.0%
第2・四半期	15	19	8	9	8	26	22	22	27	4	3	12	41
	36.6%	46.3%	19.5%	22.0%	19.5%	63.4%	53.7%	53.7%	65.9%	9.8%	7.3%	—	100.0%
第3・四半期	16	16	8	7	7	26	17	21	26	3	5	12	40
	40.0%	40.0%	20.0%	17.5%	17.5%	65.0%	42.5%	52.5%	65.0%	7.5%	12.5%	—	100.0%
第4・四半期	16	17	7	7	6	23	17	23	30	5	6	10	43
	37.2%	39.5%	16.3%	16.3%	14.0%	53.5%	39.5%	53.5%	69.8%	11.6%	14.0%	—	100.0%
年間単純平均	16.0	17.8	7.3	8.0	6.8	25.0	19.8	23.0	27.8	4.3	4.0	11.5	41.5
	38.6%	42.8%	17.5%	19.3%	16.3%	60.2%	47.6%	55.4%	66.9%	10.2%	9.6%	—	100.0%
R5年度平均	11.8	14.5	7.3	6.0	7.0	20.3	16.9	20.0	24.3	4.5	6.3	—	38.8
	30.3%	37.4%	18.7%	15.5%	18.1%	52.3%	41.9%	51.6%	62.6%	11.6%	16.1%	—	100%
R4年度平均	11.0	15.0	8.8	7.3	8.0	21.5	20.5	22.3	24.3	4.5	7.0	—	40.8
	27.0%	36.8%	21.5%	17.8%	19.6%	52.8%	50.3%	54.6%	59.5%	11.0%	17.2%	—	100.0%
R3年度平均	8.3	13.3	8.8	8.0	6.8	18.0	17.0	22.5	24.0	4.5	9.5	—	40.8
	20.2%	32.5%	21.5%	19.6%	16.6%	44.2%	41.7%	55.2%	58.9%	11.0%	23.3%	—	100.0%
R2年度平均	6.5	14.0	9.0	6.8	8.0	18.8	18.5	22.5	26.0	4.8	9.5	—	42.3
	15.4%	33.1%	21.3%	16.0%	18.9%	44.4%	43.8%	53.3%	61.5%	11.2%	22.5%	—	100.0%
R1年度平均	9.8	15.3	8.3	8.8	9.3	25.0	23.5	29.0	31.8	12.0	7.3	—	46.5
	21.0%	32.8%	17.7%	18.8%	19.9%	53.8%	50.5%	62.4%	68.3%	25.8%	15.6%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

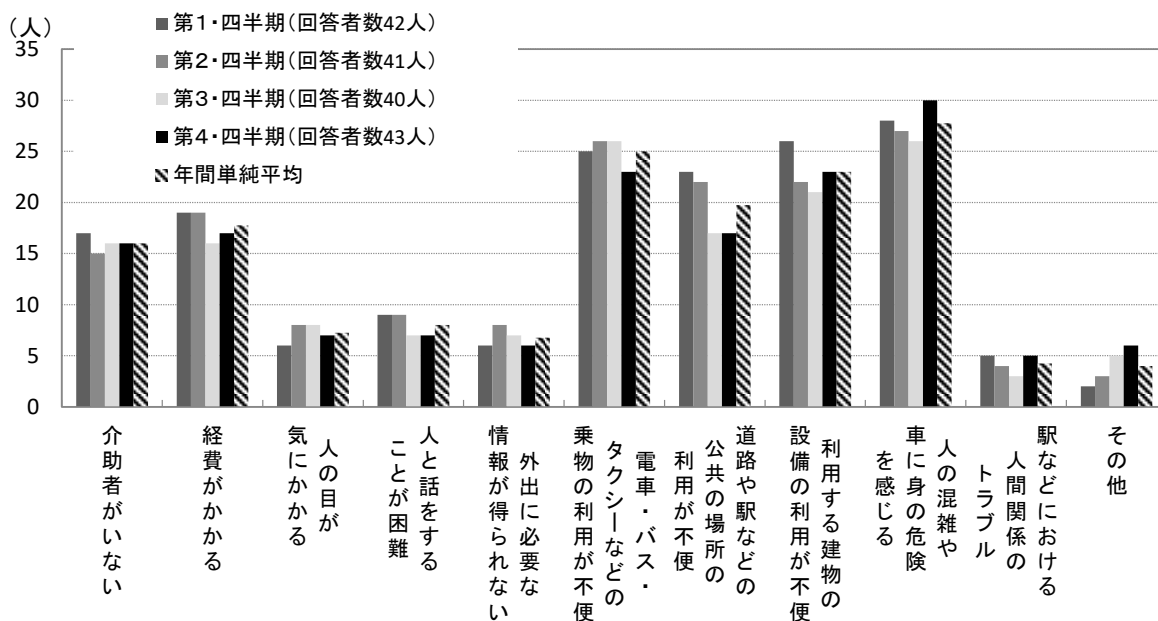


図2-4 外出に当たって困ること・不満に思うことの推移

## ②-2 外出する上で工夫したこと【外出前の準備】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

### ア 第1・四半期（回答者40人）

○第1・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「外出前の準備」の具体的な内容については、表2-5及び図2-5のとおりである（複数回答）。

- 「予め、交通機関や経路について調べておく」が80.0%、「コースを事前に決めておく」が72.5%、「介助者を依頼する」が55.0%となっている
- その他としては、「あまり単独利用しなれていない鉄道利用時は出発駅から到着駅までの乗り降りサポートを依頼するようにし、より安全を図るようにしている。」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者42人）

○第2・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「外出前の準備」の具体的な内容については、表2-5及び図2-5のとおりである（複数回答）。

- 「予め、交通機関や経路について調べておく」が76.2%、「介助者を依頼する」が66.7%、「コースを事前に決めておく」が64.3%となっている
- その他としては、「タクシー乗り場まで駅員誘導を依頼、タクシー利用で目的地の玄関まで着けてもらい、工夫している。」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者43人）

○第3・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「外出前の準備」の具体的な内容については、表2-5及び図2-5のとおりである（複数回答）。

- 「予め、交通機関や経路について調べておく」が76.7%、「コースを事前に決めておく」が58.1%、「介助者を依頼する」が53.5%となっている
- その他としては、「駅員誘導サポートを依頼する。」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者41人）

○第4・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「外出前の準備」の具体的な内容については、表2-5及び図2-5のとおりである（複数回答）。

- 「予め、交通機関や経路について調べておく」が75.6%、「コースを事前に決めておく」が63.4%、「介助者を依頼する」が61.0%となっている
- その他としては、「盲導犬利用」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-5及び図2-5のとおりである（複数回答）。

□ 外出する上で工夫した「外出前の準備」の年間の平均では「予め、交通機関や経路について調べておく」が77.1%、「コースを事前に決めておく」が64.5%、「介助者を依頼する」が59.0%となっている

表2-5 外出する上で工夫したこと【外出前の準備】の推移

	予め、交通機関や経路について調べておく	介助者を依頼する	コースを事前に決めておく	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	32 80.0%	22 55.0%	29 72.5%	1 2.5%	14 —	40 100.0%
第2・四半期	32 76.2%	28 66.7%	27 64.3%	1 2.4%	11 —	42 100.0%
第3・四半期	33 76.7%	23 53.5%	25 58.1%	3 7.0%	9 —	43 100.0%
第4・四半期	31 75.6%	25 61.0%	26 63.4%	2 4.9%	12 —	41 100.0%
年間単純平均	32.0 77.1%	24.5 59.0%	26.8 64.5%	1.8 4.2%	11.5 —	41.5 100.0%
R5年度平均	30.8 77.4%	25.3 63.5%	24.8 62.3%	3.0 7.5%	12.5 —	39.8 100%
R4年度平均	28.3 69.8%	24.0 59.3%	24.3 59.9%	2.0 4.9%	6.8 —	40.5 100.0%
R3年度平均	26.5 67.9%	22.5 57.7%	24.8 63.5%	1.5 4%	7.3 —	39.0 100.0%
R2年度平均	25.8 70.1%	18.8 51.0%	21.8 59.2%	2.5 6.8%	10.8 —	36.8 100.0%
R1年度平均	31.8 78.4%	21.5 53.1%	23.3 57.4%	2.8 6.8%	7.5 —	40.5 100.0%

注：上段は人数、下段は割合

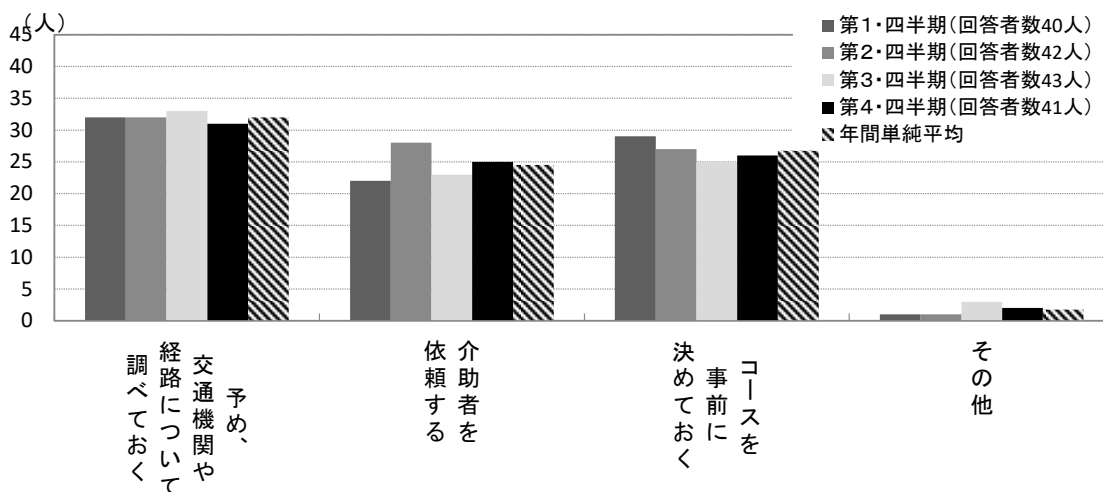


図2-5 外出する上で工夫したこと【外出前の準備】の推移

## ②-2 外出する上で工夫したこと【服装・持ち物】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

### ア 第1・四半期（回答者45人）

○第1・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「服装・持ち物」の具体的な内容については、表2-6及び図2-6のとおりである（複数回答）。

- 「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が80.0%、「白杖の使用」が66.7%、「両手が使えるよう、リュックサックを使用」が64.4%となっている
- その他としては、「シグナルエイドを持参」「盲導犬」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者46人）

○第2・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「服装・持ち物」の具体的な内容については、表2-6及び図2-6のとおりである（複数回答）。

- 「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が82.6%、「白杖の使用」が76.1%、「両手が使えるよう、リュックサックを使用」が63.0%となっている
- その他としては、「マスク着用（呼吸器の保護・加湿、感染予防のため）」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者45人）

○第3・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「服装・持ち物」の具体的な内容については、表2-6及び図2-6のとおりである（複数回答）。

- 「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が73.3%、「白杖の使用」、「両手が使えるよう、リュックサックを使用」がそれぞれ71.1%、となっている
- その他としては、「飲み物持参（出先で買うことが難しいため）」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者46人）

○第4・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「服装・持ち物」の具体的な内容については、表2-6及び図2-6のとおりである（複数回答）。

- 「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が76.1%、「両手が使えるよう、リュックサックを使用」が69.6%、「白杖の使用」が63.0%となっている
- その他としては、「歩きやすいくつ」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-6及び図2-6のとおりである（複数回答）。

□外出する上で工夫した「服装・持ち物」の年間の平均では「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が78.0%、「白杖の使用」が69.2%、「両手が使えるよう、リュックサックを使用」が67.0%、「目立つ服装」が28.0%となっている

表2-6 外出する上で工夫したこと【服装・持ち物】の推移

	目立つ服装	目の保護のためサングラス、帽子を着用	白杖の使用	両手が使えるよう、リュックサックを使用	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	11	36	30	29	4	9	45
	24.4%	80.0%	66.7%	64.4%	8.9%	—	100.0%
第2・四半期	11	38	35	29	2	7	46
	23.9%	82.6%	76.1%	63.0%	4.3%	—	100.0%
第3・四半期	16	33	32	32	2	7	45
	35.6%	73.3%	71.1%	71.1%	4.4%	—	100.0%
第4・四半期	13	35	29	32	2	7	46
	28.3%	76.1%	63.0%	69.6%	4.3%	—	100.0%
年間単純平均	12.8	35.5	31.5	30.5	2.5	7.5	45.5
	28.0%	78.0%	69.2%	67.0%	5.5%	—	100.0%
R5年度平均	12.8	32.3	29.5	25.5	6.0	9.0	43.3
	29.5%	74.6%	68.2%	59.0%	13.9%	—	100.0%
R4年度平均	13.5	34.8	30.0	26.0	5.5	4.3	43.0
	31.4%	80.8%	69.8%	60.5%	12.8%	—	100.0%
R3年度平均	12.5	32.3	30.5	24.8	4.5	5.0	41.3
	30.3%	78.2%	73.9%	60.0%	10.9%	—	100.0%
R2年度平均	14.0	32.5	30.8	22.5	5.3	5.8	41.8
	33.5%	77.8%	73.7%	53.9%	12.6%	—	100.0%
R1年度平均	13.0	36.5	29.3	24.8	5.5	5.3	42.8
	30.4%	85.4%	68.4%	57.9%	12.9%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

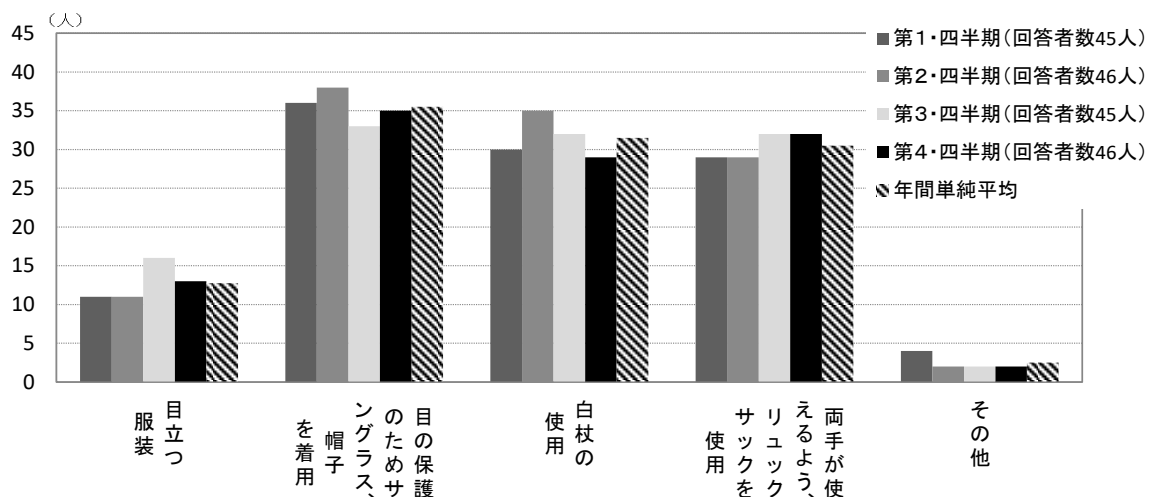


図2-6 外出する上で工夫したこと【服装・持ち物】の推移

## ②-2 外出する上で工夫したこと【移動手段】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

### ア 第1・四半期（回答者47人）

○第1・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「移動手段」の具体的な内容については、表2-7及び図2-7のとおりである（複数回答）。

□「公共交通機関を利用」が66.0%、「自家用車を利用」が63.8%、「介護タクシーを利用」が8.5%となっている

□その他としては、「デイサービスの送迎車」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者47人）

○第2・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「移動手段」の具体的な内容については、表2-7及び図2-7のとおりである（複数回答）。

□「公共交通機関を利用」が76.6%、「自家用車を利用」が61.7%、「介護タクシーを利用」が10.6%となっている

□その他としては、「盲導犬」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者46人）

○第3・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「移動手段」の具体的な内容については、表2-7及び図2-7のとおりである（複数回答）。

□「公共交通機関を利用」が69.6%、「自家用車を利用」が60.9%、「介護タクシーを利用」が8.7%となっている

□その他としては、「施設の車を利用」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者47人）

○第4・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「移動手段」の具体的な内容については、表2-7及び図2-7のとおりである（複数回答）。

□「公共交通機関を利用」が68.1%、「自家用車を利用」が63.8%、「介護タクシーを利用」が8.5%となっている

□その他としては、「一般のタクシー」などをあげている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-7及び図2-7のとおりである（複数回答）。

□外出する上で工夫した「移動手段」の年間の平均では「公共交通機関を利用」が70.1%、「自家用車を利用」が62.6%、「介護タクシーを利用」が9.1%となっている

表 2-7 外出する上で工夫したこと【移動手段】の推移

	自家用車を利用	介護タクシーを利用	公共交通機関を利用	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	30	4	31	1	7	47
	63.8%	8.5%	66.0%	2.1%	—	100.0%
第2・四半期	29	5	36	2	6	47
	61.7%	10.6%	76.6%	4.3%	—	100.0%
第3・四半期	28	4	32	5	6	46
	60.9%	8.7%	69.6%	10.9%	—	100.0%
第4・四半期	30	4	32	4	6	47
	63.8%	8.5%	68.1%	8.5%	—	100.0%
年間単純平均	29.3	4.3	32.8	3.0	6.3	46.8
	62.6%	9.1%	70.1%	6.4%	—	100.0%
R5年度平均	27.3	4.3	30.5	6.5	7.0	45.3
	60.2%	9.4%	67.4%	14.4%	—	100.0%
R4年度平均	27.8	4.0	30.0	7.0	2.0	45.3
	61.3%	8.8%	66.3%	15.5%	—	100.0%
R3年度平均	27.3	3.3	26.5	6.5	2.3	44.0
	61.9%	7.4%	60.2%	14.8%	—	100.0%
R2年度平均	25.8	18.8	21.8	2.5	10.8	36.8
	70.1%	51.0%	59.2%	6.8%	—	100.0%
R1年度平均	30.3	4.3	34.3	5.0	1.8	46.3
	65.4%	9.2%	74.1%	10.8%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

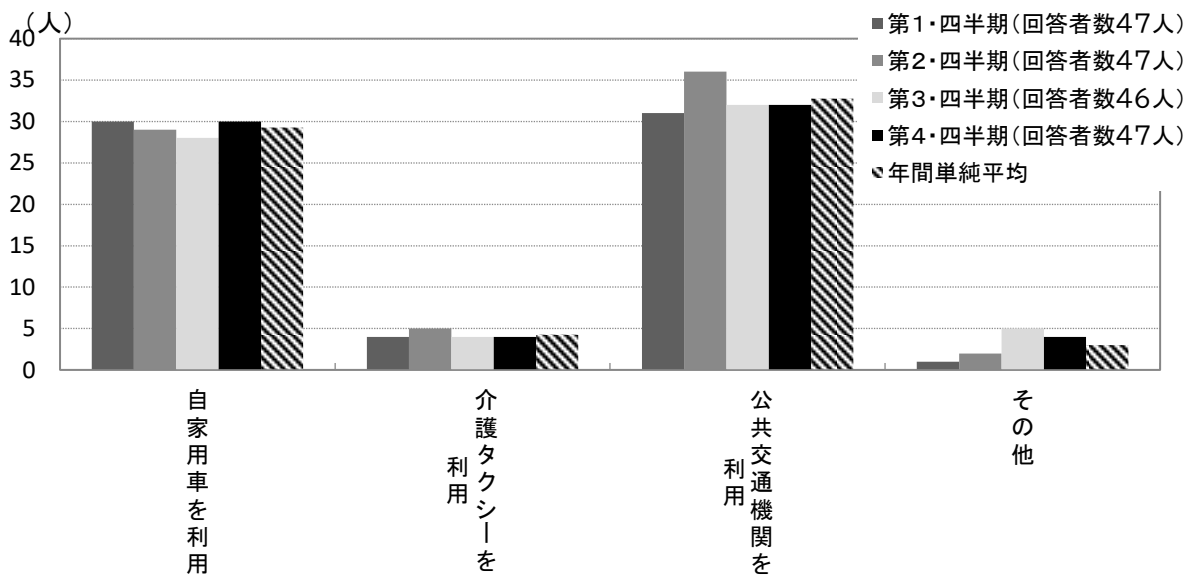


図 2-7 外出する上で工夫したこと【移動手段】の推移

## ②-2 外出する上で工夫したこと

○本人または介護者にたずねた外出する上で工夫したことの主な具体的内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・動きやすく、安定感のあるくつをはく
- ・手荷物は軽く
- ・グーグルマップ、ストリートビューの活用
- ・人の多い所などでは車イスを利用
- ・車イスの全介助の子供ですが、ヘルパーさんの負担をへらす為に紙オムツのパッドを二重にし、取りやすいようにしている（移乗しなくてもよいように）
- ・人出の少ない時間帯に行く
- ・盲導犬の貸与を受けている。
- ・マスク、アルコール
- ・雨の場合傘をさせないのでレインコートを着る。

## ■ 社会参加や社会活動について

### ③ 社会参加・社会活動等の状況

#### ア 第1・四半期（回答者 51 人）

○ 第1・四半期における健康被害者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表 2-8 及び図 2-8 のとおりである。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人が 68.6%、行っていない人が 31.4%となっている

#### イ 第2・四半期（回答者 51 人）

○ 第2・四半期における健康被害者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表 2-8 及び図 2-8 のとおりである。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人が 72.5%、行っていない人が 27.5%となっている

#### ウ 第3・四半期（回答者 50 人）

○ 第3・四半期における健康被害者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表 2-8 及び図 2-8 のとおりである。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人が 70.0%、行っていない人が 30.0%となっている

#### エ 第4・四半期（回答者 51 人）

○ 第4・四半期における健康被害者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表 2-8 及び図 2-8 のとおりである。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人が 70.6%、行っていない人が 29.4%となっている

#### オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-8 及び図 2-8 のとおりである。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人と行っていない人の割合は、年間の平均では、行っている人が 70.4%、行っていない人が 29.6%となっている

表 2-8 社会参加・社会活動等の状況の推移

	参加(活動)した	まったくしていない	回答なし	合計
第1・四半期	35	16	3	51
	68.6%	31.4%	—	100.0%
第2・四半期	37	14	2	51
	72.5%	27.5%	—	100.0%
第3・四半期	35	15	2	50
	70.0%	30.0%	—	100.0%
第4・四半期	36	15	2	51
	70.6%	29.4%	—	100.0%
年間単純平均	35.8	15.0	2.3	50.8
	70.4%	29.6%	—	100.0%
R5年度平均	35.3	14.8	2.3	50.0
	70.5%	29.5%	—	100.0%
R4年度平均	30.5	20.0	2.3	50.5
	60.4%	39.6%	—	100.0%
R3年度平均	24.8	25.8	2.0	50.5
	49.0%	51.0%	—	100.0%
R2年度平均	25.0	25.3	3.3	50.3
	49.8%	50.2%	—	100.0%
R1年度平均	35.8	17.5	1.5	53.3
	67.1%	32.9%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

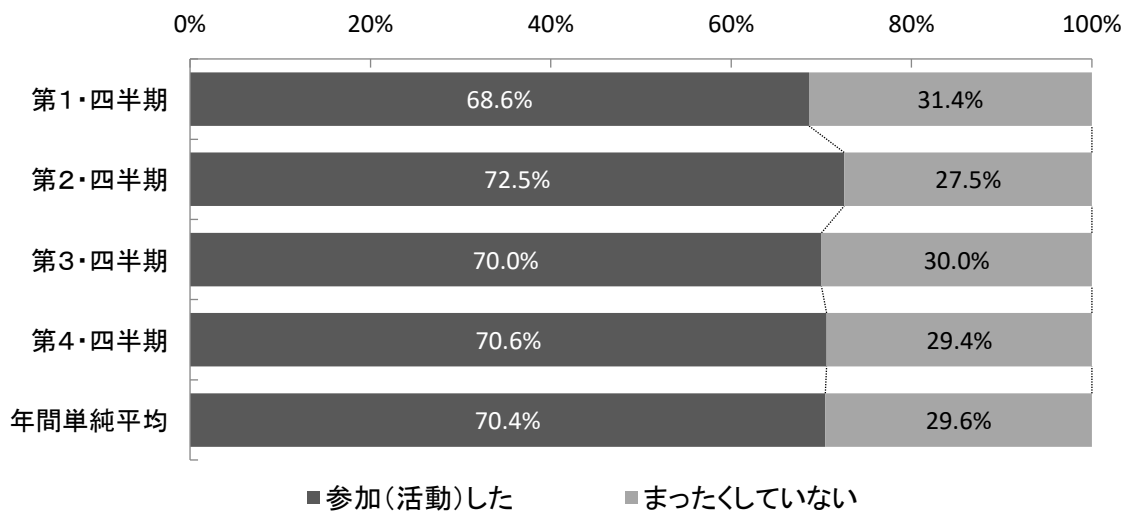


図 2-8 社会参加・社会活動等の状況の推移

### ③-1 社会参加・社会活動等をしなかった理由（SJSの健康被害者の方のみに質問）

#### ア 第1・四半期（回答者12人）

○社会参加や社会活動などを行っていないと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において健康被害者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-9及び図2-9のとおりである（複数回答）。

- 「体力的に余裕なし」が58.3%、「介助なし」が25.0%となっている
- その他としては、「目が見えないので難しい」などをあげている

#### イ 第2・四半期（回答者12人）

○第2・四半期において健康被害者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-9及び図2-9のとおりである（複数回答）。

- 「体力的に余裕なし」が75.0%、「時間的・経済的余裕なし」、「介助なし」がそれぞれ25.0%となっている
- その他としては、「障害者団体の活動がコロナ等で中止となり団体を解散したため」などをあげている

#### ウ 第3・四半期（回答者15人）

○第3・四半期において健康被害者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-9及び図2-9のとおりである（複数回答）。

- 「体力的に余裕なし」が86.7%、「介助なし」が26.7%となっている
- その他としては、「参加しても見えないので楽しくない」などをあげている

#### エ 第4・四半期（回答者15人）

○第3・四半期において健康被害者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-9及び図2-9のとおりである（複数回答）。

- 「体力的に余裕なし」が73.3%、「時間的・経済的余裕なし」が26.7%となっている
- その他としては、「通所介護に通いはじめた」などをあげている

#### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-9及び図2-9のとおりである（複数回答）。

- 社会参加や社会活動などを行わなかった理由の年間の平均では「体力的に余裕なし」が74.1%、「介助なし」が24.1%、「時間的・経済的余裕なし」が20.4%となっている

表 2-9 社会参加・社会活動等をしなかった理由の推移

	介助者が いなかった	時間的・経済的 余裕なし	体力的に 余裕なし	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	3 25.0%	2 16.7%	7 58.3%	1 8.3%	42 —	12 100.0%
第2・四半期	3 25.0%	3 25.0%	9 75.0%	1 8.3%	41 —	12 100.0%
第3・四半期	4 26.7%	2 13.3%	13 86.7%	2 13.3%	37 —	15 100.0%
第4・四半期	3 20.0%	4 26.7%	11 73.3%	3 20.0%	38 —	15 100.0%
年間単純平均	3.3 24.1%	2.8 20.4%	10.0 74.1%	1.8 13.0%	39.5 —	13.5 100.0%
R5年度平均	0.8 6.7%	1.5 13.3%	6.5 57.8%	2.5 22.2%	3.5 —	11.3 100.0%
R4年度平均	1.3 8.8%	1.5 10.5%	8.0 56.1%	3.5 24.6%	3.3 —	14.3 100.0%
R3年度平均	3.5 16.7%	3.8 17.9%	11.0 52.4%	8.8 41.7%	1.5 —	21.0 100.0%
R2年度平均	3.0 14.6%	2.8 13.4%	9.8 47.6%	10.3 50.0%	2.3 —	20.5 100.0%
R1年度平均	3.0 25.5%	1.5 12.8%	7.5 63.8%	5.5 46.8%	1.5 —	11.8 100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

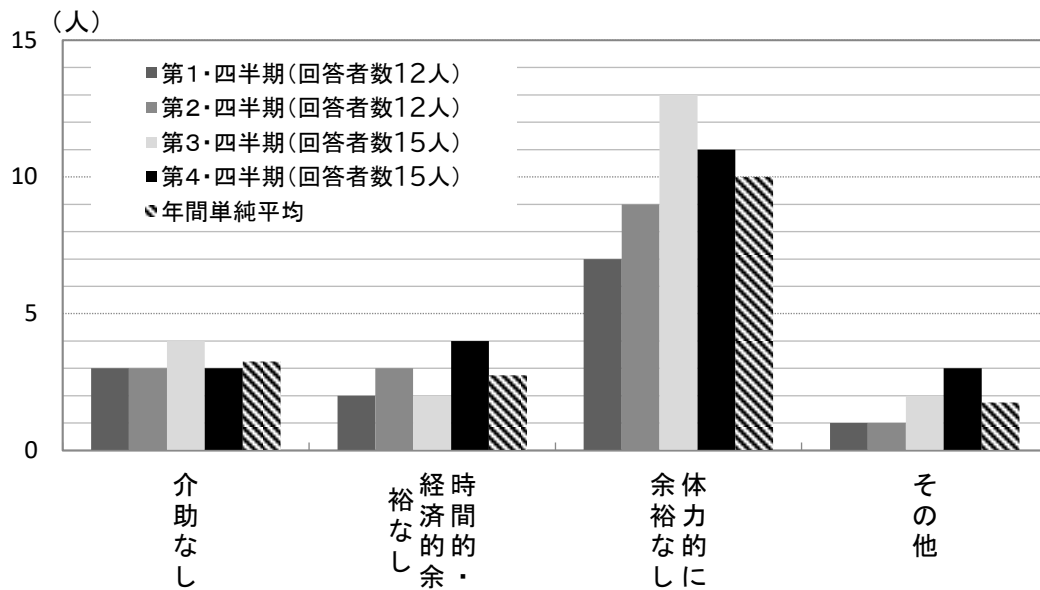


図 2-9 社会参加・社会活動等をしなかった理由の推移

### ③-2 社会参加・社会活動等のきっかけ（SJSの健康被害者の方のみに質問）

○本人または介護者にたずねた社会参加・社会活動等のきっかけの主な内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

#### ◇家族、親類

- ・家族の一人が運動するきっかけで一緒に運動する事になった。
- ・子供からの誘い

#### ◇友人、知人等

- ・友人との飲み会にさそわれた
- ・友人のすすめによる

#### ◇患者団体、同好会等

- ・生花教室
- ・視覚障害者福祉協会等からの情報提供

#### ◇自発的な活動

- ・運動不足で他のところが悪くなるのでスポーツ教室に入会
- ・見聞を広めたり、健康維持のため
- ・定年退職を機に、時間的余裕が出来、意欲も出て来たため
- ・入院で低下した体力・脚力の強化のため

#### ◇その他

- ・健常者と同じようでありたい。
- ・ずっと参加しているから。
- ・好きなアーティストがコンサートを開催したので参加した。

### ③-3 社会参加・社会活動等の内容

#### ア 第1・四半期（回答者 33人）

○社会参加や社会活動などを行ったと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において健康被害者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-10及び図2-10のとおりである（複数回答）。

- 「友達との遊び」が45.5%、「障害者団体の活動」が39.4%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が36.4%となっている
- その他としては、「デイサービスの利用」などをあげている

#### イ 第2・四半期（回答者 34人）

○第2・四半期において健康被害者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-10及び図2-10のとおりである（複数回答）。

- 「友達との遊び」が50.0%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が47.1%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が44.1%となっている
- その他としては、「学会への参加」などをあげている

#### ウ 第3・四半期（回答者 35人）

○第3・四半期において健康被害者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-10及び図2-10のとおりである（複数回答）。

- 「友達との遊び」が45.7%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が42.9%、「障害者団体の活動」が40.0%となっている
- その他としては、「プール」などをあげている

#### エ 第4・四半期（回答者 37人）

○第4・四半期において健康被害者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-10及び図2-10のとおりである（複数回答）。

- 「友達との遊び」が40.5%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が37.8%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が35.1%となっている
- その他としては、「障害者施設入所中の弟の外出時の同行」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-10及び図2-10のとおりである（複数回答）。

□ 社会参加・社会活動などの内容の年間の平均では「友達との遊び」が45.3%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が40.3%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が38.1%、「障害者団体の活動」が34.5%、「趣味の同好会活動」が28.8%、「スポーツ教室、大会などへの参加」が23.0%、「パソコンを利用した社会参加」がそれぞれ23.0%となっている

表2-10 社会参加・社会活動等の内容の推移

	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	スポーツ教室、大会などへの参加	旅行・キャンプ・つりなどの活動	趣味の同好会活動	ボランティアなどの社会活動	障害者団体の活動	地域活動	パソコンを利用した社会参加	友達との遊び	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	11	10	12	10	3	13	1	7	15	5	21	33
	33.3%	30.3%	36.4%	30.3%	9.1%	39.4%	3.0%	21.2%	45.5%	15.2%	—	100.0%
第2・四半期	16	7	15	10	4	11	3	8	17	3	19	34
	47.1%	20.6%	44.1%	29.4%	11.8%	32.4%	8.8%	23.5%	50.0%	8.8%	—	100.0%
第3・四半期	15	6	13	9	6	14	4	8	16	4	17	35
	42.9%	17.1%	37.1%	25.7%	17.1%	40.0%	11.4%	22.9%	45.7%	11.4%	—	100.0%
第4・四半期	14	9	13	11	5	10	4	9	15	3	16	37
	37.8%	24.3%	35.1%	29.7%	13.5%	27.0%	10.8%	24.3%	40.5%	8.1%	—	100.0%
年間単純平均	14.0	8.0	13.3	10.0	4.5	12.0	3.0	8.0	15.8	3.8	18.3	34.8
	40.3%	23.0%	38.1%	28.8%	12.9%	34.5%	8.6%	23.0%	45.3%	10.8%	—	100.0%
R5年度平均	13.0	8.8	13.8	9.0	4.0	11.0	3.0	8.3	12.5	5.5	0.5	34.8
	37.4%	25.2%	39.6%	25.9%	11.5%	31.7%	8.6%	23.7%	36.0%	15.8%	—	100.0%
R4年度平均	11.5	7.8	9.8	9.5	3.0	9.3	2.8	10.3	11.5	3.3	0.0	30.5
	37.7%	25.4%	32.0%	31.1%	9.8%	30.3%	9.0%	33.6%	37.7%	10.7%	—	100.0%
R3年度平均	6.5	7.0	5.0	5.8	2.3	7.3	3.8	7.8	5.3	5.5	0.0	6.0
	26.3%	28.3%	20.2%	23.2%	9.1%	29.3%	15.2%	31.3%	21.2%	22.2%	—	100.0%
R2年度平均	3.5	6.5	4.8	4.8	1.5	5.8	2.3	7.0	5.5	6.0	0.0	25.0
	14.0%	26.0%	19.0%	19.0%	6.0%	23.0%	9.0%	28.0%	22.0%	24.0%	—	100.0%
R1年度平均	14.3	9.0	13.3	10.5	4.5	12.8	5.5	10.0	14.0	1.8	0.3	35.5
	40.1%	25.4%	37.3%	29.6%	12.7%	35.9%	15.5%	28.2%	39.4%	4.9%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

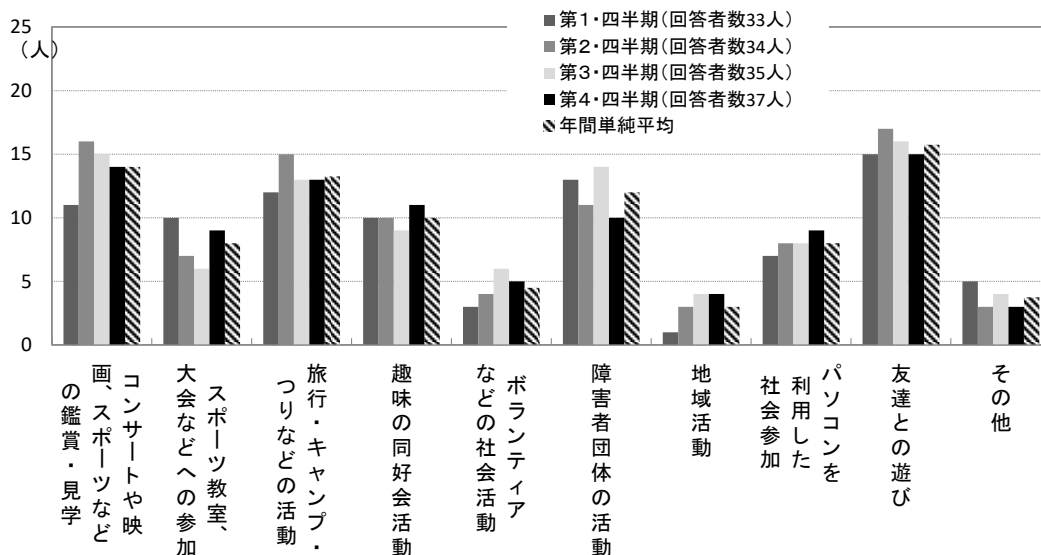


図2-10 社会参加・社会活動等の内容の推移

## ■ 屋内での生活における工夫について

### ④ 屋内での生活における工夫の有無（SJSの健康被害者の方のみに質問）

#### ア 第1・四半期（回答者49人）

○第1・四半期における屋内での生活の工夫の有無については、表2-11及び図2-11のとおりである。

□屋内での生活に工夫がある人が98.0%、工夫がない人が2.0%となっている

#### イ 第2・四半期（回答者49人）

○第2・四半期における屋内での生活の工夫の有無については、表2-11及び図2-11のとおりである。

□屋内での生活に工夫がある人が100.0%、工夫がない人が0.0%となっている

#### ウ 第3・四半期（回答者48人）

○第3・四半期における屋内での生活の工夫の有無については、表2-11及び図2-11のとおりである。

□屋内での生活に工夫がある人が100.0%、工夫がない人が0.0%となっている

#### エ 第4・四半期（回答者48人）

○第4・四半期における屋内での生活の工夫の有無については、表2-11及び図2-11のとおりである。

□屋内での生活に工夫がある人が100.0%、工夫がない人が0.0%となっている

#### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-11及び図2-11のとおりである。

□屋内での生活の工夫の有無の割合は、年間の平均では、工夫がある人が99.5%、ない人が0.5%となっている

表 2-11 屋内での生活における工夫の有無の推移

	ある	ない	回答なし	合計
第1・四半期	48 98.0%	1 2.0%	5 —	49 100.0%
第2・四半期	49 100.0%	0 0.0%	4 —	49 100.0%
第3・四半期	48 100.0%	0 0.0%	4 —	48 100.0%
第4・四半期	48 100.0%	0 0.0%	5 —	48 100.0%
年間単純平均	48.3 99.5%	0.3 0.5%	4.5 —	48.5 100.0%
R5年度平均	39.3 93.5%	2.8 6.5%	10.3 —	42.0 100.0%
R4年度平均	40.3 94.2%	2.5 5.8%	4.5 —	42.8 100.0%
R3年度平均	44.0 96.7%	1.5 3.3%	0.8 —	45.5 100.0%
R2年度平均	44.8 95.2%	2.3 4.8%	0.5 —	47.0 100.0%
R1年度平均	39.3 89.7%	4.5 10.3%	4.3 —	43.8 100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

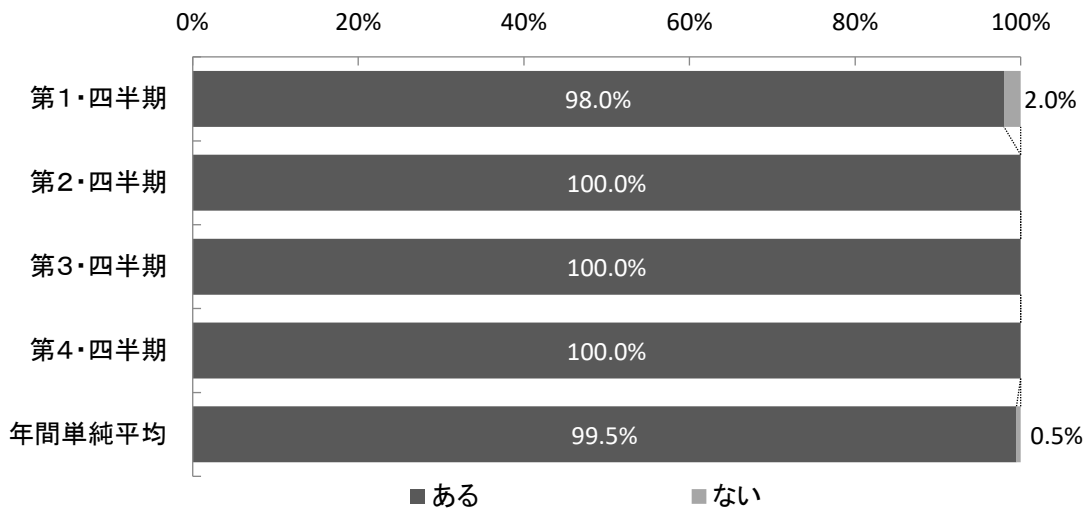


図 2-11 屋内での生活における工夫の有無の推移

#### ④-1 屋内での生活における工夫【家のつくり等】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

##### ア 第1・四半期（回答者46人）

○屋内での生活における工夫があると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容については、表2-12及び図2-12のとおりである（複数回答）。

- 「よく使う物は同じ場所に置く」が97.8%、「通路や床に物を置かない」が71.7%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が52.2%、「段差がないように敷物などで調整」が23.9%となっている
- その他としては、「物をともかく少なくする」などをあげている

##### イ 第2・四半期（回答者48人）

○第2・四半期において、屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容については、表2-12及び図2-12のとおりである（複数回答）。

- 「よく使う物は同じ場所に置く」が97.9%、「通路や床に物を置かない」が77.1%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が43.8%、「段差がないように敷物などで調整」が25.0%となっている
- その他としては、「手すりをつけて、転倒のリスクを避けている」などをあげている

##### ウ 第3・四半期（回答者47人）

○第3・四半期において、屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容については、表2-12及び図2-12のとおりである（複数回答）。

- 「よく使う物は同じ場所に置く」が97.9%、「通路や床に物を置かない」が76.6%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が31.9%、「段差がないように敷物などで調整」が25.5%となっている
- その他としては、「部屋、ローカ、にセンサーをたくさん設置する。」などをあげている

##### エ 第4・四半期（回答者45人）

○第4・四半期において、屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容については、表2-12及び図2-12のとおりである（複数回答）。

- 「よく使う物は同じ場所に置く」が91.1%、「通路や床に物を置かない」が73.3%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が35.6%、「段差がないように敷物などで調整」が22.2%となっている
- その他としては、「床に物を置かない。」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-12及び図2-12のとおりである（複数回答）。

□ 屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容の年間の平均では「よく使う物は同じ場所に置く」が96.2%、「通路や床に物を置かない」が74.7%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が40.9%、「段差がないように敷物などで調整」が24.2%となっている

表2-12 屋内での生活における工夫【家のつくり等】の推移

	通路や床に物を置かない	よく使う物は、同じ場所に置く	段差がないように敷物などで調整	移動の妨げにならないよう、部屋の扉は開けたまま	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	33	45	11	24	1	8	46
	71.7%	97.8%	23.9%	52.2%	2.2%	—	100.0%
第2・四半期	37	47	12	21	0	5	48
	77.1%	97.9%	25.0%	43.8%	0.0%	—	100.0%
第3・四半期	36	46	12	15	1	5	47
	76.6%	97.9%	25.5%	31.9%	2.1%	—	100.0%
第4・四半期	33	41	10	16	2	8	45
	73.3%	91.1%	22.2%	35.6%	4.4%	—	100.0%
年間単純平均	34.8	44.8	11.3	19.0	1.0	6.5	46.5
	74.7%	96.2%	24.2%	40.9%	2.2%	—	100.0%
R5年度平均	30.5	37.5	10.5	17.8	3.8	0.0	39.3
	77.7%	95.5%	26.8%	45.2%	9.6%	—	100.0%
R4年度平均	31.0	38.8	8.5	17.5	3.0	0.3	40.0
	77.5%	96.9%	21.3%	43.8%	7.5%	—	100.0%
R3年度平均	34.5	41.3	11.8	21.3	2.0	1.5	42.5
	81.2%	97.1%	27.6%	50.0%	4.7%	—	100.0%
R2年度平均	30.5	41.0	11.3	19.3	4.3	2.5	42.3
	72.2%	97.0%	26.6%	45.6%	10.1%	—	100.0%
R1年度平均	29.8	37.0	8.8	16.3	5.0	1.0	38.3
	77.8%	96.7%	22.9%	42.5%	13.1%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

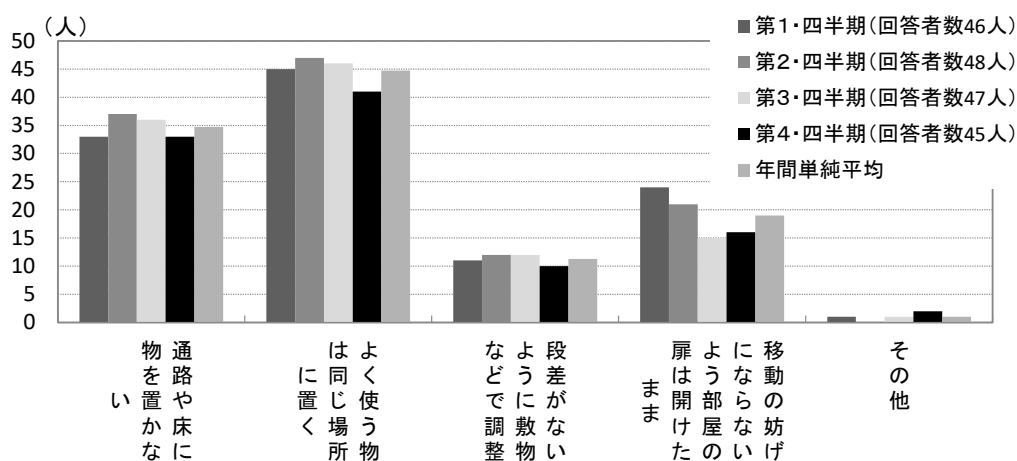


図2-12 屋内での生活における工夫【家のつくり等】の推移

#### ④-1 屋内での生活における工夫【補助用具等】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

##### ア 第1・四半期（回答者41人）

○屋内での生活における工夫があると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容については、表2-13及び図2-13のとおりである（複数回答）。

- 「音声ガイドや朗読サービスの活用」が68.3%、「拡大読書器・ルーペの活用」が53.7%となっている
- その他としては、「各種読み上げ機能を利用」などをあげている

##### イ 第2・四半期（回答者41人）

○第2・四半期において、屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容については、表2-13及び図2-13のとおりである（複数回答）。

- 「音声ガイドや朗読サービスの活用」が68.3%、「拡大読書器・ルーペの活用」が51.2%、となっている
- その他としては、「音声パソコン・スマホ」「音声で知らせる家電」などをあげている

##### ウ 第3・四半期（回答者38人）

○第3・四半期において、屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容については、表2-13及び図2-13のとおりである（複数回答）。

- 「音声ガイドや朗読サービスの活用」が73.7%、「拡大読書器・ルーペの活用」が52.6%となっている
- その他としては、「音声時計」などをあげている

##### エ 第4・四半期（回答者41人）

○第4・四半期において、屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容については、表2-13及び図2-13のとおりである（複数回答）。

- 「音声ガイドや朗読サービスの活用」が68.3%、「拡大読書器・ルーペの活用」が53.7%となっている
- その他としては、「スマホのカメラを拡大鏡として利用」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-13及び図2-13のとおりである（複数回答）。

□屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容の年間の平均では「音声ガイドや朗読サービスの活用」が69.6%、「拡大読書器・ルーペの活用」が52.8%となっている

表2-13 屋内での生活における工夫【補助用具等】の推移

	拡大読書器・ルーペの活用	音声ガイドや朗読サービスの活用	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	22	28	6	13	41
	53.7%	68.3%	14.6%	—	100.0%
第2・四半期	21	28	6	12	41
	51.2%	68.3%	14.6%	—	100.0%
第3・四半期	20	28	3	14	38
	52.6%	73.7%	7.9%	—	100.0%
第4・四半期	22	28	6	13	41
	53.7%	68.3%	14.6%	—	100.0%
年間単純平均	21.3	28.0	5.3	13.0	40.3
	52.8%	69.6%	13.0%	—	100.0%
R5年度平均	18.5	21.8	8.5	2.8	36.5
	50.7%	59.6%	23.3%	—	100.0%
R4年度平均	19.0	24.8	8.5	1.5	38.8
	49.0%	63.9%	21.9%	—	100.0%
R3年度平均	21.8	25.8	7.0	3.3	40.8
	53.4%	63.2%	17.2%	—	100.0%
R2年度平均	23.8	24.5	8.5	4.0	40.8
	58.3%	60.1%	20.9%	—	100.0%
R1年度平均	20.8	23.0	6.8	2.3	37.0
	56.1%	62.2%	18.2%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

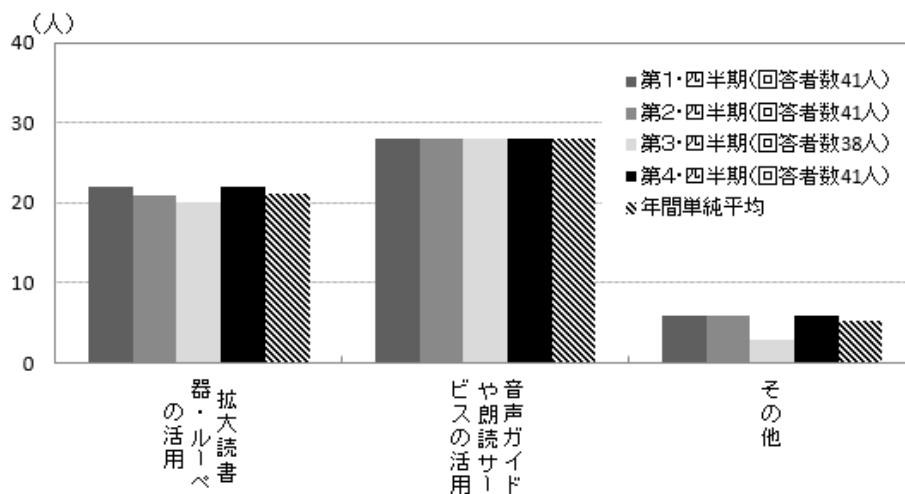


図2-13 屋内での生活における工夫【補助用具等】の推移

#### ④-1 屋内での生活における工夫【衛生面等】（SJS の健康被害者の方のみに質問）

##### ア 第1・四半期（回答者 32 人）

○屋内での生活における工夫があると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容については、表 2-14 及び図 2-14 のとおりである（複数回答）。

- 「こまめな温度調節」が 78.1%、「乾燥予防のため加湿器を利用」が 40.6%、「ハウスダストの徹底した除去」が 28.1%となっている
- その他としては、「頻回の点眼、軟膏点入」などをあげている

##### イ 第2・四半期（回答者 32 人）

○第2・四半期において、屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容については、表 2-14 及び図 2-14 のとおりである（複数回答）。

- 「こまめな温度調節」が 84.4%、「乾燥予防のため加湿器を利用」が 40.6%、「ハウスダストの徹底した除去」が 37.5%となっている
- その他としては、「出かけて帰ってきたら、消毒、うがいをする」などをあげている

##### ウ 第3・四半期（回答者 29 人）

○第3・四半期において、屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容については、表 2-14 及び図 2-14 のとおりである（複数回答）。

- 「こまめな温度調節」が 75.9%、「乾燥予防のため加湿器を利用」が 62.1%、「ハウスダストの徹底した除去」が 37.9%となっている
- その他としては、「保湿剤塗布」などをあげている

##### エ 第4・四半期（回答者 32 人）

○第4・四半期において、屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容については、表 2-14 及び図 2-14 のとおりである（複数回答）。

- 「こまめな温度調節」が 78.1%、「乾燥予防のため加湿器を利用」が 56.3%、「ハウスダストの徹底した除去」が 28.1%となっている
- その他としては、「ドラム式洗濯機の乾燥機能利用」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-14及び図2-14のとおり（複数回答）。
- 屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容の年間の平均では「こまめな温度調節」が79.2%、「乾燥予防のため加湿器を利用」が49.6%、「ハウスダストの徹底した除去」が32.8%となっている

表2-14 屋内での生活における工夫【衛生面等】の推移

	乾燥予防のため加湿器を利用	こまめな温度調節	ハウスダストの徹底した除去	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	13	25	9	2	22	32
	40.6%	78.1%	28.1%	6.3%	—	100.0%
第2・四半期	13	27	12	4	21	32
	40.6%	84.4%	37.5%	12.5%	—	100.0%
第3・四半期	18	22	11	4	23	29
	62.1%	75.9%	37.9%	13.8%	—	100.0%
第4・四半期	18	25	9	3	21	32
	56.3%	78.1%	28.1%	9.4%	—	100.0%
年間単純平均	15.5	24.8	10.3	3.3	21.8	31.3
	49.6%	79.2%	32.8%	10.4%	—	100.0%
R5年度平均	12.3	22.0	7.3	3.8	11.0	28.3
	43.4%	77.9%	25.7%	13.3%	—	100.0%
R4年度平均	11.8	22.8	8.8	5.8	11.5	28.8
	40.9%	79.1%	30.4%	20.0%	—	100.0%
R3年度平均	13.3	23.0	12.3	5.5	13.8	30.3
	43.8%	76.0%	40.5%	18.2%	—	100.0%
R2年度平均	15.0	23.3	9.8	5.0	14.0	30.8
	48.8%	75.6%	31.7%	16.3%	—	100.0%
R1年度平均	16.3	21.5	10.5	4.8	8.5	30.8
	52.8%	69.9%	34.1%	15.4%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

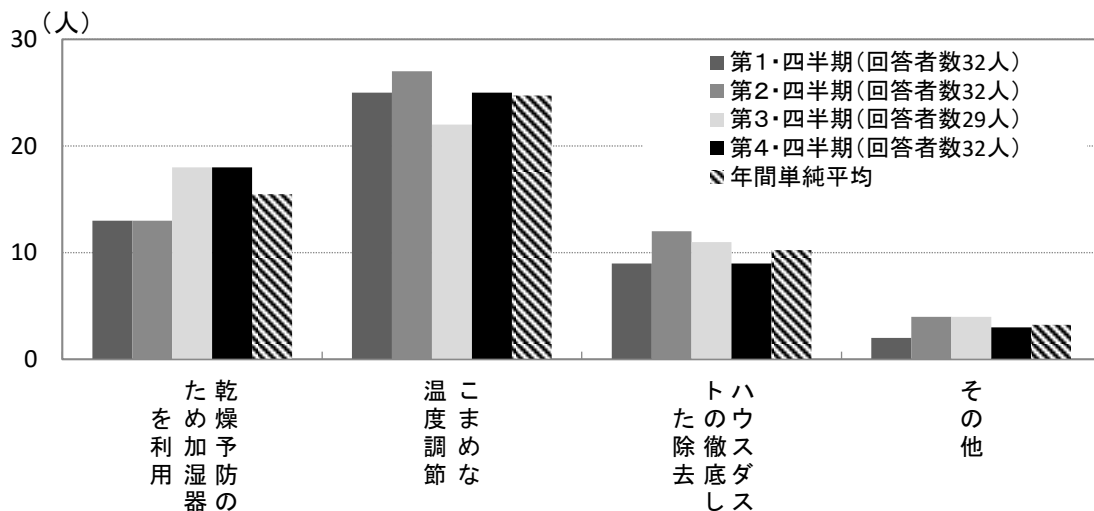


図2-14 屋内での生活における工夫【衛生面等】の推移

#### ④-1 屋内での生活における工夫【区別方法】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

##### ア 第1・四半期（回答者26人）

○屋内での生活における工夫があると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容については、表2-15及び図2-15のとおりである（複数回答）。

- 「点字シールをつける」が53.8%、「カラーテープで目印」が26.9%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が15.4%となっている
- その他としては、「識別タグや、鍵等に物探しタグをそれぞれ付けておき、それらに紐付いた専用アプリ操作で物の位置関係や、物の識別を音声で確認したりして利用している。」などをあげている

##### イ 第2・四半期（回答者30人）

○第2・四半期において、屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容については、表2-15及び図2-15のとおりである（複数回答）。

- 「点字シールをつける」が46.7%、「カラーテープで目印」が23.3%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が16.7%となっている
- その他としては、「紐、糸、輪ゴムなどで区別 配色を工夫」などをあげている

##### ウ 第3・四半期（回答者23人）

○第3・四半期において、屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容については、表2-15及び図2-15のとおりである（複数回答）。

- 「点字シールをつける」が47.8%、「カラーテープで目印」が30.4%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が21.7%となっている
- その他としては、「凸凹シールをはる」などをあげている

##### エ 第4・四半期（回答者27人）

○第4・四半期において、屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容については、表2-15及び図2-15のとおりである（複数回答）。

- 「点字シールをつける」が51.9%、「カラーテープで目印」が25.9%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が18.5%となっている
- その他としては、「物の順番を変えない」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-15及び図2-15のとおりである（複数回答）。

□屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容の年間の平均では「点字シールをつける」が50.0%、「カラーテープで目印」が26.4%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が17.9%となっている

表2-15 屋内での生活における工夫【区別方法】の推移

	点字シールを付ける	カラーテープで目印	室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	14	7	4	5	28	26
	53.8%	26.9%	15.4%	19.2%	—	100.0%
第2・四半期	14	7	5	9	23	30
	46.7%	23.3%	16.7%	30.0%	—	100.0%
第3・四半期	11	7	5	6	29	23
	47.8%	30.4%	21.7%	26.1%	—	100.0%
第4・四半期	14	7	5	7	26	27
	51.9%	25.9%	18.5%	25.9%	—	100.0%
年間単純平均	13.3	7.0	4.8	6.8	26.5	26.5
	50.0%	26.4%	17.9%	25.5%	—	100.0%
R5年度平均	13.0	6.8	4.5	7.5	12.8	26.5
	49.1%	25.5%	17.0%	28.3%	—	100.0%
R4年度平均	13.0	7.0	5.0	8.0	14.8	25.5
	51.0%	27.5%	19.6%	31.4%	—	100.0%
R3年度平均	12.0	8.3	4.5	8.3	18.3	25.8
	46.6%	32.0%	17.5%	32.0%	—	100.0%
R2年度平均	12.8	11.3	6.3	5.0	18.8	26.0
	49.0%	43.3%	24.0%	19.2%	—	100.0%
R1年度平均	12.3	9.0	6.0	7.8	12.3	27.0
	45.4%	33.3%	22.2%	28.7%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

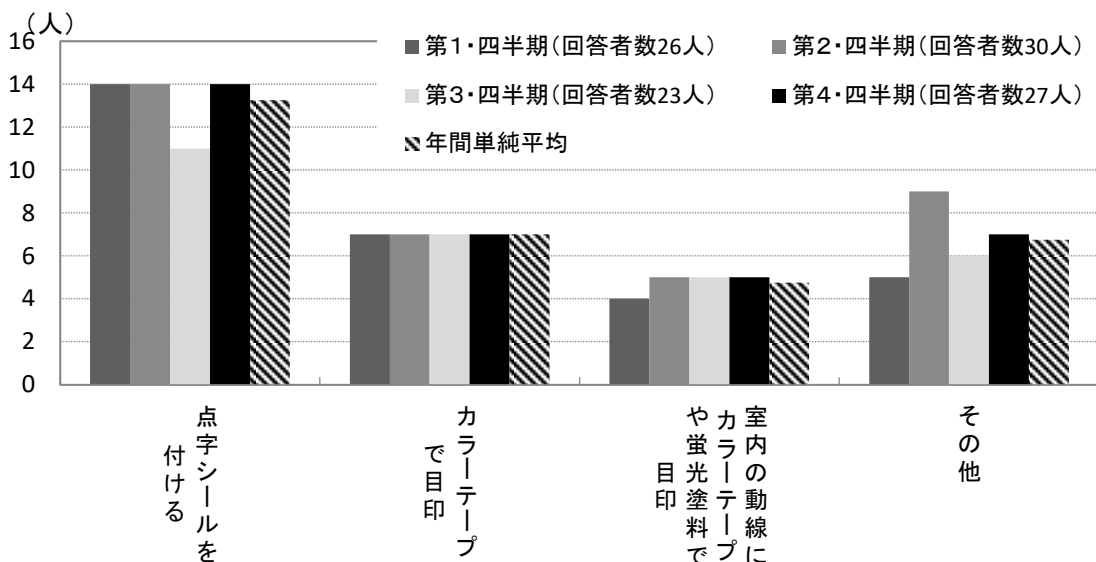


図2-15 屋内での生活における工夫【区別方法】の推移

#### ④-2 屋内での生活における工夫

○本人または介護者にたずねた屋内での生活における工夫の主な具体的内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・部屋は日中でも明るくする 電気を付けて置く 部屋の中の戸もなるべく開けて置く
- ・採光・照明の調節
- ・危険な物は、必ず定位位置に置く（例えば包丁・ハサミ）
- ・バリアフリーや、リフト（屋外・屋内）もすべて設置しました。
- ・身の回りに必要な物を置き移動しなくていいようにしている
- ・毎時 00 分に、音声時計で時刻を知らせるようにする。
- ・なるべくドアを開けておいて通るのに障害にならない様気をつけている。
- ・新たに IH 圧力式炊飯器やドラム式洗濯機、スティック掃除機などを購入する時には極力視覚に頼らなくても使用できるような凸ボタン式操作可能な製品を選ぶようにしている。訪問薬剤師がきた時に冷蔵庫のドアに予め朝昼晩や頓服用の内服薬それぞれのポケットを用意してもらい、訪問する毎に 1 週間で内服する常用薬をそれぞれの回ポケットにわけておいてもらえれば、自分でも各一回分の薬の小袋に入れてある物のみを内服すればよくとても簡便。
- ・（凹凸シール使用）全盲なため手の触る感覚で自分の私物が、わかるよう工夫。
- ・スリッパの色を目立つようにしている
- ・方向が分かる様に室内のライトを片方だけ点ける。
- ・必要なもの一式を目立つかごに入れて、常に手元に置いている
- ・ベッド上部に置いた薬などを入れた小物入れが触って落下しないように、両面テープで台に留めた。

## ■ 日常生活について（SJS の健康被害者の方のみに質問）

### ⑤ 日常生活について

#### ⑤-1 新聞や本を読むことの不自由さについて

##### ア 第1・四半期（回答者 43 人）

○第1・四半期において、ものが見えにくいために、新聞や本を読むことがどの程度不自由であるかをたずねた結果は、表 2-16 及び図 2-16 のとおりである。

□新聞や本を読むことについては「見えにくいのでやめた」が 74.4%、「とても不自由」が 23.3% となっている

##### イ 第2・四半期（回答者 46 人）

○第2・四半期において、ものが見えにくいために、新聞や本を読むことがどの程度不自由であるかをたずねた結果は、表 2-16 及び図 2-16 のとおりである。

□新聞や本を読むことについては「見えにくいのでやめた」が 67.4%、「とても不自由」が 30.4% となっている

##### ウ 第3・四半期（回答者 43 人）

○第3・四半期において、ものが見えにくいために、新聞や本を読むことがどの程度不自由であるかをたずねた結果は、表 2-16 及び図 2-16 のとおりである。

□新聞や本を読むことについては「見えにくいのでやめた」が 72.1%、「とても不自由」が 25.6% となっている

##### エ 第4・四半期（回答者 46 人）

○第4・四半期において、ものが見えにくいために、新聞や本を読むことがどの程度不自由であるかをたずねた結果は、表 2-16 及び図 2-16 のとおりである。

□新聞や本を読むことについては「見えにくいのでやめた」が 67.4%、「とても不自由」が 30.4% となっている

##### オ 四半期ごとの推移

○1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-16 及び図 2-16 のとおりである。

□ものが見えにくいために新聞や本を読むことの不自由さについては、年間の平均では「見えにくいのでやめた」が 70.2%、「とても不自由」が 27.5%となっている

表 2-16 新聞や本を読むことの不自由さの推移

	全く不自由 はない	あまり不自由 はない	とても不自由	見えにくいので やめた	回答なし	回答者数
第1・四半期	0	1	10	32	11	43
	0.0%	2.3%	23.3%	74.4%	—	100.0%
第2・四半期	0	1	14	31	7	46
	0.0%	2.2%	30.4%	67.4%	—	100.0%
第3・四半期	0	1	11	31	9	43
	0.0%	2.3%	25.6%	72.1%	—	100.0%
第4・四半期	0	1	14	31	7	46
	0.0%	2.2%	30.4%	67.4%	—	100.0%
年間単純平均	0.0	1.0	12.3	31.3	8.5	44.5
	0.0%	2.2%	27.5%	70.2%	—	100.0%
R5年度平均	0.3	0.8	9.0	31.5	10.8	41.5
	0.6%	1.8%	21.7%	75.9%	—	100.0%
R4年度平均	0.0	1.0	10.0	31.8	4.5	42.8
	0.0%	2.3%	23.4%	74.3%	—	100.0%
R3年度平均	0.0	1.8	9.5	30.3	4.8	41.5
	0.0%	4.2%	22.9%	72.9%	—	100.0%
R2年度平均	0.3	1.0	12.0	31.8	2.5	45.0
	0.6%	2.2%	26.7%	70.6%	—	100.0%
R1年度平均	0.8	1.5	14.5	26.3	5.0	43.0
	1.7%	3.5%	33.7%	61.0%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

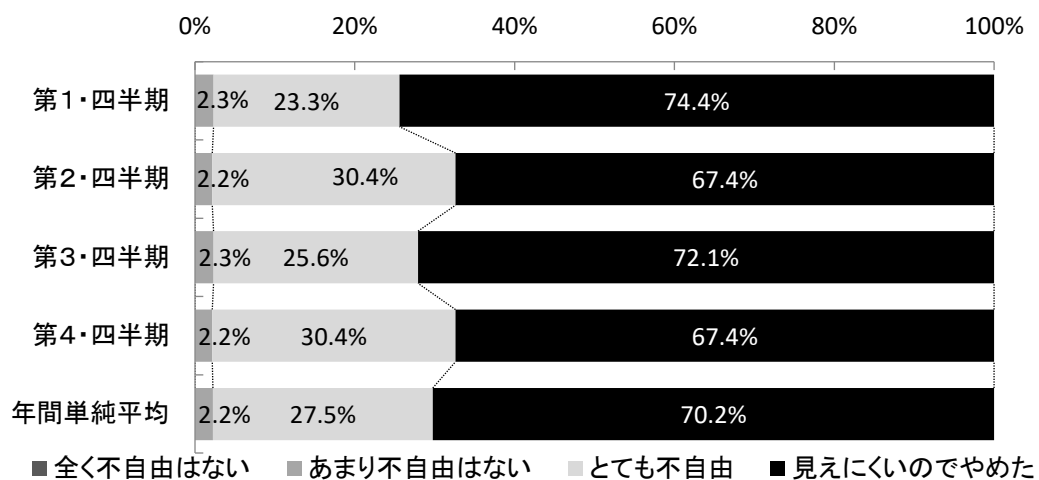


図 2-16 新聞や本を読むことの不自由さの推移

## ⑤-2 目や目のまわりの痛み・不快感の程度について

### ア 第1・四半期（回答者 47人）

○第1・四半期において、目や目のまわりの痛み・不快感の程度についてたずねた結果は、表 2-17 及び図 2-17 のとおりである。

□目や目のまわりの痛みや不快感については「かなりある」が 57.4%、「中くらいある」が 27.7% となっている

### イ 第2・四半期（回答者 47人）

○第2・四半期において、目や目のまわりの痛み・不快感の程度についてたずねた結果は、表 2-17 及び図 2-17 のとおりである。

□目や目のまわりの痛みや不快感については「かなりある」が 59.6%、「中くらいある」が 29.8% となっている

### ウ 第3・四半期（回答者 45人）

○第3・四半期において、目や目のまわりの痛み・不快感の程度についてたずねた結果は、表 2-17 及び図 2-17 のとおりである。

□目や目のまわりの痛みや不快感については「かなりある」が 64.4%、「中くらいある」が 26.7% となっている

### エ 第4・四半期（回答者 48人）

○第4・四半期において、目や目のまわりの痛み・不快感の程度についてたずねた結果は、表 2-17 及び図 2-17 のとおりである。

□目や目のまわりの痛みや不快感については「かなりある」が 56.3%、「中くらいある」が 29.2% となっている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-17 及び図 2-17 のとおりである。

□目や目のまわりの痛み・不快感の程度については、年間の平均では「かなりある」が 59.4%、「中くらいある」が 28.3%となっている

表 2-17 目や目のまわりの痛み・不快感の程度の推移

	かなりある	中くらいある	かすかにある	まったくない	回答なし	回答者数
第1・四半期	27	13	7	0	7	47
	57.4%	27.7%	14.9%	0.0%	—	100.0%
第2・四半期	28	14	5	0	6	47
	59.6%	29.8%	10.6%	0.0%	—	100.0%
第3・四半期	29	12	4	0	7	45
	64.4%	26.7%	8.9%	0.0%	—	100.0%
第4・四半期	27	14	7	0	5	48
	56.3%	29.2%	14.6%	0.0%	—	100.0%
年間単純平均	27.8	13.3	5.8	0.0	6.3	46.8
	59.4%	28.3%	12.3%	0.0%	—	100.0%
R5年度平均	26.5	12.0	6.5	0.3	7.0	45.3
	58.6%	26.5%	14.4%	0.6%	—	100.0%
R4年度平均	26.5	11.8	6.3	0.3	2.5	44.8
	59.2%	26.3%	14.0%	0.6%	—	100.0%
R3年度平均	26.3	12.0	6.5	0.3	1.3	45.0
	58.3%	26.7%	14.4%	0.6%	—	100.0%
R2年度平均	27.5	11.8	7.0	0.0	1.3	46.3
	59.5%	25.4%	15.1%	0.0%	—	100.0%
R1年度平均	25.3	14.3	7.3	0.0	1.3	46.8
	54.0%	30.5%	15.5%	0.0%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

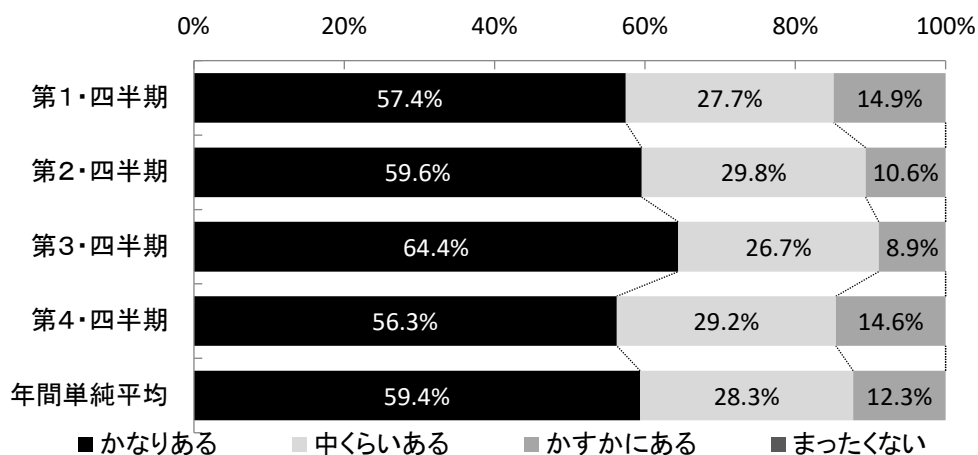


図 2-17 目や目のまわりの痛み・不快感の程度の推移

### ⑤-3 ものが見えにくいため物事を思いどおりにやりとげられない場合

#### ア 第1・四半期（回答者 46 人）

○第1・四半期において、ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについてたずねた結果は、表 2-18 及び図 2-18 のとおりである。

□ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについては「ある」が 89.1%、「ない」が 10.9%となっている

#### イ 第2・四半期（回答者 45 人）

○第2・四半期において、ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについてたずねた結果は、表 2-18 及び図 2-18 のとおりである。

□ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについては「ある」が 91.1%、「ない」が 8.9%となっている

#### ウ 第3・四半期（回答者 43 人）

○第3・四半期において、ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについてたずねた結果は、表 2-18 及び図 2-18 のとおりである。

□ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについては「ある」が 93.0%、「ない」が 7.0%となっている

#### エ 第4・四半期（回答者 48 人）

○第4・四半期において、ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについてたずねた結果は、表 2-18 及び図 2-18 のとおりである。

□ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについては「ある」が 93.8%、「ない」が 6.3%となっている

#### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-18 及び図 2-18 のとおりである。

□ものが見えにくいために物事を思いどおりにやりとげられない場合については、年間の平均では「ある」が 91.8%、「ない」が 8.2%となっている

表 2-18 ものが見えにくいため物事を思いどおりにやりとげられない場合の推移

	ある	ない	回答なし	回答者数
第1・四半期	41	5	8	46
	89.1%	10.9%	—	100.0%
第2・四半期	41	4	8	45
	91.1%	8.9%	—	100.0%
第3・四半期	40	3	9	43
	93.0%	7.0%	—	100.0%
第4・四半期	45	3	5	48
	93.8%	6.3%	—	100.0%
年間単純平均	41.8	3.8	7.5	45.5
	91.8%	8.2%	—	100.0%
R5年度平均	38.0	2.3	12.0	40.3
	94.4%	5.6%	—	100.0%
R4年度平均	40.0	1.8	5.5	41.8
	95.8%	4.2%	—	100.0%
R3年度平均	41.3	2.8	2.3	44.0
	93.8%	6.3%	—	100.0%
R2年度平均	42.0	2.3	3.3	45.3
	94.5%	5.5%	—	100.0%
R1年度平均	42.8	2.5	2.8	45.3
	94.5%	5.5%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

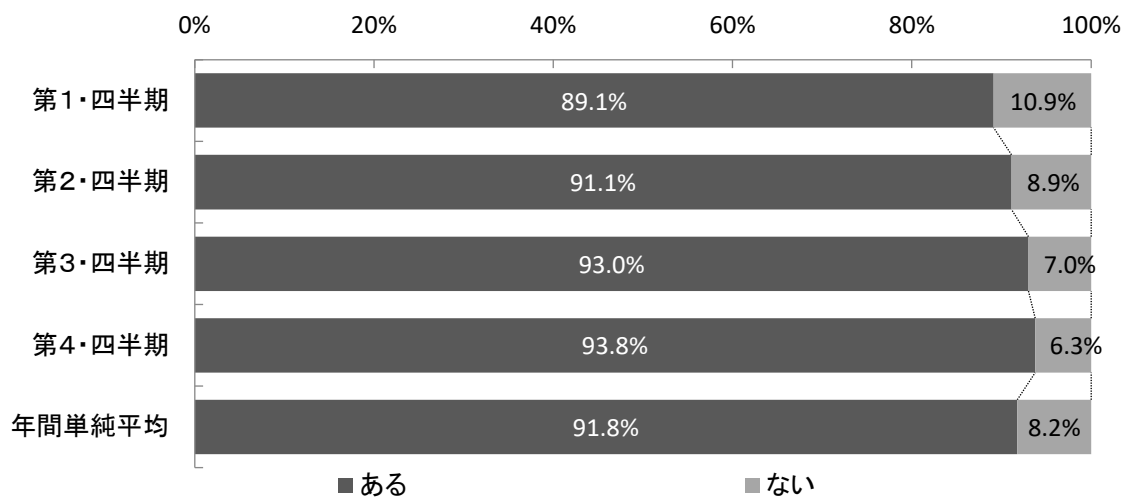


図 2-18 ものが見えにくいため物事を思いどおりにやりとげられない場合の推移

## ⑤-4 思いどおりにやりとげられないためイライラすることの有無

### ア 第1・四半期（回答者46人）

○第1・四半期において、物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについてたずねた結果は、表2-19及び図2-19のとおりである。

□物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについては「ある」が82.6%、「ない」が17.4%となっている

### イ 第2・四半期（回答者44人）

○第2・四半期において、物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについてたずねた結果は、表2-19及び図2-19のとおりである。

□物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについては「ある」が86.4%、「ない」が13.6%となっている

### ウ 第3・四半期（回答者44人）

○第3・四半期において、物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについてたずねた結果は、表2-19及び図2-19のとおりである。

□物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについては「ある」が88.6%、「ない」が11.4%となっている

### エ 第4・四半期（回答者45人）

○第4・四半期において、物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについてたずねた結果は、表2-19及び図2-19のとおりである。

□物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについては「ある」が91.1%、「ない」が8.9%となっている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-19及び図2-19のとおりである。

□物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることの有無については、年間の平均では「ある」が87.2%、「ない」が12.8%となっている

表 2-19 思いどおりにやりとげられないためイライラすることの有無の推移

	ある	ない	回答なし	回答者数
第1・四半期	38	8	8	46
	82.6%	17.4%	—	100.0%
第2・四半期	38	6	9	44
	86.4%	13.6%	—	100.0%
第3・四半期	39	5	8	44
	88.6%	11.4%	—	100.0%
第4・四半期	41	4	8	45
	91.1%	8.9%	—	100.0%
年間単純平均	39.0	5.8	8.3	44.8
	87.2%	12.8%	—	100.0%
R5年度平均	35.0	4.3	13.0	39.3
	89.2%	10.8%	—	100.0%
R4年度平均	36.5	5.0	5.8	41.5
	88.0%	12.0%	—	100.0%
R3年度平均	38.5	5.5	2.3	44.0
	87.5%	12.5%	—	100.0%
R2年度平均	38.5	5.8	3.3	44.3
	87.0%	13.0%	—	100.0%
R1年度平均	40.3	5.3	2.5	45.5
	88.5%	11.5%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

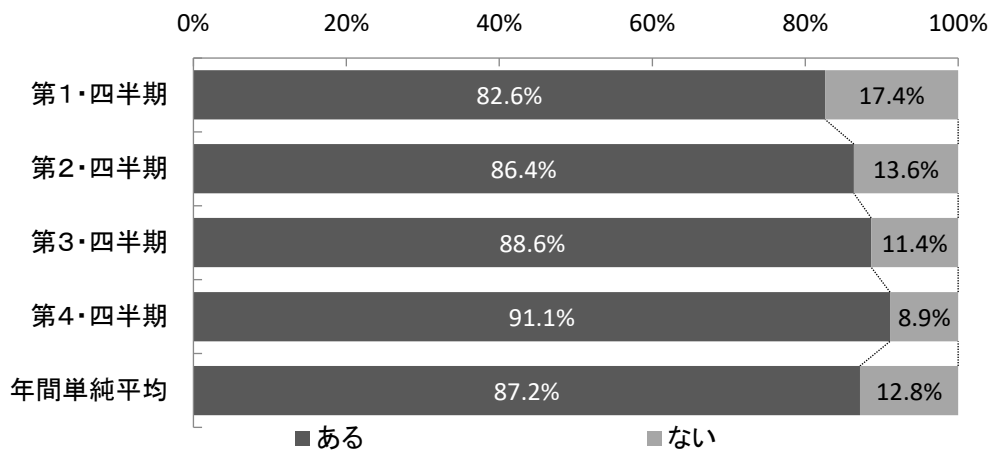


図 2-19 思いどおりにやりとげられないためイライラすることの有無の推移

## ⑤-5 呼吸器領域に関する診断の有無

### ア 第1・四半期（回答者 23 人）

○第1・四半期において、呼吸器領域に関する診断の有無についてたずねた結果は、表 2-20 及び図 2-20 のとおりである（複数回答）。

- 「気管支炎」が 47.8%、「気管支喘息」が 30.4%、「閉塞性細気管支炎」が 21.7%、「肺気腫」が 13.0%となっている
- その他としては、「肺 MAC 症」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者 22 人）

○第2・四半期において、呼吸器領域に関する診断の有無についてたずねた結果は、表 2-20 及び図 2-20 のとおりである（複数回答）。

- 「気管支炎」が 59.1%、「閉塞性細気管支炎」、「気管支喘息」がそれぞれ 18.2%、「肺気腫」が 13.6%となっている
- その他としては、「アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者 23 人）

○第3・四半期において、呼吸器領域に関する診断の有無についてたずねた結果は、表 2-20 及び図 2-20 のとおりである（複数回答）。

- 「気管支炎」が 65.2%、「閉塞性細気管支炎」が 17.4%、「肺気腫」が 13.0%、「気管支喘息」が 8.7%となっている
- その他としては、「COPD」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者 23 人）

○第4・四半期において、呼吸器領域に関する診断の有無についてたずねた結果は、表 2-20 及び図 2-20 のとおりである（複数回答）。

- 「気管支炎」が 52.2%、「閉塞性細気管支炎」、「気管支喘息」がそれぞれ 21.7%、「肺気腫」が 4.3%となっている
- その他としては、「上咽頭炎」などをあげている

## オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-20及び図2-20のとおりである（複数回答）。

□ 呼吸器領域に関する診断の有無についてたずねた結果の年間の平均では「気管支炎」が56.0%、「閉塞性細気管支炎」、「気管支喘息」がそれぞれ19.8%、「肺気腫」が11.0%となっている

表2-20 呼吸器領域に関する診断の有無

	閉塞性細気管支炎	気管支喘息	肺気腫	気管支炎	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	5	7	3	11	5	31	23
	21.7%	30.4%	13.0%	47.8%	21.7%	—	100.0%
第2・四半期	4	4	3	13	4	31	22
	18.2%	18.2%	13.6%	59.1%	18.2%	—	100.0%
第3・四半期	4	2	3	15	3	29	23
	17.4%	8.7%	13.0%	65.2%	13.0%	—	100.0%
第4・四半期	5	5	1	12	5	30	23
	21.7%	21.7%	4.3%	52.2%	21.7%	—	100.0%
年間単純平均	4.5	4.5	2.5	12.8	4.3	30.3	22.8
	19.8%	19.8%	11.0%	56.0%	18.7%	—	100.0%
R5年度平均	3.8	4.8	3.0	10.3	6.3	30.5	21.8
	17.2%	21.8%	13.8%	47.1%	28.7%	—	100.0%
R4年度平均	3.3	5.0	2.8	10.5	6.8	26.0	21.3
	15.3%	23.5%	12.9%	49.4%	31.8%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

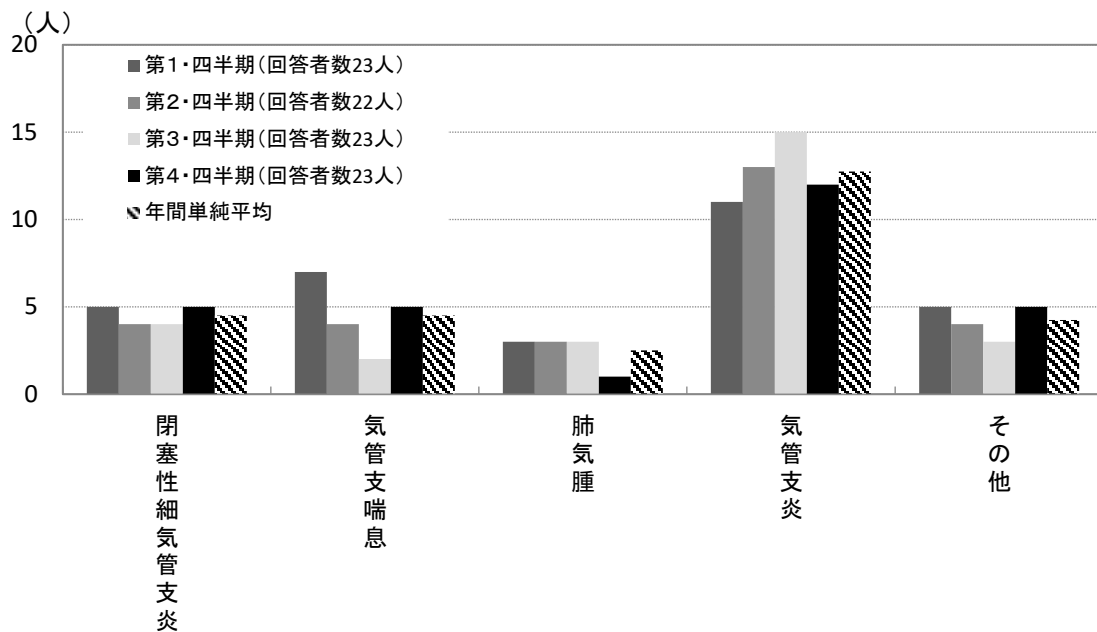


図2-20 呼吸器領域に関する診断の有無

## ⑤-6 呼吸器に関する症状の有無

### ア 第1・四半期（回答者 34人）

- 第1・四半期において、呼吸器に関する症状の有無についてたずねた結果は、表 2-21 及び図 2-21 のとおりである（複数回答）。
- 「咳、たん」が 88.2%、「息切れ」が 32.4%となっている
- その他としては、「喉や鼻の詰まり」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者 34人）

- 第2・四半期において、呼吸器に関する症状の有無についてたずねた結果は、表 2-21 及び図 2-21 のとおりである（複数回答）。
- 「咳、たん」が 94.1%、「息切れ」が 32.4%となっている
- その他としては、「ホクナリンテープ（気管拡張剤使用）」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者 33人）

- 第3・四半期において、呼吸器に関する症状の有無についてたずねた結果は、表 2-21 及び図 2-21 のとおりである（複数回答）。
- 「咳、たん」が 93.9%、「息切れ」が 27.3%となっている
- その他としては、「だ液が出ない常にセキ込む」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者 35人）

- 第4・四半期において、呼吸器に関する症状の有無についてたずねた結果は、表 2-21 及び図 2-21 のとおりである（複数回答）。
- 「咳、たん」が 97.1%、「息切れ」が 42.9%となっている
- その他としては、「咳が長びくと胸の辺りがまっ赤になり皮フがチクチク痛む」などをあげている

### オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-21 及び図 2-21 のとおりである（複数回答）。
- 呼吸器に関する症状の有無についてたずねた結果の年間の平均では「咳、たん」が 93.4%、「息切れ」が 33.8%、「酸素の使用」が 5.1%となっている

表 2-21 呼吸器に関する症状の有無

	咳、たん	息切れ	酸素の使用	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	30	11	1	4	20	34
	88.2%	32.4%	2.9%	11.8%	—	100.0%
第2・四半期	32	11	2	3	19	34
	94.1%	32.4%	5.9%	8.8%	—	100.0%
第3・四半期	31	9	2	1	19	33
	93.9%	27.3%	6.1%	3.0%	—	100.0%
第4・四半期	34	15	2	2	18	35
	97.1%	42.9%	5.7%	5.7%	—	100.0%
年間単純平均	31.8	11.5	1.8	2.5	19.0	34.0
	93.4%	33.8%	5.1%	7.4%	—	100.0%
R5年度平均	28.3	9.8	0.0	2.5	22.5	29.8
	95.0%	32.8%	0.0%	8.4%	—	100.0%
R4年度平均	27.8	9.0	0.3	2.8	17.3	30.0
	92.5%	30.0%	0.8%	9.2%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

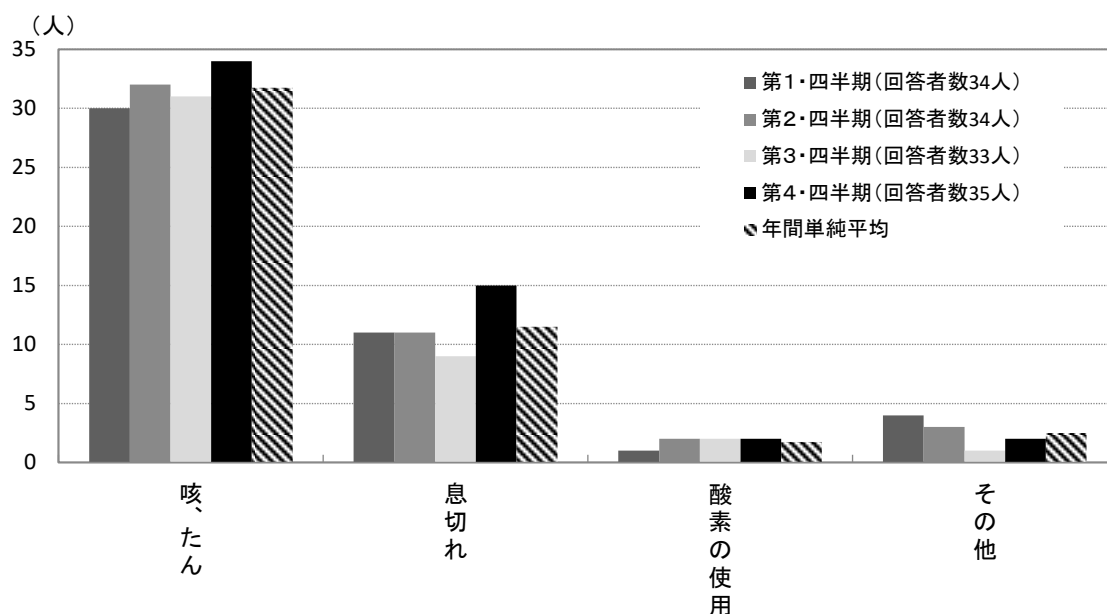


図 2-21 呼吸器に関する症状の有無

## ⑤-7 視力以外の状況【皮膚や爪に関する症状】

### ア 第1・四半期（回答者44人）

- 第1・四半期において、皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果は、表2-22及び図2-22のとおりである（複数回答）。
- 「爪の変形、剥離」が86.4%、「皮膚のかゆみ、乾燥」が68.2%、「癒痕が残る」が45.5%となっている
- その他としては、「日光に当たると（短時間でも）痒みやヒリヒリ感が出る」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者43人）

- 第2・四半期において、皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果は、表2-22及び図2-22のとおりである（複数回答）。
- 「爪の変形、剥離」が90.7%、「皮膚のかゆみ、乾燥」が74.4%、「癒痕が残る」が44.2%となっている
- その他としては、「汗疹・虫刺され・面皰」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者44人）

- 第3・四半期において、皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果は、表2-22及び図2-22のとおりである（複数回答）。
- 「爪の変形、剥離」が88.6%、「皮膚のかゆみ、乾燥」が70.5%、「癒痕が残る」が47.7%となっている
- その他としては、「軽いいぼ・たこ・アトピー性皮膚炎」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者45人）

- 第4・四半期において、皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果は、表2-22及び図2-22のとおりである（複数回答）。
- 「爪の変形、剥離」が86.7%、「皮膚のかゆみ、乾燥」が82.2%、「癒痕が残る」が48.9%となっている
- その他としては、「爪がないので物がつかみにくい。」などをあげている

### オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-22及び図2-22のとおりである（複数回答）。
- 皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「爪の変形、剥離」が88.1%、「皮膚のかゆみ、乾燥」が73.9%、「癒痕が残る」が46.6%となっている

表 2-22 視力以外の状況【皮膚や爪に関する症状】の推移

	皮膚のかゆみ、乾燥	瘢痕が残る	爪の変形、剥離	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	30	20	38	2	10	44
	68.2%	45.5%	86.4%	4.5%	—	100.0%
第2・四半期	32	19	39	2	10	43
	74.4%	44.2%	90.7%	4.7%	—	100.0%
第3・四半期	31	21	39	3	8	44
	70.5%	47.7%	88.6%	6.8%	—	100.0%
第4・四半期	37	22	39	2	8	45
	82.2%	48.9%	86.7%	4.4%	—	100.0%
年間単純平均	32.5	20.5	38.8	2.3	9.0	44.0
	73.9%	46.6%	88.1%	5.1%	—	100.0%
R5年度平均	32.0	21.5	37.5	3.0	7.5	44.8
	71.5%	48.0%	83.8%	6.7%	—	100.0%
R4年度平均	32.8	23.8	39.0	4.8	3.0	44.3
	74.0%	53.7%	88.1%	10.7%	—	100.0%
R3年度平均	32.5	22.8	36.0	2.5	3.3	43.0
	75.6%	52.9%	83.7%	5.8%	—	100.0%
R2年度平均	36.0	25.0	37.3	1.5	3.3	44.3
	81.4%	56.5%	84.2%	3.4%	—	100.0%
R1年度平均	36.5	20.5	36.0	3.0	2.8	45.3
	80.7%	45.3%	79.6%	6.6%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

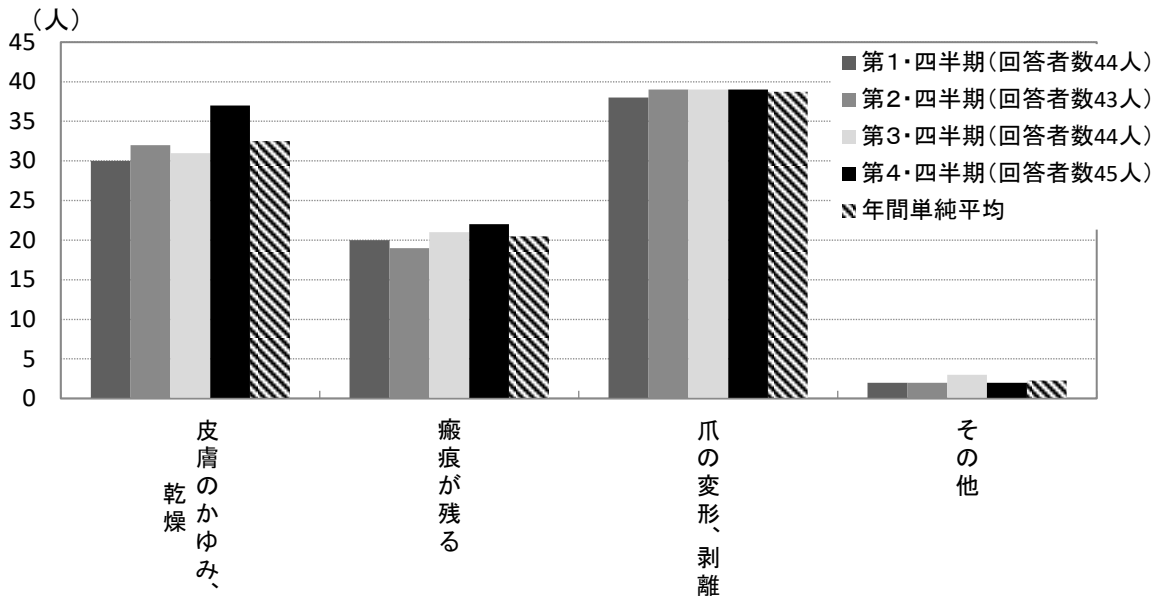


図 2-22 視力以外の状況【皮膚や爪に関する症状】の推移

## ⑤-7 視力以外の状況【内臓機能に関する症状】

### ア 第1・四半期（回答者 30 人）

○第1・四半期において、内臓機能に関する症状についてたずねた結果は、表 2-23 及び図 2-23 のとおりである（複数回答）。

□「高血圧」が 46.7%、「心肺機能の低下・異常」が 40.0%、「粘膜不全」が 26.7%となっている

□その他としては、「急性虫垂炎による腹膜炎・開腹手術の既往」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者 28 人）

○第2・四半期において、内臓機能に関する症状についてたずねた結果は、表 2-23 及び図 2-23 のとおりである（複数回答）。

□「高血圧」が 57.1%、「心肺機能の低下・異常」が 39.3%、「粘膜不全」が 32.1%となっている

□その他としては、「高脂血症」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者 27 人）

○第3・四半期において、内臓機能に関する症状についてたずねた結果は、表 2-23 及び図 2-23 のとおりである（複数回答）。

□「高血圧」が 48.1%、「心肺機能の低下・異常」が 44.4%、「粘膜不全」が 29.6%となっている

□その他としては、「貧血」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者 26 人）

○第4・四半期において、内臓機能に関する症状についてたずねた結果は、表 2-23 及び図 2-23 のとおりである（複数回答）。

□「高血圧」が 61.5%、「心肺機能の低下・異常」が 42.3%、「粘膜不全」が 30.8%、となっている

□その他としては、「甲状腺腫」などをあげている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-23 及び図 2-23 のとおりである（複数回答）。

□内臓機能に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「高血圧」が 53.2%、「心肺機能の低下・異常」が 41.4%、「粘膜不全」が 29.7%となっている

表 2-23 視力以外の状況【内臓機能に関する症状】の推移

	高血圧	粘膜不全	心肺機能の低下・異常	肝機能の低下・異常	腎機能の低下・異常	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	14	8	12	7	6	2	24	30
	46.7%	26.7%	40.0%	23.3%	20.0%	6.7%	—	100.0%
第2・四半期	16	9	11	7	3	2	25	28
	57.1%	32.1%	39.3%	25.0%	10.7%	7.1%	—	100.0%
第3・四半期	13	8	12	7	3	2	25	27
	48.1%	29.6%	44.4%	25.9%	11.1%	7.4%	—	100.0%
第4・四半期	16	8	11	6	3	2	27	26
	61.5%	30.8%	42.3%	23.1%	11.5%	7.7%	—	100.0%
年間単純平均	14.8	8.3	11.5	6.8	3.8	2.0	25.3	27.8
	53.2%	29.7%	41.4%	24.3%	13.5%	7.2%	—	100.0%
R5年度平均	16.0	8.0	9.3	5.0	3.3	4.3	25.5	26.8
	59.8%	29.9%	34.6%	18.7%	12.1%	15.9%	—	100.0%
R4年度平均	15.0	9.3	8.8	5.5	3.0	4.5	21.3	26.0
	57.7%	35.6%	33.7%	21.2%	11.5%	17.3%	—	100.0%
R3年度平均	15.0	8.3	7.3	6.3	3.3	3.3	21.8	24.5
	61.2%	33.7%	29.6%	25.5%	13.3%	13.3%	—	100.0%
R2年度平均	16.5	12.3	9.3	5.0	4.8	2.8	20.0	27.5
	60.0%	44.5%	33.6%	18.2%	17.3%	10.0%	—	100.0%
R1年度平均	17.5	10.8	10.5	5.5	5.3	4.5	20.8	27.3
	64.2%	39.4%	38.5%	20.2%	19.3%	16.5%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

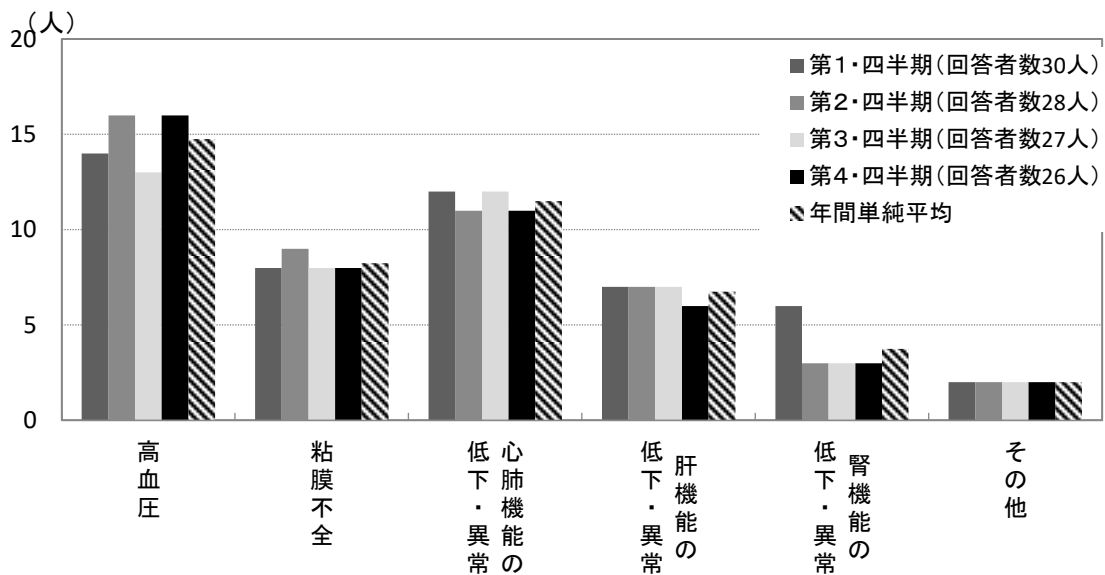


図 2-23 視力以外の状況【内臓機能に関する症状】の推移

## ⑤-7 視力以外の状況【聴覚に関する症状】

### ア 第1・四半期（回答者 17人）

○第1・四半期において、聴覚に関する症状についてたずねた結果は、表2-24及び図2-24のとおりである（複数回答）。

- 「音声が聞き取りにくい」が82.4%となっている
- その他としては、「耳鳴り」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者 17人）

○第2・四半期において、聴覚に関する症状についてたずねた結果は、表2-24及び図2-24のとおりである（複数回答）。

- 「音声が聞き取りにくい」が88.2%となっている
- その他としては、「右鼓膜炎と両外耳炎」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者 16人）

○第3・四半期において、聴覚に関する症状についてたずねた結果は、表2-24及び図2-24のとおりである（複数回答）。

- 「音声が聞き取りにくい」が81.3%となっている
- その他としては、「聞き間違いが多い」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者 16人）

○第4・四半期において、聴覚に関する症状についてたずねた結果は、表2-24及び図2-24のとおりである（複数回答）。

- 「音声が聞き取りにくい」が87.5%となっている
- その他としては、「耳鳴り」などをあげている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-24及び図2-24のとおりである（複数回答）。

- 聴覚に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「音声が聞き取りにくい」が84.8%となっている

表 2-24 視力以外の状況【聴覚に関する症状】の推移

	音声が聞き取りにくい	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	14	3	37	17
	82.4%	17.6%	—	100.0%
第2・四半期	15	2	36	17
	88.2%	11.8%	—	100.0%
第3・四半期	13	3	37	16
	81.3%	18.8%	—	100.0%
第4・四半期	14	2	37	16
	87.5%	12.5%	—	100.0%
年間単純平均	14.0	2.5	36.8	16.5
	84.8%	15.2%	—	100.0%
R5年度平均	16.5	4.5	32.3	20.0
	82.5%	22.5%	—	100.0%
R4年度平均	15.3	4.0	28.5	18.8
	81.3%	21.3%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

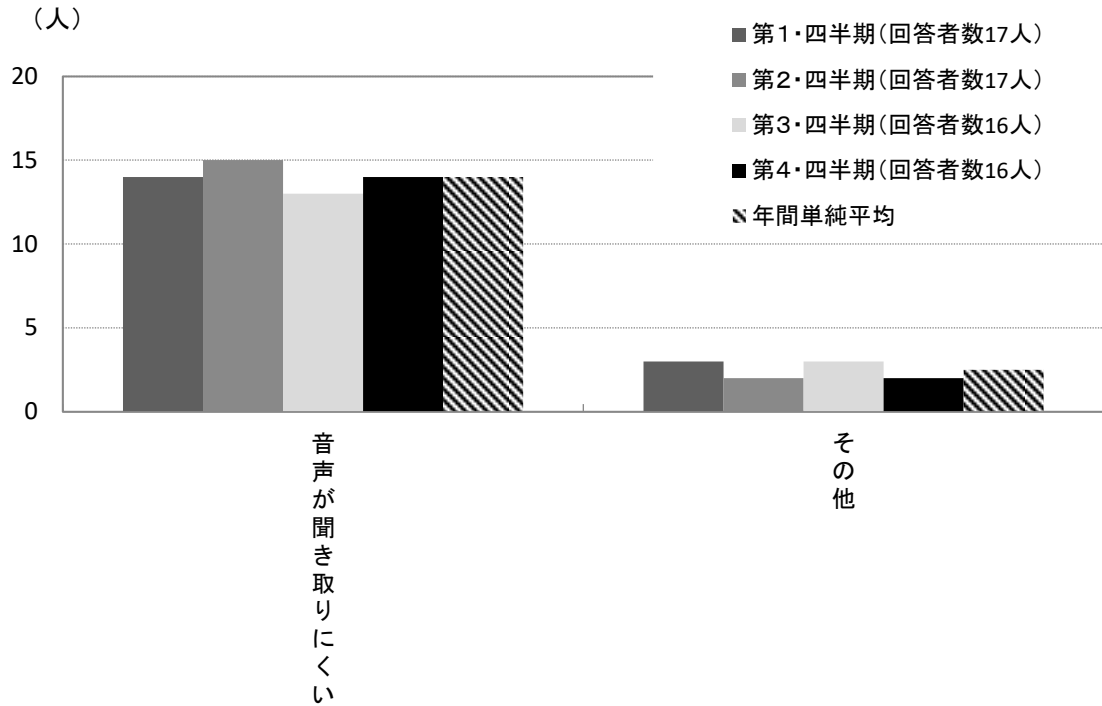


図 2-24 視力以外の状況【聴覚に関する症状】の推移

## ⑤-7 視力以外の状況【眼科領域（視力障害以外）に関する症状】

### ア 第1・四半期（回答者48人）

○第1・四半期において、眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果は、表2-25及び図2-25のとおりである（複数回答）。

- 「ドライアイ」が95.8%、「さかさまつげ」が91.7%、「角膜の炎症」が70.8%となっている
- その他としては、「眼瞼下垂・癒着」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者49人）

○第2・四半期において、眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果は、表2-25及び図2-25のとおりである（複数回答）。

- 「ドライアイ」が98.0%、「さかさまつげ」が89.8%、「角膜の炎症」が65.3%となっている
- その他としては、「MRSA感染」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者48人）

○第3・四半期において、眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果は、表2-25及び図2-25のとおりである（複数回答）。

- 「さかさまつげ」が93.8%、「ドライアイ」が91.7%、「角膜の炎症」が66.7%となっている
- その他としては、「結膜の炎症、角膜混濁の悪化」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者48人）

○第4・四半期において、眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果は、表2-25及び図2-25のとおりである（複数回答）。

- 「ドライアイ」が97.9%、「さかさまつげ」が93.8%、「角膜の炎症」が68.8%となっている
- その他としては、「両瞼の内反症・眼瞼下垂・眼圧上昇」などをあげている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-25及び図2-25のとおりである（複数回答）。

- 眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「ドライアイ」が95.9%、「さかさまつげ」が92.2%、「角膜の炎症」が67.9%となっている

表 2-25 視力以外の状況【眼科領域（視力障害以外）に関する症状】の推移

	さかさまつげ	ドライアイ	角膜の炎症	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	44	46	34	5	6	48
	91.7%	95.8%	70.8%	10.4%	—	100.0%
第2・四半期	44	48	32	8	4	49
	89.8%	98.0%	65.3%	16.3%	—	100.0%
第3・四半期	45	44	32	4	4	48
	93.8%	91.7%	66.7%	8.3%	—	100.0%
第4・四半期	45	47	33	5	5	48
	93.8%	97.9%	68.8%	10.4%	—	100.0%
年間単純平均	44.5	46.3	32.8	5.5	4.8	48.3
	92.2%	95.9%	67.9%	11.4%	—	100.0%
R5年度平均	42.8	45.8	28.5	9.3	5.5	46.8
	91.4%	97.9%	61.0%	19.8%	—	100.0%
R4年度平均	43.8	46.0	28.5	10.8	0.3	47.0
	93.1%	97.9%	60.6%	22.9%	—	100.0%
R3年度平均	42.3	43.5	31.0	8.0	0.8	45.5
	92.9%	95.6%	68.1%	17.6%	—	100.0%
R2年度平均	41.3	44.3	31.0	9.8	1.5	46.0
	89.7%	96.2%	67.4%	21.2%	—	100.0%
R1年度平均	41.5	45.8	30.8	10.0	0.5	47.5
	87.4%	96.3%	64.7%	21.1%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

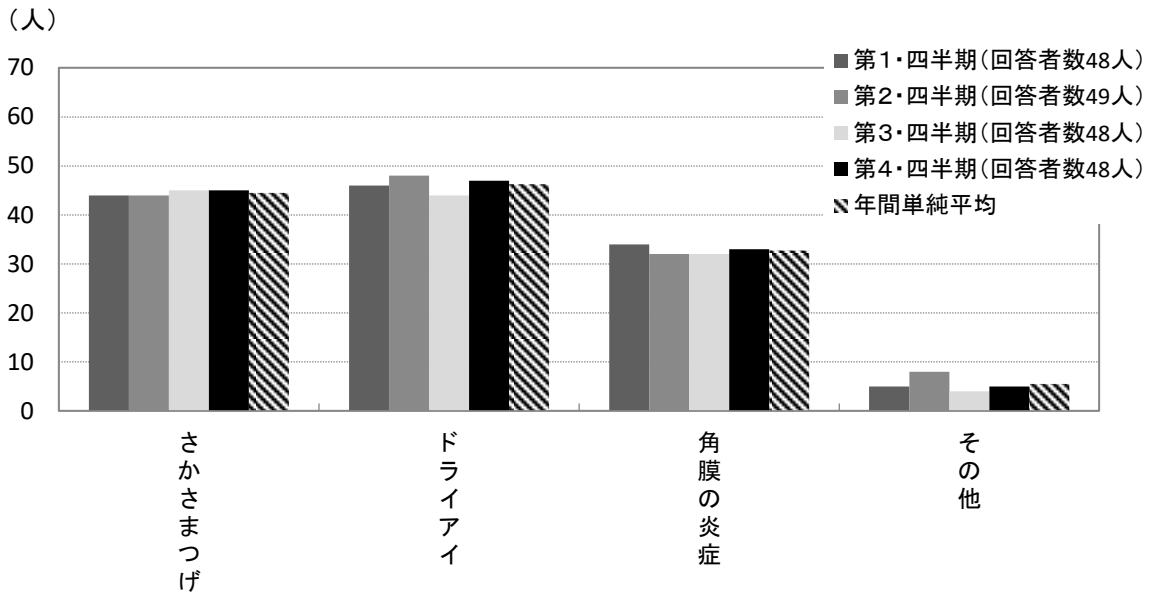


図 2-25 視力以外の状況【眼科領域（視力障害以外）に関する症状】の推移

## ⑤-7 視力以外の状況【口腔に関する症状】

### ア 第1・四半期（回答者 33人）

○第1・四半期において、口腔に関する症状についてたずねた結果は、表2-26及び図2-26のとおりである（複数回答）。

□「口の中が乾く」が78.8%、「口内炎」が54.5%、「味覚障害」が15.2%となっている

□その他としては、「口腔内一部狭窄（癒着） 歯肉が痩せて、知覚過敏がひどい」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者 37人）

○第2・四半期において、口腔に関する症状についてたずねた結果は、表2-26及び図2-26のとおりである（複数回答）。

□「口の中が乾く」が78.4%、「口内炎」が54.1%、「味覚障害」が16.2%となっている

□その他としては、「扁平苔癬」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者 35人）

○第3・四半期において、口腔に関する症状についてたずねた結果は、表2-26及び図2-26のとおりである（複数回答）。

□「口の中が乾く」が88.6%、「口内炎」が42.9%、「味覚障害」が14.3%となっている

□その他としては、「歯周病・上歯のブリッジ」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者 34人）

○第4・四半期において、口腔に関する症状についてたずねた結果は、表2-26及び図2-26のとおりである（複数回答）。

□「口の中が乾く」が85.3%、「口内炎」が52.9%、「味覚障害」が11.8%となっている

□その他としては、「舌のただれ」などをあげている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-26及び図2-26のとおりである（複数回答）。

□口腔に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「口の中が乾く」が82.7%、「口内炎」が51.1%、「味覚障害」が14.4%となっている

表2-26 視力以外の状況【口腔に関する症状】の推移

	口内炎	味覚障害	口の中が乾く	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	18	5	26	4	21	33
	54.5%	15.2%	78.8%	12.1%	—	100.0%
第2・四半期	20	6	29	4	16	37
	54.1%	16.2%	78.4%	10.8%	—	100.0%
第3・四半期	15	5	31	4	17	35
	42.9%	14.3%	88.6%	11.4%	—	100.0%
第4・四半期	18	4	29	4	19	34
	52.9%	11.8%	85.3%	11.8%	—	100.0%
年間単純平均	17.8	5.0	28.8	4.0	18.3	34.8
	51.1%	14.4%	82.7%	11.5%	—	100.0%
R5年度平均	13.5	5.3	27.3	4.8	21.5	30.8
	43.9%	17.1%	88.6%	15.4%	—	100.0%
R4年度平均	16.0	6.5	27.8	6.0	14.8	32.5
	49.2%	20.0%	85.4%	18.5%	—	100.0%
R3年度平均	16.8	6.3	27.0	6.3	13.8	32.5
	51.5%	19.2%	83.1%	19.2%	—	100.0%
R2年度平均	13.8	5.5	29.0	5.8	14.0	33.5
	41.0%	16.4%	76.6%	17.2%	—	100.0%
R1年度平均	15.8	6.3	29.8	6.8	11.5	35.5
	44.4%	17.6%	83.8%	19.0%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

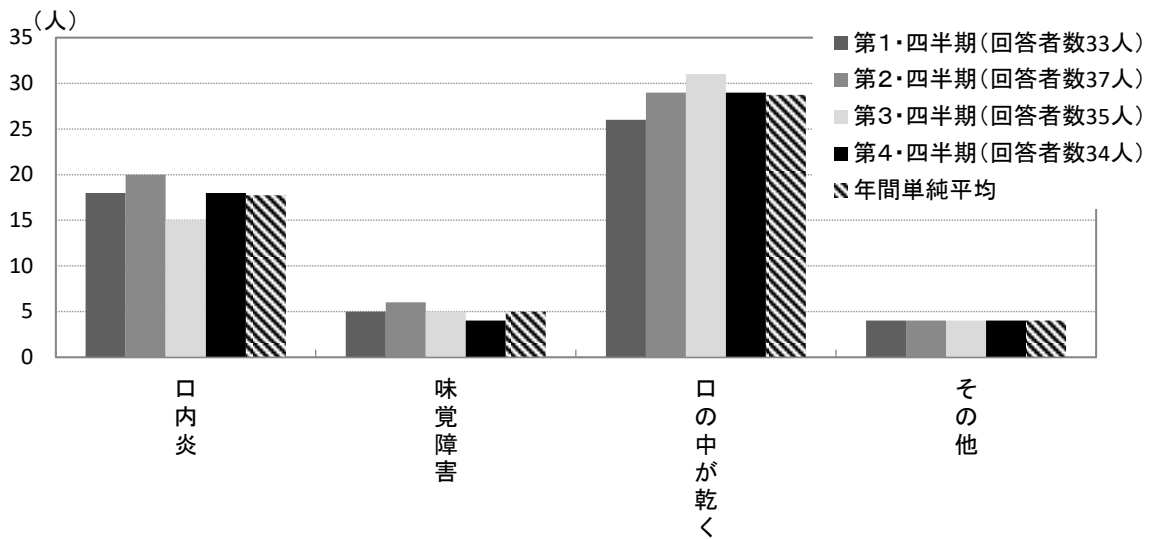


図 2-26 視力以外の状況【口腔に関する症状】の推移

## ⑤-7 視力以外の状況【精神的な症状】

### ア 第1・四半期（回答者 26 人）

- 第1・四半期において、精神的な症状についてたずねた結果は、表 2-27 及び図 2-27 のとおりである（複数回答）。
- 「睡眠障害」が 69.2%、「不安障害」が 57.7%、「うつ」が 26.9%となっている
- その他としては、「過去の PTSD」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者 23 人）

- 第2・四半期において、精神的な症状についてたずねた結果は、表 2-27 及び図 2-27 のとおりである（複数回答）。
- 「睡眠障害」が 78.3%、「不安障害」が 60.9%、「うつ」が 26.1%となっている
- その他としては、「強迫性障害（軽度）、過換気（パニック障害）（軽度）、過敏性腸症候群」などをあげている

### ウ 第3・四半期（回答者 24 人）

- 第3・四半期において、精神的な症状についてたずねた結果は、表 2-27 及び図 2-27 のとおりである（複数回答）。
- 「睡眠障害」が 75.0%、「不安障害」が 62.5%、「うつ」が 25.0%となっている
- その他としては、「過去のトラウマ症状・PTSD」などをあげている

### エ 第4・四半期（回答者 26 人）

- 第4・四半期において、精神的な症状についてたずねた結果は、表 2-27 及び図 2-27 のとおりである（複数回答）。
- 「睡眠障害」が 80.8%、「不安障害」が 61.5%、「うつ」が 26.9%となっている
- その他としては、「悪い病気になるのではないかと常に心配しています」などをあげている

### オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-27 及び図 2-27 のとおりである（複数回答）。
- 精神的な症状についてたずねた結果の年間の平均では「睡眠障害」が 75.8%、「不安障害」が 60.6%、「うつ」が 26.3%となっている

表 2-27 視力以外の状況【精神的な症状】の推移

	不安障害	睡眠障害	うつ	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	15	18	7	4	28	26
	57.7%	69.2%	26.9%	15.4%	—	100.0%
第2・四半期	14	18	6	3	30	23
	60.9%	78.3%	26.1%	13.0%	—	100.0%
第3・四半期	15	18	6	3	28	24
	62.5%	75.0%	25.0%	12.5%	—	100.0%
第4・四半期	16	21	7	2	27	26
	61.5%	80.8%	26.9%	7.7%	—	100.0%
年間単純平均	15.0	18.8	6.5	3.0	28.3	24.8
	60.6%	75.8%	26.3%	12.1%	—	100.0%
R5年度平均	15.0	18.8	6.0	3.0	28.0	24.3
	61.9%	77.3%	24.7%	12.4%	—	100.0%
R4年度平均	14.0	18.3	6.8	2.8	23.8	23.5
	59.6%	77.7%	28.7%	11.7%	—	100.0%
R3年度平均	15.0	17.0	6.0	2.3	23.0	23.3
	64.5%	73.1%	25.8%	9.7%	—	100.0%
R2年度平均	15.5	17.8	6.8	1.8	24.5	23.0
	67.4%	77.2%	29.3%	7.6%	—	100.0%
R1年度平均	15.3	18.0	6.5	2.5	23.0	25.0
	61.0%	72.0%	26.0%	10.0%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

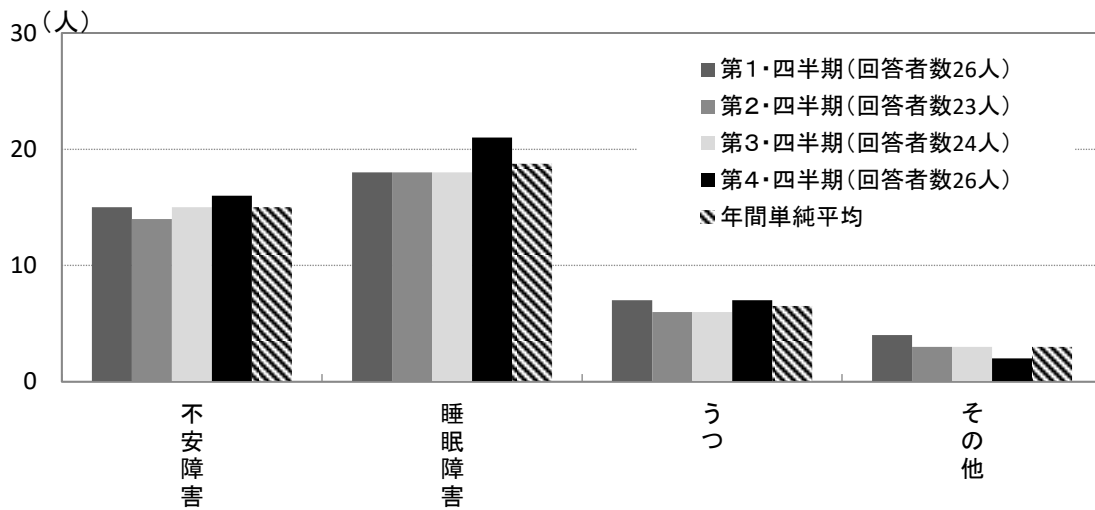


図 2-27 視力以外の状況【精神的な症状】の推移

## ⑤-7 視力以外の状況（その他の後遺症等）について

○本人または介護者にたずねた視力以外の状況などについて主な内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・皮フのかゆみ（アレルギー）
- ・爪がないため指先に力が入らない。食道が細くなったので、食べ物を飲み込むのにつまる時がある（むせる事もある）
- ・血糖値を下げる薬を飲むようになった。
- ・ひざに水が溜まり、痛みがなかなか治らない
- ・見えない為、手で確認しながら移動する為、バネ指（両手指）となり痛みがある。
- ・鼻の粘膜が弱い（鼻炎）
- ・腰痛・座骨神経痛（整形外科でのリハビリ治療中）
- ・だ液が出ないので物を食べる時にならず水分が必要。
- ・ゆ着がひどくて眼が開いてない。さかまつげがひどく眼科に通院する事がたいへんです。何十長かけても薬害のうごきがあり、明るさもわからなくなっている。うごく事が大変で手さぐり状態になっている。
- ・てんかん、片頭痛、不整脈
- ・頻尿
- ・圧迫骨折
- ・顔にかゆみをとともう発赤が4年以上続いており治療しても良くなっても再発し同じ症状がくりかえす、原因をつきとめてもらえない。
- ・緑内障、感染症
- ・角膜穿孔

■ 主たる介護者の状況について

◎主たる介護者の家族構成

表 2-28① 主たる介護者の家族構成

	親のみ	配偶者のみ	配偶者、子	親、兄弟姉妹	その他
第1・四半期	0	12	3	0	7
第2・四半期	0	11	4	0	6
第3・四半期	0	12	3	0	6
第4・四半期	0	12	3	0	5

◎主たる介護者

□年間平均では、「主として介護をしている配偶者」が 56.0%、「主として介護をしている親」が 20.7%となっている。

表 2-28② 主たる介護者の推移

	主として介護 をしている配 偶者	主として介護 をしている親	主として介護 をしている兄 弟姉妹	その他	回答なし	合計
第1・四半期	22	8	1	5	18	36
	61.1%	22.2%	2.8%	13.9%	—	100.0%
第2・四半期	21	8	1	8	15	38
	55.3%	21.1%	2.6%	21.1%	—	100.0%
第3・四半期	21	7	1	8	15	37
	56.8%	18.9%	2.7%	21.6%	—	100.0%
第4・四半期	20	8	1	10	14	39
	51.3%	20.5%	2.6%	25.6%	—	100.0%
年間単純平均	21.0	7.8	1.0	7.8	15.5	37.5
	56.0%	20.7%	2.7%	20.7%	—	100.0%
R5年度平均	19.3	8.5	2.3	9.3	13.0	39.3
	49.0%	21.7%	5.7%	23.6%	—	100.0%
R4年度平均	19.8	7.8	3.0	10.0	12.3	40.5
	48.8%	19.1%	7.4%	24.7%	—	100.0%
R3年度平均	19.8	10.5	0.5	8.5	13.3	39.3
	50.3%	26.8%	1.3%	21.7%	—	100.0%
R2年度平均	20.0	12.0	1.0	8.8	11.8	41.8
	47.9%	28.7%	2.4%	21.0%	—	100.0%
R1年度平均	20.3	12.0	1.5	8.8	12.3	42.5
	47.6%	28.2%	3.5%	20.6%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

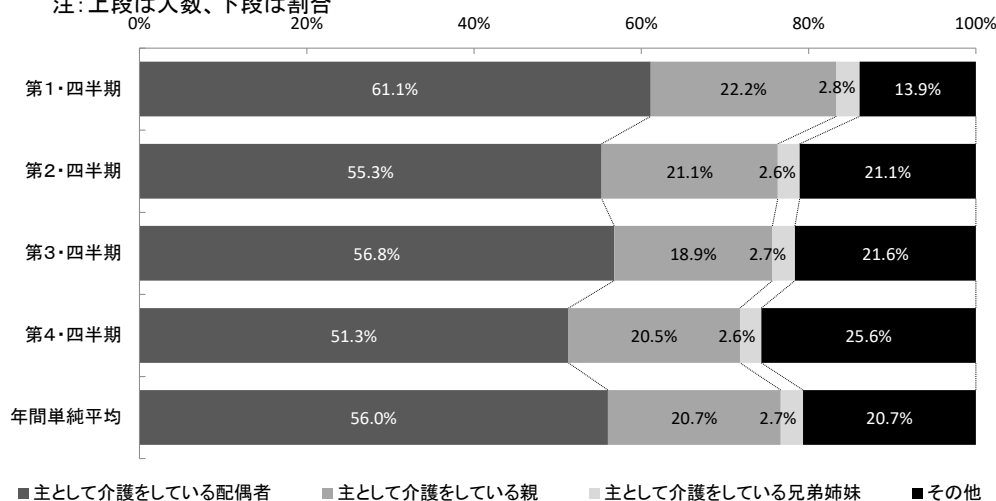


図 2-28 主たる介護者の推移 (四半期)

## ⑥ 主たる介護者の健康状態

### ア 第1・四半期（回答者 37人）

○第1・四半期において、主な介護者の健康状態をたずねた結果は、表2-29及び図2-29のとおりである。

- 健康状態が「たいへん良好」が5.4%、「まあ良好」が59.5%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」が16.2%、「やや悪い」が18.9%である

### イ 第2・四半期（回答者 37人）

○第2・四半期において、主な介護者の健康状態をたずねた結果は、表2-29及び図2-29のとおりである。

- 健康状態が「たいへん良好」が2.7%、「まあ良好」が59.5%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」が16.2%、「やや悪い」が21.6%である

### ウ 第3・四半期（回答者 36人）

○第3・四半期において、主な介護者の健康状態をたずねた結果は、表2-29及び図2-29のとおりである。

- 健康状態が「たいへん良好」が8.3%、「まあ良好」が52.8%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」、「やや悪い」がそれぞれ19.4%である

### エ 第4・四半期（回答者 35人）

○第4・四半期において、主な介護者の健康状態をたずねた結果は、表2-29及び図2-29のとおりである。

- 健康状態が「たいへん良好」が2.9%、「まあ良好」が54.3%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」が25.7%、「やや悪い」が17.1%である

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-29及び図2-29のとおりである。

- 主な介護者の健康状態については年間の平均では「たいへん良好」が4.8%、「まあ良好」が56.6%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」、「やや悪い」がそれぞれ19.3%である

表 2-29 主たる介護者の健康状態の推移

	たいへん良好	まあ良好	やや悪い	たいへん悪い	回答なし	合計
第1・四半期	2 5.4%	22 59.5%	7 18.9%	6 16.2%	17 —	37 100.0%
第2・四半期	1 2.7%	22 59.5%	8 21.6%	6 16.2%	16 —	37 100.0%
第3・四半期	3 8.3%	19 52.8%	7 19.4%	7 19.4%	16 —	36 100.0%
第4・四半期	1 2.9%	19 54.3%	6 17.1%	9 25.7%	18 —	35 100.0%
年間単純平均	1.8 4.8%	20.5 56.6%	7.0 19.3%	7.0 19.3%	16.8 —	36.3 100.0%
R5年度平均	3.5 9.5%	18.5 50.0%	8.8 23.6%	6.3 16.9%	15.3 —	37.0 100.0%
R4年度平均	3.8 10.2%	19.5 53.1%	7.8 21.1%	5.8 15.6%	16.0 —	36.8 100.0%
R3年度平均	4.0 10.5%	19.0 49.7%	7.3 19.0%	8.0 20.9%	14.3 —	38.3 100.0%
R2年度平均	4.3 10.5%	20.5 50.6%	8.3 20.4%	7.5 18.5%	13.0 —	40.5 100.0%
R1年度平均	3.5 8.3%	21.5 51.2%	9.8 23.2%	7.3 17.3%	12.5 —	42.0 100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

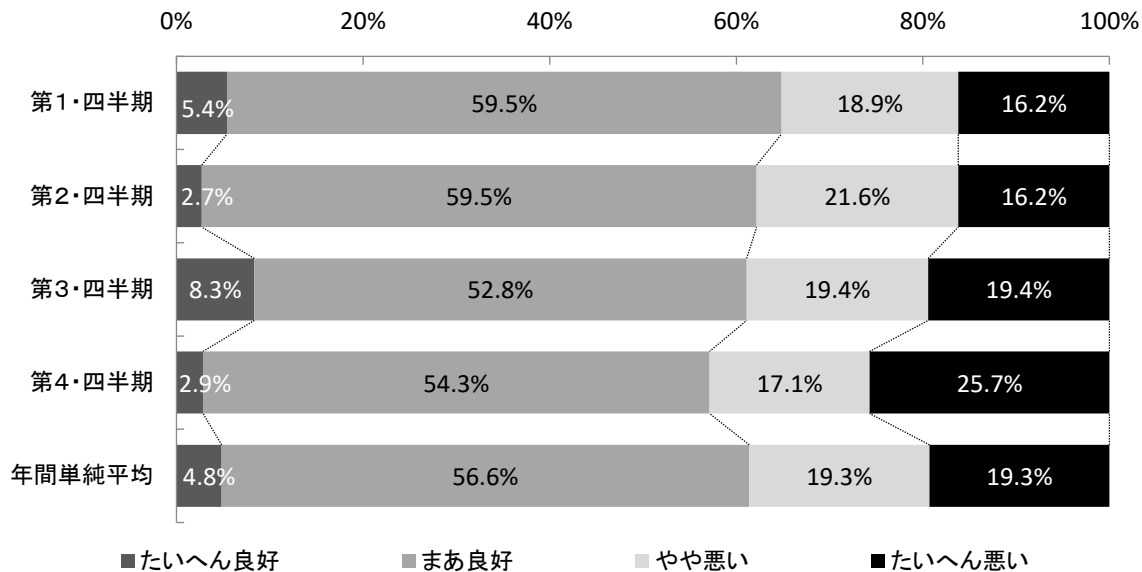


図 2-29 主たる介護者の健康状態の推移

## ⑥-1 主たる介護者の健康状態 詳細

○主たる介護者の健康状態についての主な具体的理由については、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

### ◇たいへん良好

- ・問題がないから
- ・協力者、理解者がいるから

### ◇まあ良好

- ・スポーツをしている。
- ・皆に助けをもらうから
- ・健康のためよく食べることです
- ・持病はありますが、今のところ大きな病ではないので。
- ・体調管理に気をつけている
- ・ヘルパーさんに食事介助・入浴などたのめるところはたのんでいる
- ・高齢の為の機能劣化はあるが実生活の大きな障害はないので。
- ・日々充実しているから
- ・仕事のストレスはありますが、その他は健康です。
- ・通院、服薬をしているが、体調が急変しなかったため。
- ・8月にコロナにかかり、その後調子が悪い日が続き、通院（耳鼻科と内科）しました。また暑さが続いて体にはきびしかったです。

### ◇やや悪い

- ・インフルエンザにかかった。
- ・自分の事でたいへんで頼まれた事ができない事がある
- ・寒さが続き昔痛めた腰が悪くなり、コルセットを装着して生活しています。
- ・4月に手術を受けた後、体調が不安定
- ・全盲なので生活上全てに声かけが必要なため ストレスによる体調不良。
- ・自身も障害がある
- ・仕事、子育て、家事、介護 すべてこなす日々の為
- ・心身の疲労困憊

### ◇たいへん悪い

- ・入院して手術をした。その後、安静期間が必要だった
- ・仕事上のイライラに加え、介助があるとつかれる
- ・足の調子が悪く、夕方になると、体調がすぐれない
- ・腎臓に病気がみつき、本人（配偶者）自身が大変なので
- ・元からの病気と、自家に行く時間が長くなった為
- ・常に介護が必要なため
- ・介護者自身の障害の悪化
- ・視覚障害の悪化



## ⑦ 介護をしていく中で困ったことの有無

### ア 第1・四半期（回答者 38 人）

- 第1・四半期において、介護をしていく中で困ったことがあったかについてたずねた結果は、表 2-30 及び図 2-30 のとおりである。
- 困ったことが「増えた」と回答した人は 28.9%、「減った」と回答した人は 2.6%、「変わらない」と回答した人は 52.6%であった
- 一方で 15.8%の人は、困ったことは「ない」と回答している

### イ 第2・四半期（回答者 37 人）

- 第2・四半期において、介護をしていく中で困ったことがあったかについてたずねた結果は、表 2-30 及び図 2-30 のとおりである。
- 困ったことが「増えた」と回答した人は 32.4%、「減った」と回答した人は 0.0%、「変わらない」と回答した人は 54.1%であった
- 一方で 13.5%の人は、困ったことは「ない」と回答している

### ウ 第3・四半期（回答者 37 人）

- 第3・四半期において、介護をしていく中で困ったことがあったかについてたずねた結果は、表 2-30 及び図 2-30 のとおりである。
- 困ったことが「増えた」と回答した人は 29.7%、「減った」と回答した人は 2.7%、「変わらない」と回答した人は 54.1%であった
- 一方で 13.5%の人は、困ったことは「ない」と回答している

### エ 第4・四半期（回答者 36 人）

- 第4・四半期において、介護をしていく中で困ったことがあったかについてたずねた結果は、表 2-30 及び図 2-30 のとおりである。
- 困ったことが「増えた」と回答した人は 30.6%、「減った」と回答した人は 2.8%、「変わらない」と回答した人は 55.6%であった
- 一方で 11.1%の人は、困ったことは「ない」と回答している

### オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-30 及び図 2-30 のとおりである。
- 困ったことが「増えた」と回答した人は 30.4%、「減った」と回答した人は 2.0%、「変わらない」と回答した人は 54.1%である
- また、困ったことは「ない」と回答した人は 13.5%である

表 2-30 介護をしていく中で困ったことの有無の推移

	困ったことが 増えた	困ったことが 減った	困ったことが 変わらない	困ったことは ない	回答なし	合計
第1・四半期	11	1	20	6	16	38
	28.9%	2.6%	52.6%	15.8%	—	100.0%
第2・四半期	12	0	20	5	16	37
	32.4%	0.0%	54.1%	13.5%	—	100.0%
第3・四半期	11	1	20	5	15	37
	29.7%	2.7%	54.1%	13.5%	—	100.0%
第4・四半期	11	1	20	4	17	36
	30.6%	2.8%	55.6%	11.1%	—	100.0%
年間単純平均	11.3	0.8	20.0	5.0	16.0	37.0
	30.4%	2.0%	54.1%	13.5%	—	100.0%
R5年度平均	11.3	1.3	19.3	4.8	15.8	36.5
	30.8%	3.4%	52.7%	13.0%	—	100.0%
R4年度平均	11.5	1.0	19.3	5.5	15.5	37.3
	30.9%	2.7%	51.7%	14.8%	—	100.0%
R3年度平均	12.0	1.3	21.3	3.8	14.3	38.3
	31.4%	3.3%	55.6%	9.8%	—	100.0%
R2年度平均	14.5	2.3	17.3	4.8	14.8	38.8
	37.4%	5.8%	44.5%	12.3%	—	100.0%
R1年度平均	14.0	2.8	19.3	4.0	14.8	40.0
	35.0%	6.9%	48.1%	10.0%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

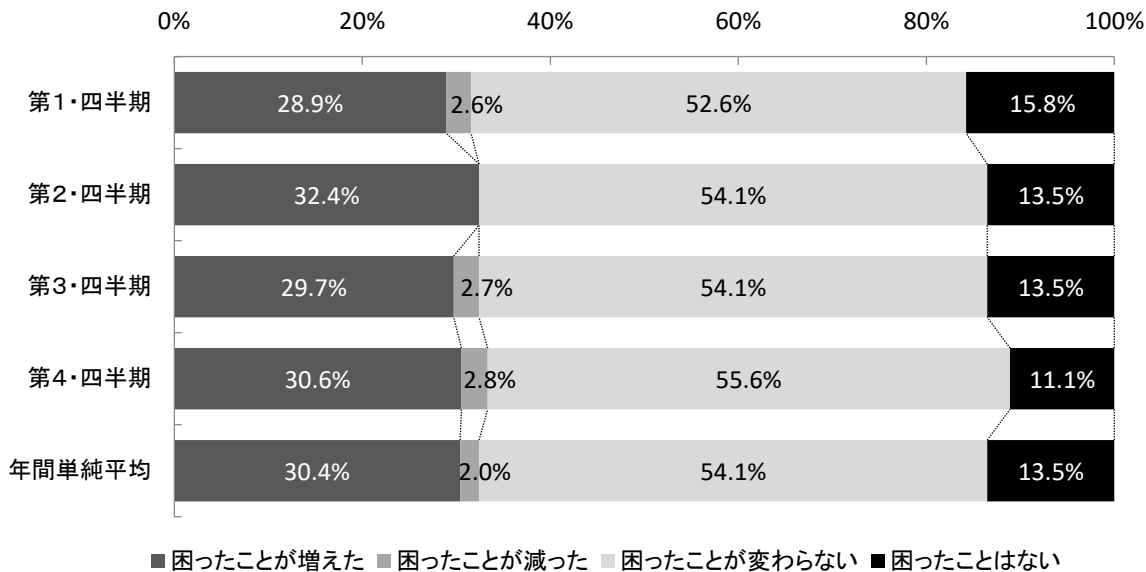


図 2-30 介護をしていく中で困ったことの有無の推移

## ⑦-1 介護をしていく中で困ったこと

○「介護をしていく中で困ったことがある」と回答した方の具体的な内容は以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・お互い年をとり、今までできていた事ができなかつたり、できにくくなるため
- ・一人でくらししているため、犯罪などの心配が大きくなりました。視力の感覚も悪くなってきたように見える。高齢のため火の心配も大きい。
- ・視力の低下
- ・入院中、介助をたのめる人がいなかった。サービスも断わられた
- ・少し依存されるようになった。
- ・目がはなせず 1人にしておくのが不安
- ・自分の時間がもてない事
- ・歳を重ねる毎に、自分自身の事も大変になるので、今後は心配
- ・物の置場が決まった所に戻せない。リモコンが使いづらくなった
- ・急な用事の際、すぐ代わりの介護者が見つからなかった
- ・日常生活すべてに介助が必要になった。
- ・配偶者の状態が良くない。
- ・自身の障害の悪化により出来る事が減り、経済的にも物価高騰等とても不安である 余裕が体力、精神的にもない
- ・全盲になりサポートする事が増えた。
- ・急な病院の同行に連れていく人がいないことがある。
- ・薬を飲む事にこわがっていた、がその先の事を考えて飲む事を決断した。
- ・体重がなかなかへらない
- ・風邪をひいて2人とも発熱した時。
- ・1人暮らしのため、急変があった時。
- ・家の中が片付かない
- ・人ごみでの誘導、段差の確認、伝達。

## ⑦-2 困ったことがあった場合、誰かに相談したか

### ア 第1・四半期（回答者 21 人）

○介護をしていく中で困ったことがあったと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、誰かに相談したかについてたずねた結果は、表2-31及び図2-31のとおりである（複数回答）。

- 「配偶者」、「子ども」がそれぞれ28.6%、「友人・知人」が23.8%、「兄弟姉妹」が14.3%となっている
- 「相談する人はいない」は14.3%となっている

### イ 第2・四半期（回答者 21 人）

○第2・四半期において、誰かに相談したかについてたずねた結果は、表2-31及び図2-31のとおりである（複数回答）。

- 「子ども」が28.6%、「親」、「配偶者」がそれぞれ19.0%、「友人・知人」が14.3%となっている
- 「相談する人はいない」は23.8%となっている

### ウ 第3・四半期（回答者 21 人）

○第3・四半期において、誰かに相談したかについてたずねた結果は、表2-31及び図2-31のとおりである（複数回答）。

- 「子ども」が38.1%、「親」、「配偶者」がそれぞれ23.8%、「医師」が14.3%となっている
- 「相談する人はいない」は9.5%となっている

### エ 第4・四半期（回答者 21 人）

○第4・四半期において、誰かに相談したかについてたずねた結果は、表2-31及び図2-31のとおりである（複数回答）。

- 「子ども」が38.1%、「配偶者」が23.8%、「親」が14.3%となっている
- 「相談する人はいない」は19.0%となっている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-31及び図2-31のとおりである（複数回答）。

- 「子ども」が33.3%、「配偶者」が23.8%、「親」が16.7%となっている
- 「相談する人はいない」は16.7%となっている

表 2-31 困ったときの相談の有無の推移

	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	友人・知人	会社の上司・同僚	学校の先生	医師	看護師・保健師	公的機関の職員等	PMDAの保健福祉相談窓口	障害者の団体	障害者相談支援センター	地域包括支援センター	その他	相談する人はいない	回答なし	回答者数
第1・四半期	2	6	6	3	0	5	2	0	1	1	1	1	2	1	0	4	3	33	21
	9.5%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	23.8%	9.5%	0.0%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	9.5%	4.8%	0.0%	19.0%	14.3%	—	100.0%
第2・四半期	4	4	6	2	0	3	1	0	0	2	2	0	1	2	1	2	5	32	21
	19.0%	19.0%	28.6%	9.5%	0.0%	14.3%	4.8%	0.0%	0.0%	9.5%	9.5%	0.0%	4.8%	9.5%	4.8%	9.5%	23.8%	—	100.0%
第3・四半期	5	5	8	2	0	2	1	0	3	0	1	0	1	1	1	2	2	31	21
	23.8%	23.8%	38.1%	9.5%	0.0%	9.5%	4.8%	0.0%	14.3%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%	4.8%	9.5%	9.5%	—	100.0%
第4・四半期	3	5	8	2	0	2	0	0	2	1	1	0	1	2	0	3	4	32	21
	14.3%	23.8%	38.1%	9.5%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	9.5%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	9.5%	0.0%	14.3%	19.0%	—	100.0%
年間単純平均	3.5	5.0	7.0	2.3	0.0	3.0	1.0	0.0	1.5	1.0	1.3	0.3	1.3	1.5	0.5	2.8	3.5	32.0	21.0
	16.7%	23.8%	33.3%	10.7%	0.0%	14.3%	4.8%	0.0%	7.1%	4.8%	6.0%	1.2%	6.0%	7.1%	2.4%	13.1%	16.7%	—	100.0%
R5年度平均	2.5	5.0	5.0	3.3	0.0	3.5	1.5	0.0	0.8	1.0	1.5	0.0	1.0	1.3	1.0	1.8	3.8	10.8	21.0
	11.9%	23.8%	23.8%	15.5%	0.0%	16.7%	7.1%	0.0%	3.8%	4.8%	7.1%	0.0%	4.8%	6.0%	4.8%	8.3%	17.9%	—	100.0%
R4年度平均	2.3	5.8	5.8	1.8	0.5	2.8	1.0	0.0	1.3	0.5	1.5	0.0	0.8	0.0	0.8	1.5	3.3	11.8	20.0
	11.3%	28.8%	28.8%	8.8%	2.5%	13.8%	5.0%	0.0%	6.3%	2.5%	7.5%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	7.5%	16.3%	—	100.0%
R3年度平均	2.3	7.0	7.0	2.5	0.3	3.5	1.0	0.0	1.8	0.5	1.5	0.0	1.0	1.3	0.8	2.5	4.0	14.3	17.5
	12.0%	40.0%	40.0%	14.3%	1.4%	20.0%	5.7%	0.0%	10.0%	2.9%	8.6%	0.0%	5.7%	7.1%	4.3%	14.3%	22.9%	—	100.0%
R2年度平均	1.0	5.5	4.3	2.5	0.5	3.5	0.8	0.0	1.8	0.8	1.5	0.3	0.8	1.0	0.3	2.3	4.8	14.8	20.0
	5.0%	27.5%	21.3%	12.5%	2.5%	17.5%	3.8%	0.0%	8.8%	3.8%	7.5%	1.3%	3.8%	5.0%	1.3%	11.3%	23.8%	—	100.0%
R1年度平均	1.5	5.0	4.5	1.3	0.5	2.3	0.5	0.0	3.3	2.8	3.0	0.5	1.3	0.8	1.0	1.3	5.3	11.8	25.5
	5.9%	19.6%	17.6%	4.9%	2.0%	8.8%	2.0%	0.0%	12.7%	10.8%	11.8%	2.0%	4.9%	2.9%	3.9%	4.9%	20.6%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

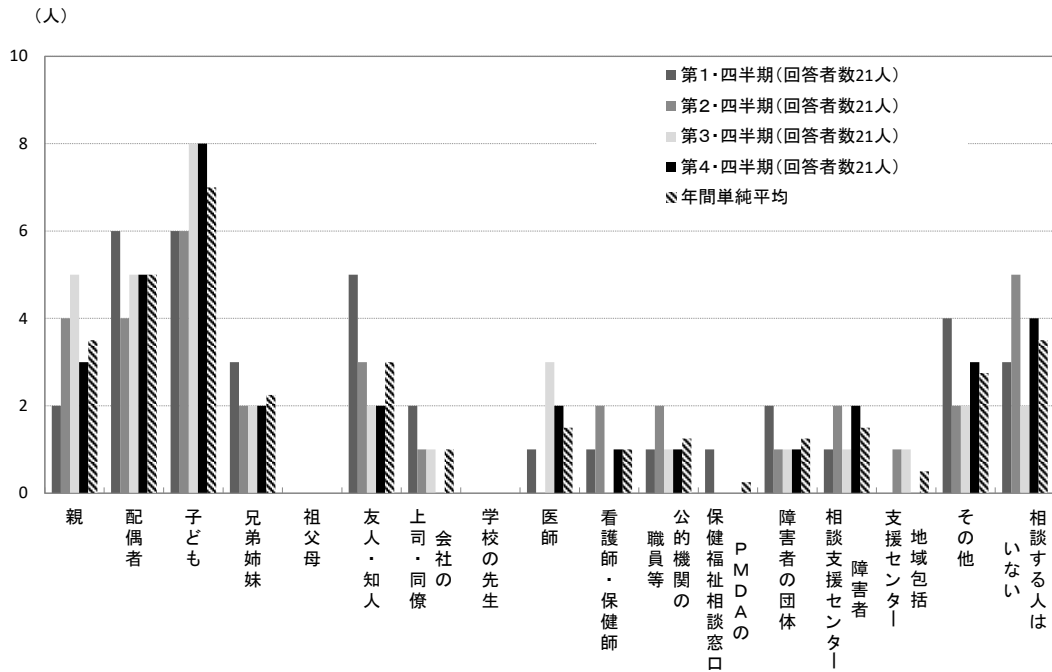


図 2-31 困ったときの相談の有無の推移（四半期）

### ⑦-3 解決策の有無

#### ア 第1・四半期（回答者17人）

○介護をしていく中で困ったことがあったと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、解決策の有無をたずねた結果は、表2-32及び図2-32のとおりである。

□「解決した」と回答した人は29.4%、「解決していない」と回答した人は70.6%であった

#### イ 第2・四半期（回答者16人）

○第2・四半期において、解決策の有無をたずねた結果は、表2-32及び図2-32のとおりである。

□「解決した」と回答した人は25.0%、「解決していない」と回答した人は75.0%であった

#### ウ 第3・四半期（回答者21人）

○第3・四半期において、解決策の有無をたずねた結果は、表2-32及び図2-32のとおりである。

□「解決した」と回答した人は52.4%、「解決していない」と回答した人は47.6%であった

#### エ 第4・四半期（回答者22人）

○第4・四半期において、解決策の有無をたずねた結果は、表2-32及び図2-32のとおりである。

□「解決した」と回答した人は40.9%、「解決していない」と回答した人は59.1%であった

#### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-32及び図2-32のとおりである。

□「解決した」と回答した人は38.2%、「解決していない」と回答した人は61.8%であった

表 2-32 解決策の有無の推移

	解決した	解決していない	回答なし	回答者数
第1・四半期	5	12	37	17
	29.4%	70.6%	—	100.0%
第2・四半期	4	12	37	16
	25.0%	75.0%	—	100.0%
第3・四半期	11	10	31	21
	52.4%	47.6%	—	100.0%
第4・四半期	9	13	31	22
	40.9%	59.1%	—	100.0%
年間単純平均	7.3	11.8	34.0	19.0
	38.2%	61.8%	—	100.0%
R5年度平均	4.8	12.8	14.3	17.5
	27.1%	72.9%	—	100.0%
R4年度平均	5.5	12.5	13.8	18.0
	30.6%	69.4%	—	100.0%
R3年度平均	6.5	12.8	15.3	19.3
	33.8%	66.2%	—	100.0%
R2年度平均	5.5	13.0	15.5	18.5
	29.7%	70.3%	—	100.0%
R1年度平均	6.5	13.5	16.0	20.0
	32.5%	67.5%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

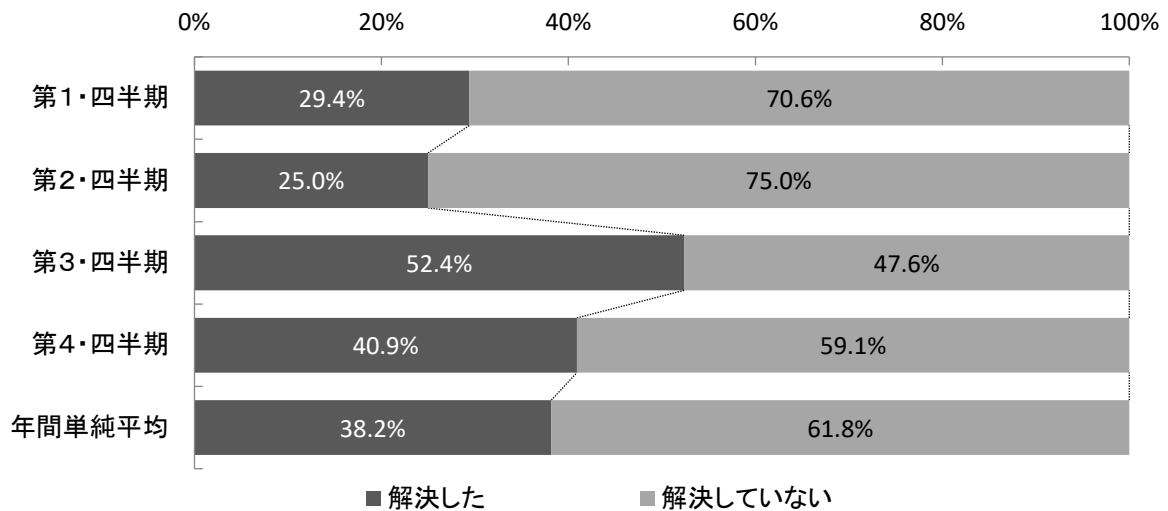


図 2-32 解決策の有無の推移

#### ⑦-4 困ったことの解決策

○主たる介護者の中で、介護をしていく中で困ったことが解決した方の、主な具体的解決策については、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

困ったこと	解決策
急な用事の際、すぐ代わりの介護者が見つからなかった	身内の者に頼んだり、公的な介護制度を利用した
目がはなせず 1人にしておくのが不安	公的な介護制度を利用
家事の負担 急用の際 介護者を見つけられないことがある	家事は子供たちと分担、同行援護の回数を増やした。
急な病院の同行に連れていく人がいないことがある。	身内で連れて行ける人を探した。
腰痛。	適当な運動、投薬で腰痛改善。
物の置場が決まった所に戻せない。リモコンが使いづらくなった	支援センターへ相談した
人ごみでの誘導、段差の確認、伝達。	身障者認定をうけた。

### ⑦-5 困ったことの解決方法

○主たる介護者の中で、困ったことが解決していない方の、解決すると思う具体的解決方法については、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

困ったこと	解決方法
介護する事ができなくなる時があり。がまんをしてもらう事がある	たのむ事ができる時はよかったです
入院中、介助をたのめる人がいなかった。サービスも断られた	再度支援サービスを申込み必要があるが、本人が介助者をアテにしすぎるようになっている為、難しい
治療費が高額	よくわかりません。
自分の時間がもてない事	短期入所など
少し依存されるようになった。	介助しやすいアイテムがほしい
身体の動きに改善が見られない。	体力を維持して、回復を待つ
妻の外出に同行するため、仕事の調整に困ることがある。	テレワークの回数を増やすとか
医療費が高い。	よくわかりません。
家の中が片付かない	お金を使って業者に依頼する
急な病院への送迎が難しい。	誰かを頼るしかない。
介護でいそがしい	子供と同居

## ⑧ 主たる介護者を支えるものの有無

### ア 第1・四半期（回答者30人）

○第1・四半期において、主たる介護者を支えるものがあるかについてたずねた結果は、表2-33及び図2-33のとおりである。

□「あった」と回答した人は56.7%、「なかった」と回答した人は43.3%であった

### イ 第2・四半期（回答者28人）

○第2・四半期において、主たる介護者を支えるものがあるかについてたずねた結果は、表2-33及び図2-33のとおりである。

□「あった」と回答した人は60.7%、「なかった」と回答した人は39.3%であった

### ウ 第3・四半期（回答者26人）

○第3・四半期において、主たる介護者を支えるものがあるかについてたずねた結果は、表2-33及び図2-33のとおりである。

□「あった」と回答した人は57.7%、「なかった」と回答した人は42.3%であった

### エ 第4・四半期（回答者29人）

○第4・四半期において、主たる介護者を支えるものがあるかについてたずねた結果は、表2-33及び図2-33のとおりである。

□「あった」と回答した人は58.6%、「なかった」と回答した人は41.4%であった

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-33及び図2-33のとおりである。

□「あった」と回答した人は58.4%、「なかった」と回答した人は41.6%であった

表 2-33 主たる介護者を支えるものの有無の推移

	あった	なかった	回答なし	合計
第1・四半期	17	13	24	30
	56.7%	43.3%	—	100.0%
第2・四半期	17	11	25	28
	60.7%	39.3%	—	100.0%
第3・四半期	15	11	26	26
	57.7%	42.3%	—	100.0%
第4・四半期	17	12	24	29
	58.6%	41.4%	—	100.0%
年間単純平均	16.5	11.8	24.8	28.3
	58.4%	41.6%	—	100.0%
R5年度平均	16.0	10.3	26.0	26.3
	61.0%	39.0%	—	100.0%
R4年度平均	16.0	10.8	26.0	26.8
	59.8%	40.2%	—	100.0%
R3年度平均	14.8	11.5	26.3	26.3
	56.2%	43.8%	—	100.0%
R2年度平均	14.8	14.5	24.3	29.3
	50.4%	49.6%	—	100.0%
R1年度平均	17.5	11.3	26.0	28.8
	60.9%	39.1%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

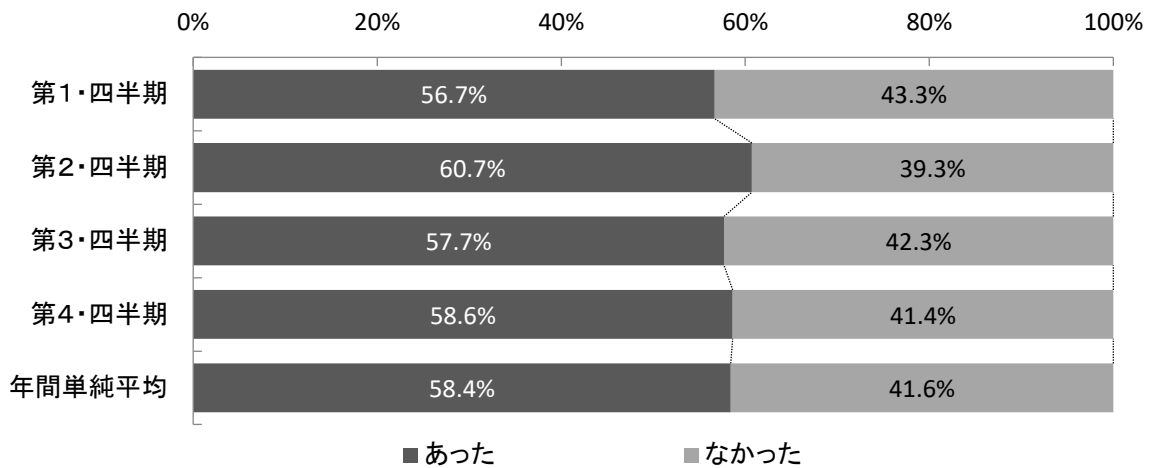


図 2-33 主たる介護者を支えるものの有無の推移

## ⑧-1 介護者を支えるもの 具体的内容

○主たる介護者を支える主な具体的内容については、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

### ◇家族

- ・家族のサポート相談
- ・本人のきょうだい達がつれだしてめんどうをみてくれる
- ・娘、孫が、間にはいって話す。
- ・子供などが手助けしてくれています。主人も私のかわりに実家に行ってくれています。
- ・家族の支えが一番

### ◇知人・友人

- ・友人達と食事・旅行
- ・友人達と旅行に行った。
- ・体調悪くした時、知人が助けてくれた
- ・友人との会話など
- ・友人との飲み会。

### ◇ヘルパー・ボランティア

- ・ホームヘルパーさんやデイサービスの職員さんなど
- ・ヘルパー支援

### ◇患者会

- ・障害者同士の家族の会など
- ・患者の会で病院や介護施設の情報交換をした

### ◇公的な機関・制度

- ・ケアマネージャーの配慮でデイサービス等介護保険の活用が増えたので、配偶者の負担が少し減ってきた。
- ・同行支援など公的制度

### ◇趣味・外出など

- ・散歩、一人でいる時間を持つこと
- ・推し（某アイドル）

## ⑨ 介護者の社会参加・社会活動等の状況

### ア 第1・四半期（回答者 38人）

○第1・四半期における介護者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-34及び図2-34のとおりである。

□社会参加や社会活動などを行っている人が76.3%、行っていない人が23.7%となっている

### イ 第2・四半期（回答者 36人）

○第2・四半期における介護者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-34及び図2-34のとおりである。

□社会参加や社会活動などを行っている人が69.4%、行っていない人が30.6%となっている

### ウ 第3・四半期（回答者 35人）

○第3・四半期における介護者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-34及び図2-34のとおりである。

□社会参加や社会活動などを行っている人が83.3%、行っていない人が16.7%となっている

### エ 第4・四半期（回答者 34人）

○第4・四半期における介護者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-34及び図2-34のとおりである。

□社会参加や社会活動などを行っている人が74.3%、行っていない人が25.7%となっている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-34及び図2-34のとおりである。

□社会参加や社会活動などを行っている人と行っていない人の割合は、

□年間平均では、行っている人が75.9%、行っていない人が24.1%となっている

表 2-34 介護者の社会参加・社会活動等の実施状況の推移

	参加(活動)した	まったくしていない	回答なし	合計
第1・四半期	29	9	16	38
	76.3%	23.7%	—	100.0%
第2・四半期	25	11	17	36
	69.4%	30.6%	—	100.0%
第3・四半期	30	6	16	36
	83.3%	16.7%	—	100.0%
第4・四半期	26	9	18	35
	74.3%	25.7%	—	100.0%
年間単純平均	27.5	8.8	16.8	36.3
	75.9%	24.1%	—	100.0%
R5年度平均	25.8	10.3	16.3	36.0
	71.5%	28.5%	—	100.0%
R4年度平均	26.5	10.3	16.0	36.8
	72.1%	27.9%	—	100.0%
R3年度平均	19.5	16.5	16.5	36.0
	54.2%	45.8%	—	100.0%
R2年度平均	19.0	18.3	16.3	37.3
	51.0%	49.0%	—	100.0%
R1年度平均	27.0	11.5	16.3	38.5
	70.1%	29.9%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

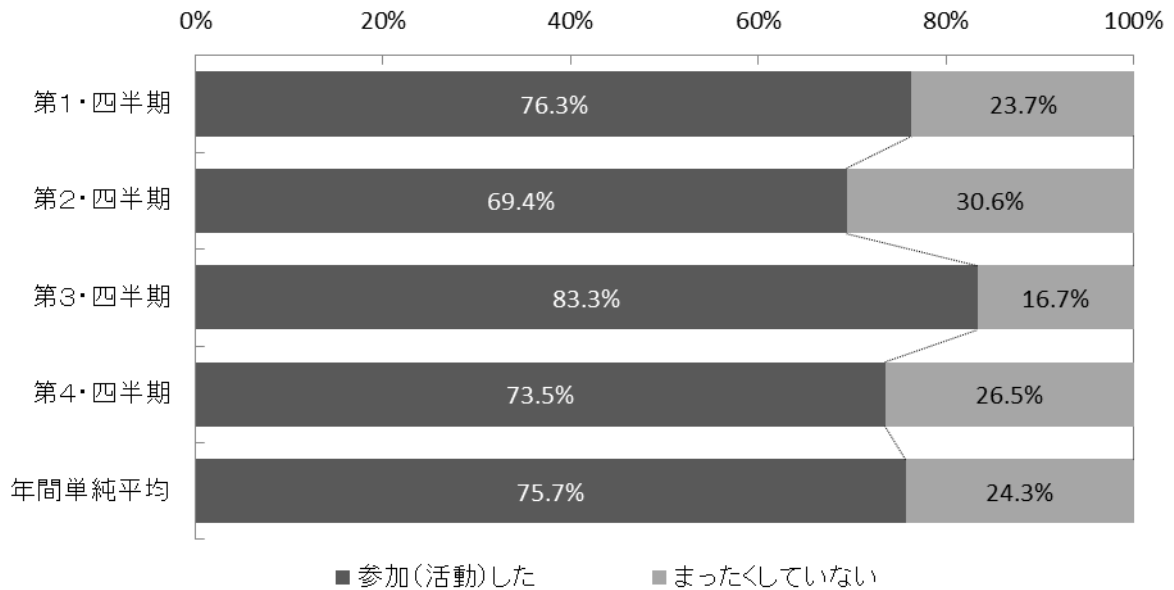


図 2-34 介護者の社会参加・社会活動等の実施状況の推移

## ⑨-1 介護者の社会参加・社会活動等をしなかった理由（SJSの健康被害者の方のみに質問）

### ア 第1・四半期（回答者3人）

○社会参加や社会活動などを行わなかったと答えた人にその理由を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において介護者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-35及び図2-35のとおりである。

- 「時間的・経済的に余裕なし」が33.3%となっている
- その他としては、「メンタル低下」などをあげている

### イ 第2・四半期（回答者6人）

○第2・四半期において介護者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-35及び図2-35のとおりである。

- 「体力的に余裕なし」が66.7%、「時間的・経済的に余裕なし」が33.3%となっている

### ウ 第3・四半期（回答者5人）

○第3・四半期において介護者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-35及び図2-35のとおりである。

- 「時間的・経済的に余裕なし」が80.0%となっている
- その他としては、「何となく、多忙だった。」をあげている

### エ 第4・四半期（回答者5人）

○第4・四半期において介護者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-35及び図2-35のとおりである。

- 「体力的に余裕なし」が60.0%、「時間的・経済的に余裕なし」が20.0%となっている
- その他としては、「常に介護、介助が必要なため。」をあげている

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-35及び図2-35のとおりである。

- 社会参加・社会活動などを行わなかった理由の年間平均では、「体力的に余裕なし」が55.0%、「時間的・経済的に余裕なし」が20.0%となっている

表 2-35 介護者の社会参加・社会活動等をしなかった理由の推移

	時間的・経済的 余裕なし	体力的に 余裕なし	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	1	0	2	6	3
	33.3%	0.0%	66.7%	—	100.0%
第2・四半期	2	4	0	5	6
	33.3%	66.7%	0.0%	—	100.0%
第3・四半期	0	4	1	1	5
	0.0%	80.0%	20.0%	—	100.0%
第4・四半期	1	3	1	4	5
	20.0%	60.0%	20.0%	—	100.0%
年間単純平均	1.0	2.8	1.0	4.0	4.8
	21.1%	57.9%	21.1%	—	100.0%
R5年度平均	1.8	3.0	0.8	4.8	5.5
	31.8%	54.5%	13.6%	—	100.0%
R4年度平均	1.3	2.0	3.5	2.0	6.8
	18.5%	29.6%	51.9%	—	100.0%
R3年度平均	5.5	5.5	6.5	0.3	17.5
	31.4%	31.4%	37.1%	—	100.0%
R2年度平均	4.3	5.0	7.3	0.5	16.5
	25.8%	30.3%	43.9%	—	100.0%
R1年度平均	2.8	4.5	3.0	0.5	10.3
	26.8%	43.9%	29.3%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

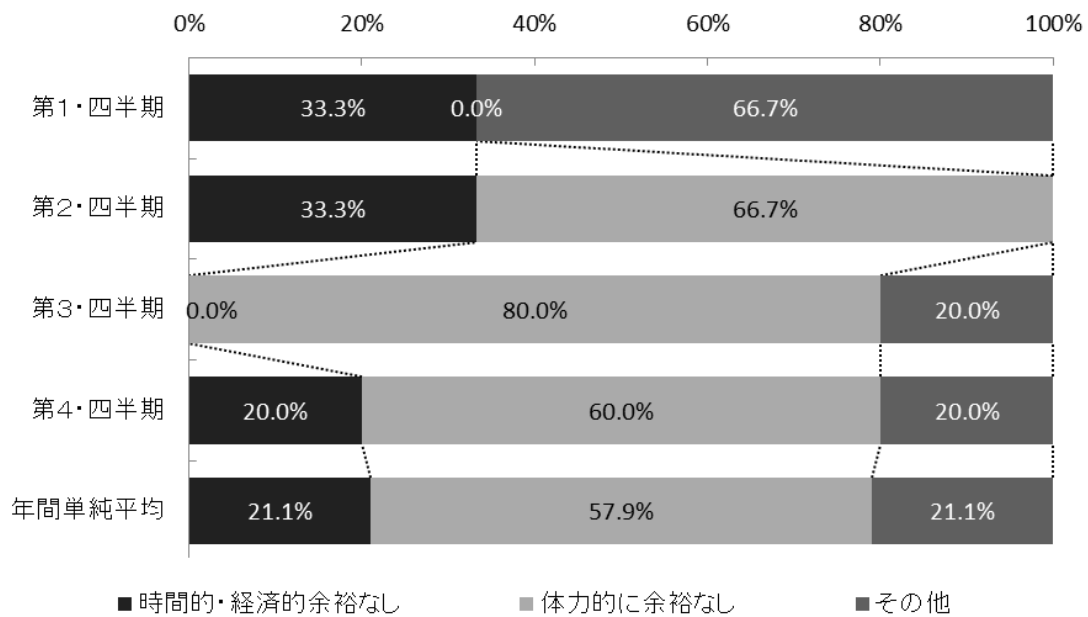


図 2-35 介護者の社会参加・社会活動等をしなかった理由の推移

## ⑨-2 介護者の社会参加・社会活動のきっかけ（SJSの健康被害者の方のみに質問）

○主たる介護者の社会参加・社会活動の主なきっかけについては、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・ 本人と親が健康に過ごす為運動を続けている
- ・ 子供が予定をつけて、さそってくれた
- ・ 友人からのおさそい
- ・ ネット等で調べた。
- ・ ずっと行っているスポーツ
- ・ 気分転換
- ・ （以前より続けている）旬のものをみたり、食したりしたいから。
- ・ 体が動けるうちにいろいろやっておかなければいつも思っている
- ・ チケットがとれた
- ・ 積極的に外に出て人と交る機会を増し、心身の老化を防ぎたい。
- ・ 体力維持のため
- ・ 散歩、買い物
- ・ 趣味（コンサート）
- ・ 誘われたから
- ・ 距離をおかないと精神衛生に良くないと思ったから。

### ⑨-3 介護者の社会参加・社会活動等の内容

#### ア 第1・四半期（回答者 26 人）

○社会参加や社会活動などを行ったと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。

第1・四半期において介護者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表 2-36 及び図 2-36 のとおりである（複数回答）。

- 「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が 44.8%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」、「友達との遊び」がそれぞれ 31.0%、「スポーツ教室、大会などへの参加」、「趣味の同好会活動」がそれぞれ 20.7%となっている
- その他としては、「ウォーキング、トレッキング」などをあげている

#### イ 第2・四半期（回答者 23 人）

○第2・四半期において介護者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表 2-36 及び図 2-36 のとおりである（複数回答）。

- 「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が 44.0%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が 36.0%、「友達との遊び」が 32.0%となっている
- その他としては、「散歩、買い物」などをあげている

#### ウ 第3・四半期（回答者 28 人）

○第3・四半期において介護者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表 2-36 及び図 2-36 のとおりである（複数回答）。

- 「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が 53.3%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が 40.0%、「スポーツ教室、大会などへの参加」が 26.7%となっている
- その他としては、「プール、写真撮影」などをあげている

#### エ 第4・四半期（回答者 24 人）

○第4・四半期において介護者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表 2-36 及び図 2-36 のとおりである（複数回答）。

- 「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が 42.3%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が 38.5%、「友達との遊び」が 30.8%となっている
- その他としては、「美術館」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-36及び図2-36のとおりである（複数回答）。

□ 「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が42.7%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が40.0%、「友達との遊び」が29.1%となっている

表2-36 社会参加・社会活動等の内容の推移

	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	スポーツ教室、大会などへの参加	旅行・キャンプ・つりなどの活動	趣味の同好会活動	ボランティアなどの社会活動	障害者団体の活動	地域活動	パソコンを利用した社会参加	友達との遊び	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	13	6	9	6	0	2	5	3	9	5	1	29
	44.8%	20.7%	31.0%	20.7%	0.0%	6.9%	17.2%	10.3%	31.0%	17.2%	—	100.0%
第2・四半期	9	6	11	5	1	1	5	2	8	3	1	25
	36.0%	24.0%	44.0%	20.0%	4.0%	4.0%	20.0%	8.0%	32.0%	12.0%	—	100.0%
第3・四半期	12	8	16	4	1	2	5	2	7	3	0	30
	40.0%	26.7%	53.3%	13.3%	3.3%	6.7%	16.7%	6.7%	23.3%	10.0%	—	100.0%
第4・四半期	10	6	11	4	0	1	4	5	8	2	1	26
	38.5%	23.1%	42.3%	15.4%	0.0%	3.8%	15.4%	19.2%	30.8%	7.7%	—	100.0%
年間単純平均	11.0	6.5	11.8	4.8	0.5	1.5	4.8	3.0	8.0	3.3	0.8	27.5
	40.0%	23.6%	42.7%	17.3%	1.8%	5.5%	17.3%	10.9%	29.1%	11.8%	—	100.0%
R5年度平均	9.5	5.8	12.3	5.5	0.8	1.5	4.3	3.3	6.3	2.0	0.5	25.3
	37.6%	22.8%	48.5%	21.8%	3.0%	5.9%	16.8%	12.9%	24.8%	7.9%	—	100.0%
R4年度平均	10.5	7.5	8.8	5.3	1.0	0.8	4.8	3.8	8.5	3.0	1.3	25.3
	41.6%	29.7%	34.7%	20.8%	4.0%	3.0%	18.8%	14.9%	33.7%	11.9%	—	100.0%
R3年度平均	5.5	4.8	5.5	5.8	0.3	0.3	3.8	2.8	5.3	2.3	4.0	15.5
	35.5%	30.6%	35.5%	37.1%	1.6%	1.6%	24.2%	17.7%	33.9%	14.5%	—	100.0%
R2年度平均	3.8	4.3	5.5	5.0	1.0	1.3	3.8	2.8	4.8	3.0	0.5	18.5
	20.3%	23.0%	29.7%	27.0%	5.4%	6.8%	20.3%	14.9%	25.7%	16.2%	—	100.0%
R1年度平均	11.0	6.5	13.5	6.3	3.5	2.5	7.5	2.5	9.8	11.3	0.5	26.5
	41.5%	24.5%	50.9%	23.6%	13.2%	9.4%	28.3%	9.4%	36.8%	42.5%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

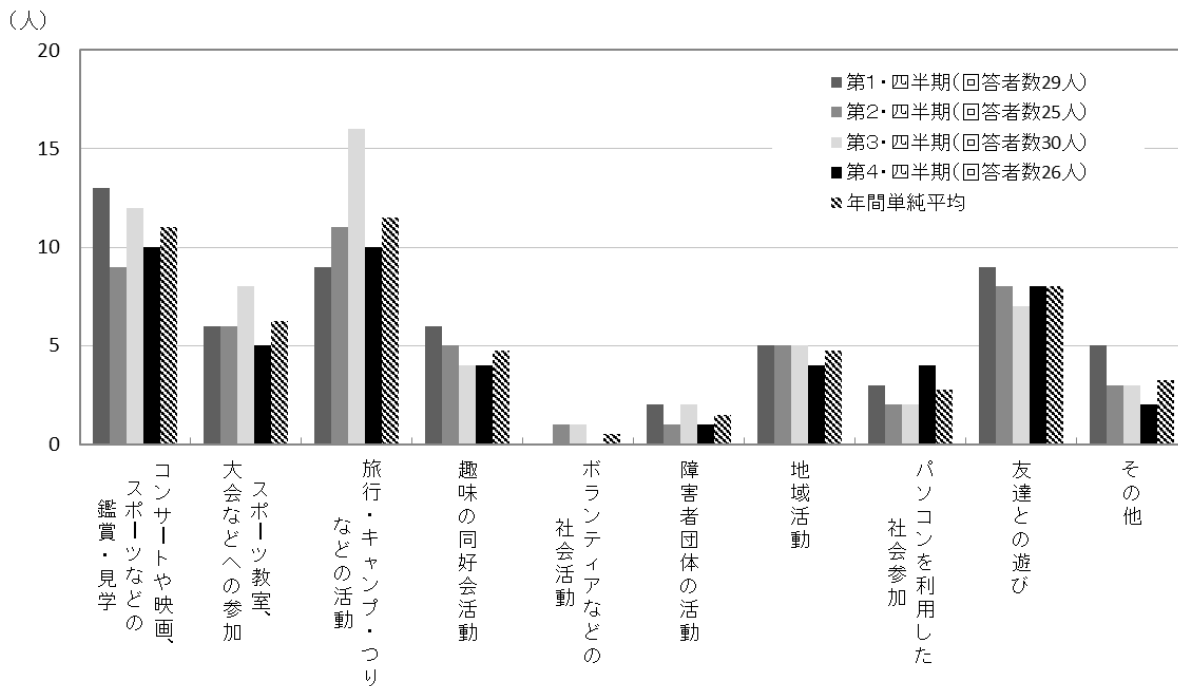


図2-36 社会参加・社会活動等の内容の推移

## ⑩ 新しい発見や気分転換などの有無

### ア 第1・四半期（回答者 30人）

○第1・四半期において、介護をしていく中で新しい発見や気分転換などがはかれたかについてたずねた結果は、表2-37及び図2-37のとおりである。

□「あった」と回答した人は26.7%、「なかった」と回答した人は73.3%であった

### イ 第2・四半期（回答者 31人）

○第2・四半期において、介護をしていく中で新しい発見や気分転換などがはかれたかについてたずねた結果は、表2-37及び図2-37のとおりである。

□「あった」と回答した人は41.9%、「なかった」と回答した人は58.1%であった

### ウ 第3・四半期（回答者 31人）

○第3・四半期において、介護をしていく中で新しい発見や気分転換などがはかれたかについてたずねた結果は、表2-37及び図2-37のとおりである。

□「あった」と回答した人は41.9%、「なかった」と回答した人は58.1%であった

### エ 第4・四半期（回答者 29人）

○第4・四半期において、介護をしていく中で新しい発見や気分転換などがはかれたかについてたずねた結果は、表2-37及び図2-37のとおりである。

□「あった」と回答した人は34.5%、「なかった」と回答した人は65.5%であった

### オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-37及び図2-37のとおりである。

□介護をしていく中で新しい発見や気分転換などの有無については、年間の平均では「あった」が36.4%、「なかった」が63.6%であった

表 2-37 介護をしていく中で新しい発見や気分転換の有無の推移

	あった	なかった	回答なし	合計
第1・四半期	8 26.7%	22 73.3%	24 —	30 100.0%
第2・四半期	13 41.9%	18 58.1%	22 —	31 100.0%
第3・四半期	13 41.9%	18 58.1%	21 —	31 100.0%
第4・四半期	10 34.5%	19 65.5%	24 —	29 100.0%
年間単純平均	11.0 36.4%	19.3 63.6%	22.8 —	30.3 100.0%
R5年度平均	9.0 33.0%	18.3 67.0%	25.0 —	27.3 100.0%
R4年度平均	11.0 37.0%	18.8 63.0%	23.0 —	29.8 100.0%
R3年度平均	7.8 26.3%	21.8 73.7%	23.0 —	29.5 100.0%
R2年度平均	9.0 28.6%	22.5 71.4%	22.0 —	31.5 100.0%
R1年度平均	12.3 37.7%	20.3 62.3%	22.3 —	32.5 100.0%

注：上段は人数、下段は割合

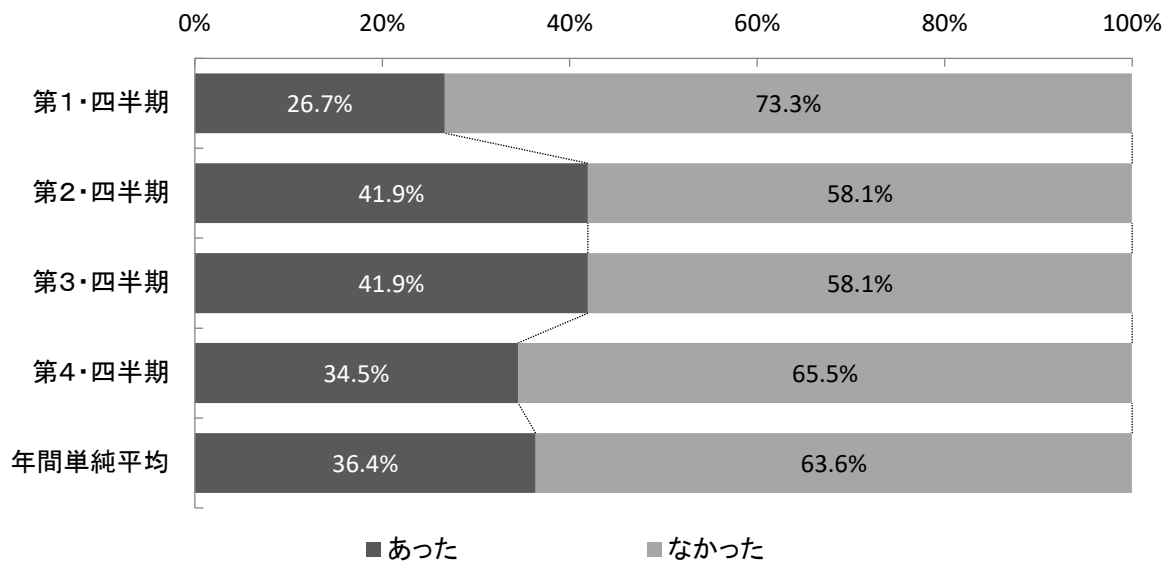


図 2-37 介護をしていく中で新しい発見や気分転換の有無の推移

## ⑩-1 新しい発見や気分転換について

○⑩で「あった」と回答した本人または介護者にたずねた主な具体的内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・外出（病院の帰りなど）おいしい店を見つけ食事に行く
- ・友達にランチをさそわれて、でかけて、おしゃべりしたため
- ・外に出て行く事で色々な人に出会える。
- ・桜をみながらの散歩
- ・友人との会食や散歩など
- ・母とのみにいくとき。
- ・夫婦で一泊二日の小旅行に行ったが、白杖を持つ妻にまわりが思った以上にやさしかった。
- ・家の庭の花につぼみができて花が増えて咲くとうれしい。
- ・一時的に介護を忘れられた。
- ・ショートステイ利用時に外出したこと
- ・全て完璧な介護をしなくてはと思っていたが、手を抜いても良いんだと思える様になり、気持ちが楽になった。
- ・推しているグループ（**某アイドル**）のアリーナツアーがはじまったので、全国をとびまわり、旅行をすることで気分転換になっています。
- ・趣味の会、旅行等、友人たちとの交流で気分転換はかれる。

### (3) C票（過去1年間の日常生活状況調査）からみた生活状況の概要

#### ■ 治療状況

##### ① 健康被害を受けた方の治療状況

○健康被害を受けた方の治療状況については表3-1及び図3-1のとおりである。

□通院中（往診含む）が100.0%となっている

表3-1 治療状況

入院中	通院中 (往診含む)	回答なし	合計
0	32	21	32
0.0%	100.0%	—	100.0%

注:上段は人数、下段は割合

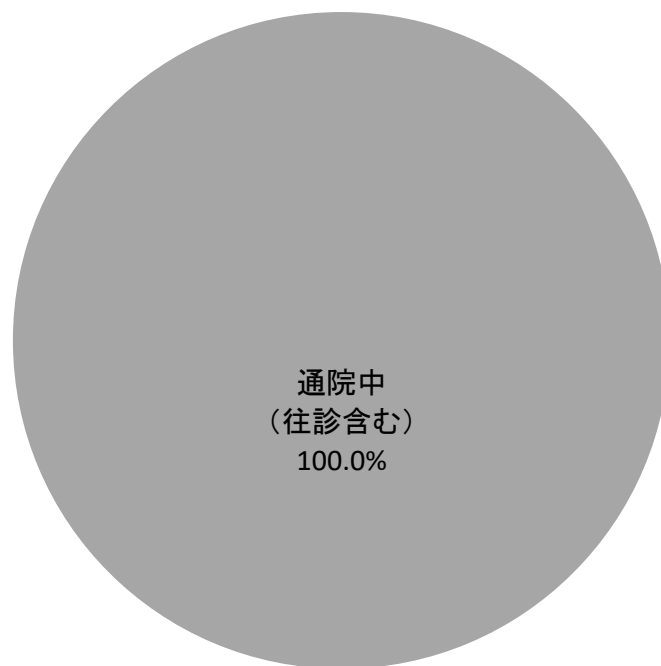


図3-1 治療状況

② 副作用の疾患以外で治療を受けるときに注意していること

②-1 通院時に注意している点

○通院時に注意をしている点についてたずねた結果は、表3-2及び図3-2のとおりである（複数回答）。

□「事前に交通機関やルートを確認」が57.1%、「家族などによる送迎」が45.2%、「ヘルパー等に同行を依頼」が33.3%となっている

表3-2 通院時に注意している点

事前に交通機関やルートを確認	ヘルパー等に同行を依頼	家族などによる送迎	介護タクシーの利用	その他	回答なし	回答者数
24	14	19	1	1	11	42
57.1%	33.3%	45.2%	2.4%	2.4%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

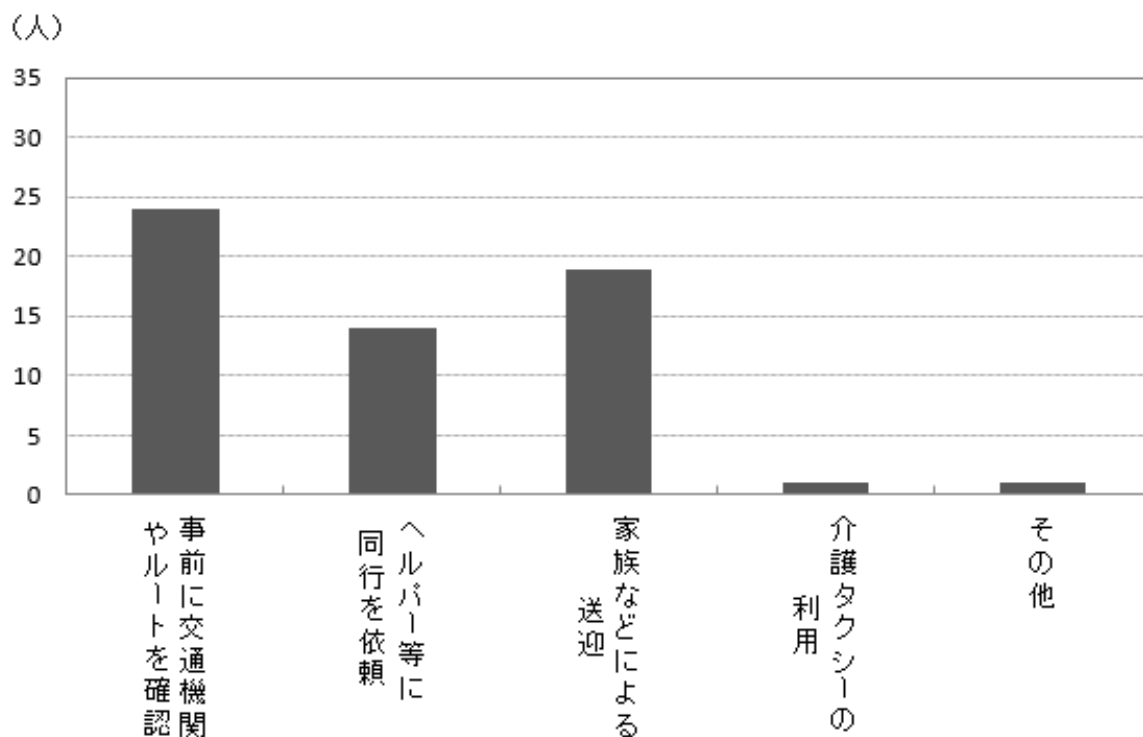


図3-2 通院時に注意している点

○具体的な「その他」の主な内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・自家用車利用
- ・盲導犬
- ・母親と一緒に自家用車、公共交通を利用している。
- ・通院時の家族の同行
- ・雇人に送迎をお願いしています

## ②-2 治療を受けるときに注意している点

○治療を受けるときに注意をしている点についてたずねた結果は、表3-3及び図3-3のとおりである（複数回答）。

□「既往歴を告げる」が84.8%、「お薬手帳を持参」が73.9%、「受けている医療について分からないことは医療スタッフに聞く」が69.6%となっている

表3-3 治療を受けるときに注意している点

既往歴を告げる	お薬手帳を持参	受けている医療について分からないことは医療スタッフに聞く	その他	回答なし	回答者数
39	34	32	2	7	46
84.8%	73.9%	69.6%	4.3%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

(人)

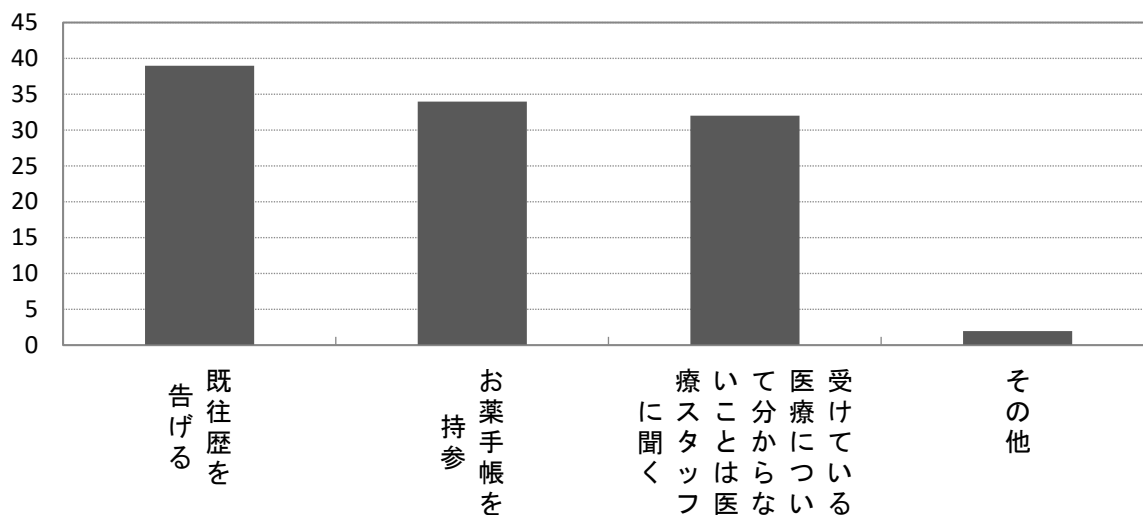


図3-3 治療を受けるときに注意している点

○具体的な「その他」の主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・自分自身の判断で受診時に別の市民検診や検査時にわたされた結果報告書なども提示してみる事もある。
- ・服薬時のアレルギーの有無について

②-3 治療を受けるときに困ったこと（SJS の健康被害者の方のみに質問）

○治療を受けるときに困ったことについてたずねた結果は、表 3-4 及び図 3-4 のとおりである（複数回答）。

□「SJS について医師が理解していない」が 66.7%、「SJS であることを告げたら治療を拒まれた」が 57.1%となっている

表 3-4 治療を受けるときに困ったこと

SJSについて 医師が理解し ていない	SJSであることを 告げたら診療 を拒まれた	その他	回答なし	回答者数
14	12	2	32	21
66.7%	57.1%	9.5%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

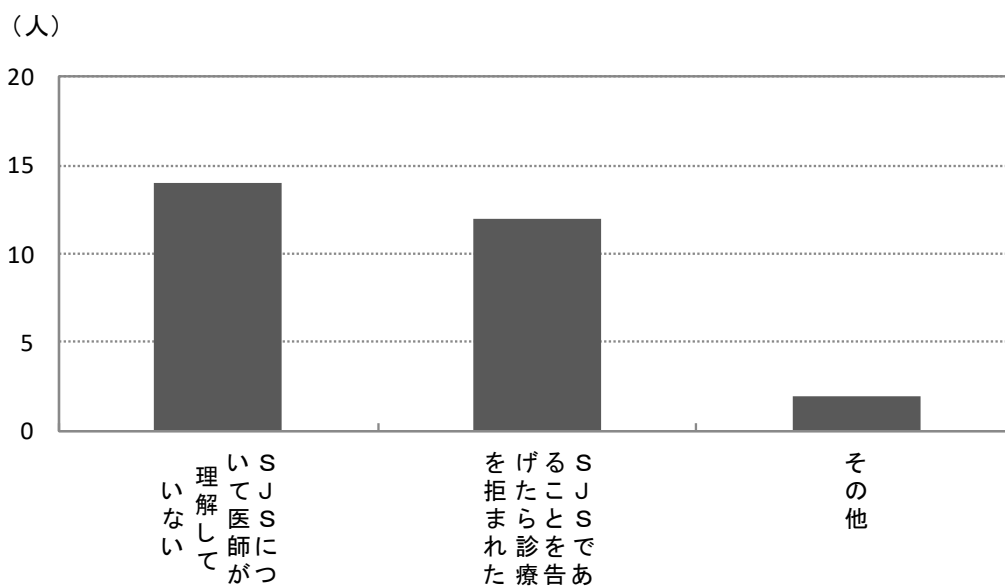


図 3-4 治療を受けるときに困ったこと

○具体的な「その他」の主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇処方や治療がない

- ・薬剤の使用が難しいために、治療だけでなく、より詳しい検査がうけられない 必要最小限の処方になることが多く、痛み等、我慢しなければならない
- ・治療薬がないこと。

◇その他

- ・話しをして理解してくれて許可をしてくれる所に通院する
- ・弱い薬しか出してくれない。

②-4 その他注意している点

○その他注意している点の主な内容については、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・受診時に禁忌薬の情報を伝えるようにしている。

■ 過去1年間の日常生活について

③ 困ったことの有無

○ 過去1年間における困ったことの有無については、表3-5及び図3-5のとおりである。

□ 困ったことが「増えた」が46.9%、「減った」が2.0%、「変わらない」が46.9%であった。一方、困ったことは「ない」とする人は4.1%であった。

表3-5 困ったことの有無

困ったことが増えた	困ったことが減った	困ったことは変わらない	困ったことはない	回答なし	合計
23	1	23	2	4	49
46.9%	2.0%	46.9%	4.1%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

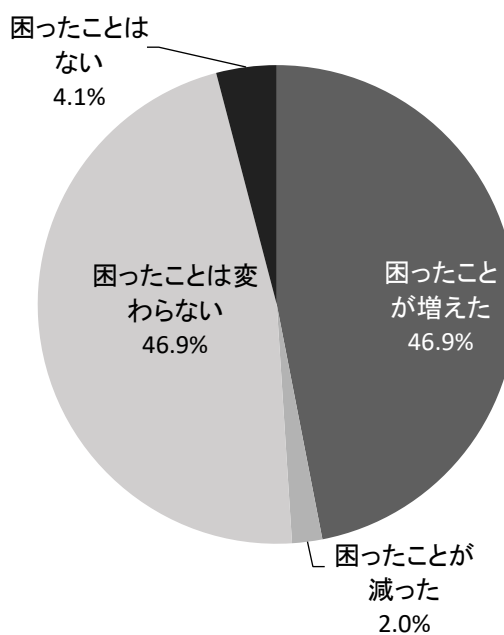


図3-5 困ったことの有無

### ③-1 困ったことについて

○過去に困ったことがあったと回答した本人または介護者にたずねた「困ったこと」の主な具体的内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

#### ◇外出に関すること

- ・買い物や散歩などで外出する際に、介助者が必要なこと
- ・人身事故で列車のダイヤが乱れ、乗りかえが困難だった

#### ◇日常生活に関すること

- ・MRSAに感染した ゆ着がひどくなり医療用コンタクトが入りづらくなった
- ・さらに見えにくくなったので室内の移動に支障がある。ゴミ出しが出来なくなった。
- ・インターネットが使えないので、見えないので、様々なチケットが購入できない。飲食店のオーダーが、タブレット端末が多いので、困惑する。
- ・弱視から全盲になり、日常生活の行動全般が困難になった。

#### ◇その他

- ・外国人が増えた為、ぶつかって白杖をおられてしまった。お金は払ってもらえたが、駅員さんがいなかったら、説明できなかったかもしれない（ポケットークを使ってくれた）
- ・現状維持できている。
- ・介助者が増えること

### ③-2 困ったことがあった場合、誰に相談したか

○過去に困ったことがあったと答えた人に回答を求めた。誰かに相談したかについてたずねた結果は、表3-6及び図3-6のとおりである（複数回答）。

□「子ども」が43.3%、「配偶者」、「医師」がそれぞれ23.3%、「障害者相談支援センター」が16.7%となっている

□「相談する人はいない」は20.0%であった

表3-6 困ったときの相談の有無

親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	友人・知人	会社の上司・同僚	学校の先生	医師		
1	7	13	4	0	3	1	0	7		
3.3%	23.3%	43.3%	13.3%	0.0%	10.0%	3.3%	0.0%	23.3%		
看護師・保健師	公的機関の職員等	PMDAの保健福祉相談窓口	障害者の団体	障害者相談支援センター	地域包括支援センター	その他	相談する人はいない	回答なし	回答者数	
3	3	0	1	5	3	3	6	23	30	
10.0%	10.0%	0.0%	3.3%	16.7%	10.0%	10.0%	20.0%		100.0%	

注：上段は人数、下段は割合

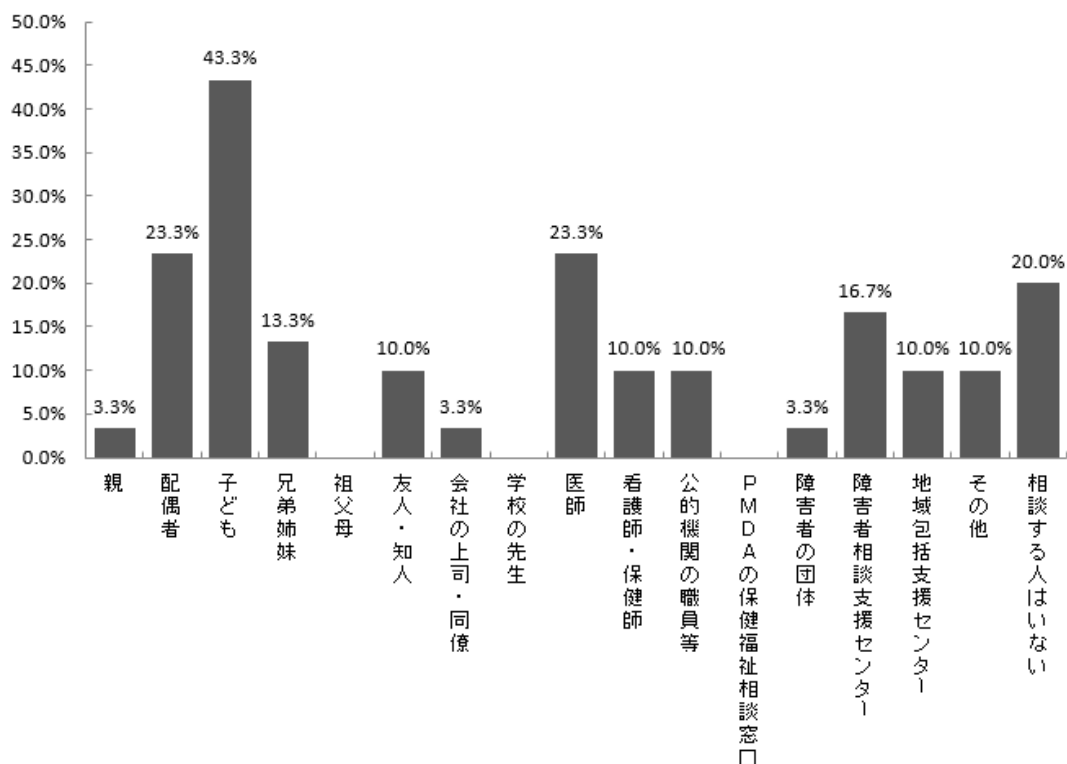


図3-6 困ったときの相談の有無

### ③-3 解決策の有無

○困ったことがあったとする人に、解決策の有無についてたずねた結果は、表 3-7 及び図 3-7 のとおりである。

□困ったことに対して解決したと回答した人は 26.9%、一方、解決していないと回答した人は 73.1%であった

表 3-7 解決策の有無

解決した	解決していない	回答なし	合計
7	19	27	26
26.9%	73.1%	—	100.0%

注: 上段は人数、下段は割合

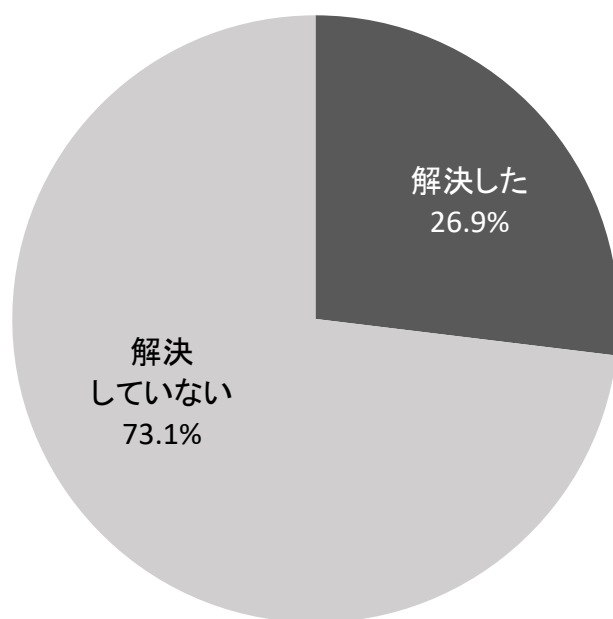


図 3-7 解決策の有無

### ③-4 解決策について

○③-3で「解決した」と回答した本人または介護者の困ったことと解決策の主な内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

困ったこと	解決策
体力が落ち、動けなくなっている	デイサービスで、動きをくりかえし練習してもらっている
介護人の主人が、寝こんだ時。	息子の妻が来訪し、サポートしてくれた。
インターネットが使えないので、見えないので、様々なチケットが購入できない。飲食店のオーダーが、タブレット端末が多いので、困惑する。	息子がすべて航空機、ホテルのチケットを手配した。
弱視から全盲になり、日常生活の行動全般が困難になった。	視覚障害に特化した盲養護老人ホームへ契約入所した。

### ③-5 解決方法について

○③-3で「解決していない」と回答した本人または介護者に、どのような方法で解決できると思うか解決方法をたずねた。主な内容は以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

困ったこと	解決方法
MRSA に感染した ゆ着がひどくなり医療用コンタクトが入りづらくなった	わかりませんが治療中です まぶたのゆ着は手術という方法がありますが局所麻酔（眼ぐすり）はアレルギーを起して使用できずどうにもならなくなった時は全身麻酔で手術と言われています。
外国人が増えた為、ぶつかって白杖をおられてしまった。お金は払ってもらえたが、駅員さんがいなかったら、説明できなかったかもしれない（ポケットークを使ってくれた）	これは外的要因が大きいので解決するのが難しいと思う
体重が減らない…。。（本人の）	運動がもう少しできたらよいが、車イスの全介護なのでなかなかむずかしい
チック症状が悪化	病状に関しては話しても仕方ない
専門医受診に行くのに経費が上昇していること、同行者のいらい	法が変わらないとムリ
ADL の低下	できない
弱視から全盲になり、日常生活の行動全般が困難になった。	高齢になってから全盲になると、感覚や記憶力も低下しているため、動線を覚えたりが難しくなり、解決自体が難しい。
1. 症状が進行し外出時に持参する視覚補助器の種類が増えた。2. サインが自筆できなくなった。3. 酸素を使用で喀痰の排出に体力を消耗し、通常の食事では体力が回復しない。	1. および 2. については健康被害者に対する理解と支持が組織化された形で向上すれば希望が持てる 3. については医学の進歩が重要であろう。

#### ④ 日常生活の満足度

○過去1年間の日常生活における満足度についてたずねた結果は、表3-8及び図3-8のとおりである。

- 「満足」が8.7%、「やや満足」が43.5%となっている
- 「不満」が26.1%、「やや不満」が21.7%となっている

表3-8 日常生活の満足度

満足	やや満足	やや不満	不満	回答なし	合計
4	20	10	12	7	46
8.7%	43.5%	21.7%	26.1%	—	100.0%

注:上段は人数、下段は割合

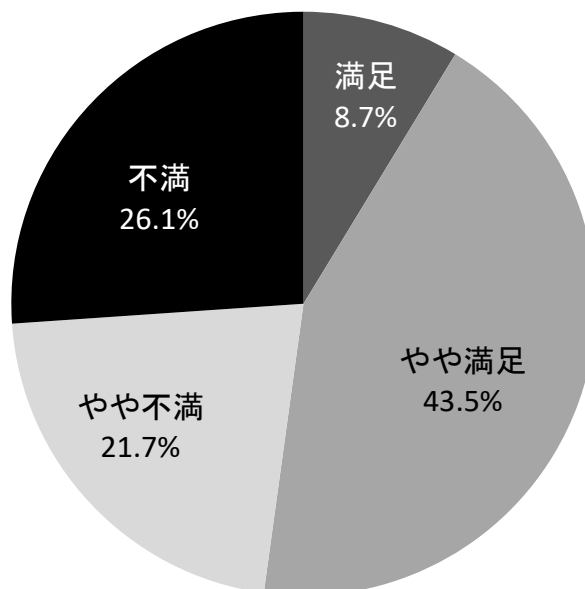


図3-8 日常生活の満足度

#### ④-1 満足度の理由について

○④の回答に至った具体的な理由の満足度別の主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

##### 1. 満足

- ・充実しています
- ・精神的充実感、経済的安定
- ・推し（**某アイドルグループ**）と家族がいるから

##### 2. やや満足

- ・自宅で過ごせるから
- ・健康で生活出来ている。時々旅行に出かける事もできる。
- ・ヘルパーさんたちがいて、日常生活を助けてくれる
- ・健康状態もほぼ良好で、趣味の活動や旅行なども楽しむことが出来た。
- ・理解者、協力者に恵まれたから
- ・盲養護老人ホームへ入所して、日常生活のサポートをしてもらっているため。安全に生活できる。

##### 3. やや不満

- ・日常生活が制限され、思い通り活動できないため。
- ・物価高で物（食品）の購入も気をつかう。あまり外出もできなくなった。
- ・地元の福祉センター内で地域住民のためのボランティアマッサージの活動リーダーを担当してきたが、ケアレスミスがあまりにも多く、周囲から叱責や注意を受ける事が多く体調を崩し長期離脱し、仲間に迷惑をかけてしまったので。
- ・外出が困難な為 運動量が少なく、体重が増加
- ・SJS が知られない事が第1の要因

##### 4. 不満

- ・睡眠不足と自分の体調 自分の時間がほとんどない
- ・目の痛みで、生活が困難
- ・改善が見られない。
- ・体調が全く安定せず、無理なしでは生活できない

○ B票（社会活動を中心とした調査）及びC票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要は以下のとおりである。

日常生活の満足度と外出の頻度(第4・四半期)との関係(人数)

	ほぼ毎日	週に4から5回	週に2から3回	月に2から3回	まったく外出していない	回答なし	合計
満足	1	2	1	0	0	0	4
やや満足	6	4	7	3	0	0	20
やや不満	2	0	4	3	1	0	10
不満	3	1	4	3	1	0	12
回答なし	1	1	2	1	1	1	7
合計	13	8	18	10	3	1	53

日常生活の満足度と現在行っている社会参加・社会活動等(第4・四半期)との関係(人数)

	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	スポーツ教室、大会などへの参加	旅行・キャンプ・つりなどの活動	趣味の同好会活動	ボランティアなどの社会活動	障害者団体の活動	地域活動	パソコンを利用した社会参加	友達との遊び	その他	回答なし	合計
満足	3	1	1	1	0	0	1	1	3	0	1	12
やや満足	6	3	6	2	0	1	2	2	4	0	8	34
やや不満	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6	11
不満	0	0	2	0	0	0	0	2	1	1	8	14
回答なし	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	6	8
合計	10	6	11	4	0	1	4	5	8	1	29	79

⑤ 日常生活を満足にするために一番やりたいことについて

○ 日常生活を満足にするために一番やりたいことについてたずねた結果は、表 3-9 及び図 3-9 のとおりである。

□ 「旅行・外出」が 61.4%、「コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦」、「趣味」がそれぞれ 20.5%、「社会活動・団体活動」が 4.5%となっている

表 3-9 日常生活を満足にするために一番やりたいこと

コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦	旅行・外出	趣味	社会活動・団体活動	その他	回答なし	回答者数
9	27	9	2	5	9	44
20.5%	61.4%	20.5%	4.5%	11.4%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

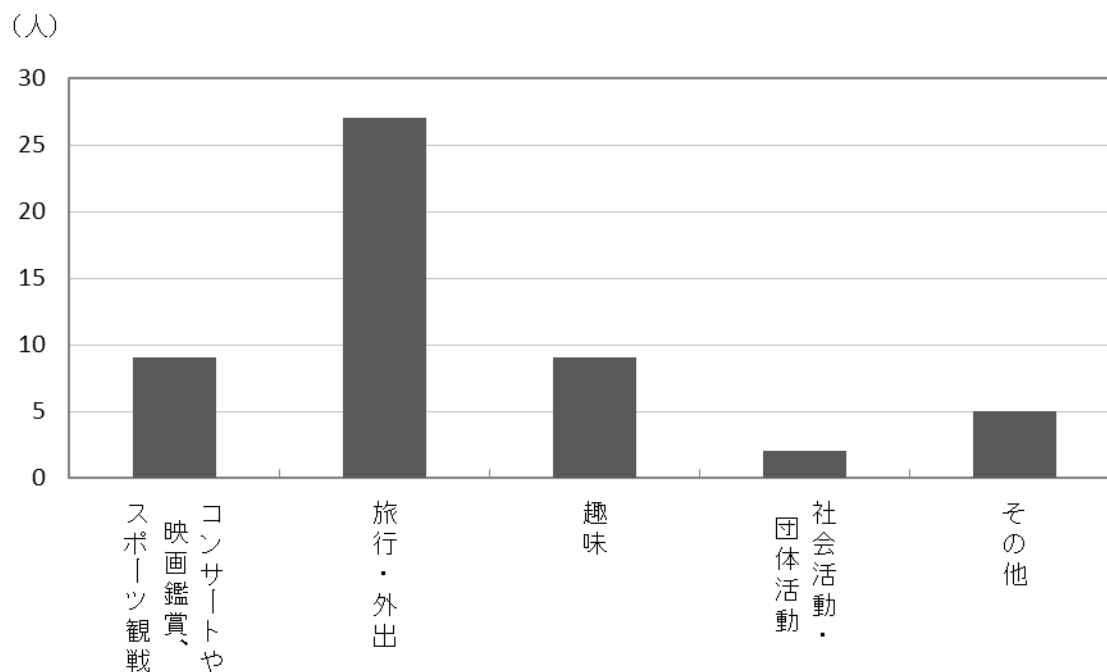


図 3-9 日常生活を満足にするために一番やりたいこと

○具体的な「その他」の主な内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

◇食事、休暇、趣味

- ・魚つり
- ・某アイドルグループのライブ

◇その他

- ・仕事
- ・規則正しい生活 家事以外の時間が欲しい
- ・運動

⑤-1 実現可能性

○日常生活に満足するために一番やりたいことの実現可能性についてたずねた結果は、表3-10及び図3-10のとおりである。

□「出来ると思う」が26.2%、「やや出来ると思う」が38.1%となっている

□一方、「出来ないと思う」が16.7%、「あまり出来ないと思う」が19.0%となっている

表3-10 実現可能性

出来ると思う	やや出来ると思う	あまり出来ないと思う	出来ないと思う	回答なし	合計
11	16	8	7	11	42
26.2%	38.1%	19.0%	16.7%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

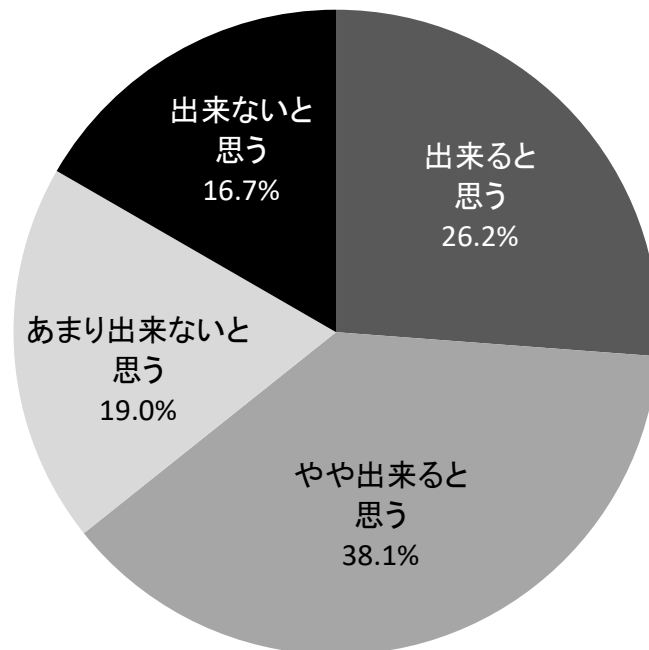


図3-10 実現可能性

## ⑤-2 実現可能性の理由について

○⑤-1 の日常生活に満足するために一番やりたいことの実現可能性及びその理由の主な具体的内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

### ◇実現が可能な理由

- ・ 介助の者がつれていくから
- ・ 計画をして行動する
- ・ コンサートに当選しました。
- ・ 周囲に理解者がおり、やりたいことの手助けをしてくれたり、同行してくれたりするので
- ・ つれてくれる人の都合があえばできると思う
- ・ 外出支援のヘルパーさんも長いつきあいによくわかってもらえるから
- ・ ガイドヘルパーの利用範囲が広がり、日帰り旅行にも行けるようになった。
- ・ 家族旅行だけでなく、最近、仕事をリタイヤした友人、知人が旅行にさそってくれるので。
- ・ ある程度の時間の余裕あるため
- ・ 配偶者が助けてくれるから

### ◇実現が難しい理由

- ・ 脳梗塞の副作用があること。
- ・ 体調が整わない
- ・ SJS が社会と本人にまだ明確に理解されていない
- ・ 痛みがあるから
- ・ 外出がむずかしくなっている
- ・ 介護をやめる事が出来ない
- ・ 世の中の仕組みだから

⑥ 今後やってみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動について（複数回答）

○健康被害者が今後やってみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動の内容については、表3-11及び図3-11のとおりである（複数回答）。

□「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が60.9%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が52.2%、「友達との遊び」が32.6%、「趣味の同好会活動」、「障害者団体の活動」がそれぞれ26.1%、「スポーツ教室、大会などへの参加」、「パソコンを利用した社会活動」がそれぞれ23.9%となっている

表3-11 今後やってみたい活動等について

コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	スポーツ教室、大会などへの参加	旅行・キャンプ・つりなどの活動	趣味の同好会活動	ボランティアなどの社会活動	障害者団体の活動	地域活動	パソコンを利用した社会活動	友達との遊び	その他	特にない	回答なし	回答者数
24	11	28	12	8	12	6	11	15	4	5	7	46
52.2%	23.9%	60.9%	26.1%	17.4%	26.1%	13.0%	23.9%	32.6%	8.7%	10.9%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

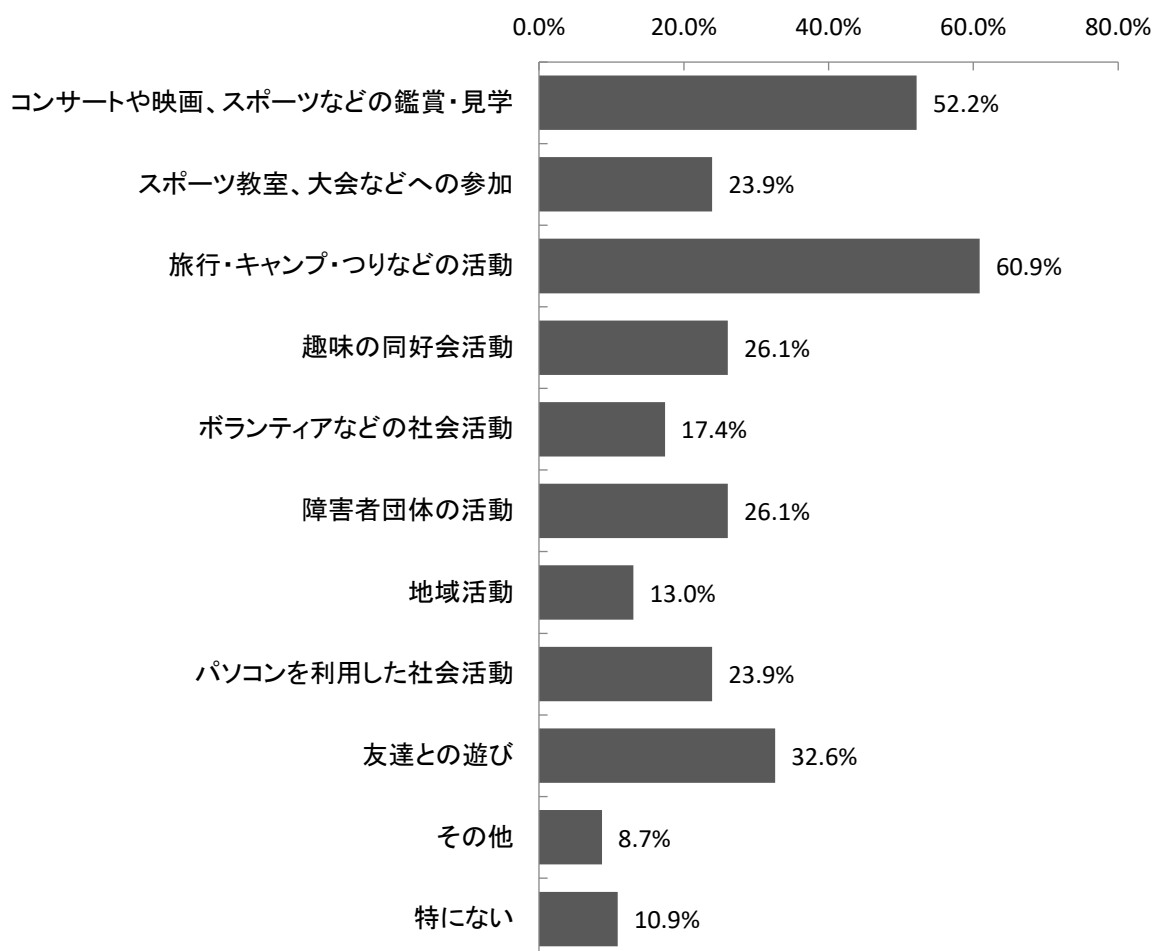


図3-11 今後やってみたい活動等について

⑥-1 今後やってみたい活動についての情報取得元（複数回答）

○健康被害者が今後やってみたい活動の情報について、どこから情報を得るかをたずねた結果は、表3-12及び図3-12のとおりである（複数回答）。

□「家族・友人」が69.8%、「インターネット・情報サイト」が53.5%、「テレビ」、「ラジオ」がそれぞれ41.9%、「録音・点字図書」が20.9%となっている

表3-12 今後やってみたい活動等についての情報取得元

新聞	テレビ	ラジオ	一般図書	雑誌	録音・ 点字図書	自治体 広報	インター ネット・情報 サイト	家族・友人	その他	回答なし	回答者数
6	18	18	1	3	9	8	23	30	2	10	43
14.0%	41.9%	41.9%	2.3%	7.0%	20.9%	18.6%	53.5%	69.8%	4.7%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

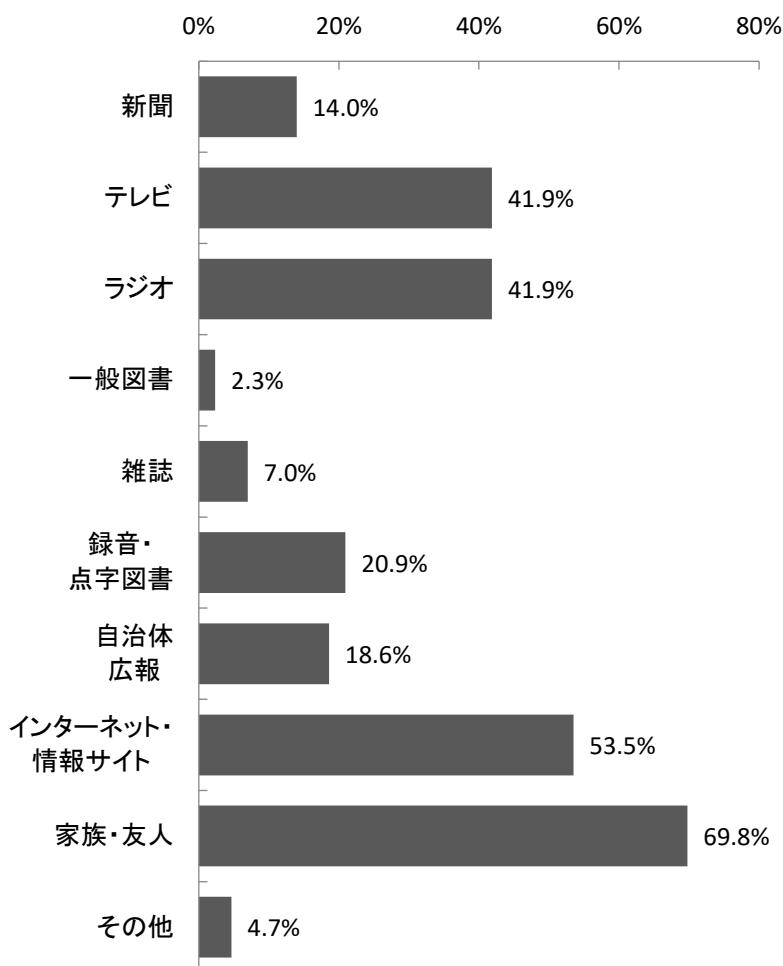


図3-12 今後やってみたい活動等についての情報取得元

## ■ 福祉サービスについて

### ⑦ 必要な福祉サービスについて（複数回答）

○ 必要な福祉サービスについての主な具体的内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

#### ◇介護サービス（介助者関連）

- ・ 定期的な声かけ、話し相手 相談事を聞いてくださると助かります。
- ・ 福祉サービスについてとても助かっているが、書類が多く手続きが大変。
- ・ 相談支援従事者と話し合いができ、今後のたすけになると思う。

#### ◇制度の充実

- ・ 自治体によって、受けられるサービスが異なる 福祉用具の補助（パソコンソフト、周辺機器など）また、介護タクシーについては、私の住む地域では視覚障がい者は利用できない どこに住んでいても同じサービスが受けられるようにならないのだろうか 金融機関（公的機関など）において、書類の代筆また ATM の操作（タッチパネルの操作）の代行をしてもらえなくなった。その都度、ヘルパーを同行するのは現実的に難しい。代筆、代行についてはセキュリティーの心配があるのだけれど、複数人で確認をしてもらえば良いのではないか。介護区分の認定について、調査項目が視覚障がい者に適当なのか疑問。ヘルパーの不足により、希望する支援が受けづらい
- ・ 同行援護のサービス範囲を、より拡大して頂き、利用しやすくなると生活面での向上が図れると思います。
- ・ 緊急に必要なになったガイド（例えば家族が不都合になった時）が手配、利用出来るシステムが欲しい。
- ・ ガイドヘルプなどは、業務の中でのサポートも出来るように、してもらいたい。
- ・ 日常生活用具の耐用年数をなくして欲しい。

#### ◇施設面

- ・ サピエのダウンロードができなくなるので困っている
- ・ 役所等での手続きに必要な書類作成のネット等による電子手続き対応

#### ◇その他

- ・ 福祉全体、人手不足です。やめる方も多い。
- ・ バスがなくなってこまっています。

## ■ 必要な情報について

### ⑧ 必要な情報について（複数回答）

○ 現在必要な情報についてたずねた結果は、表 3-13 及び図 3-13 のとおりである（複数回答）。

□ 「福祉サービス」が 58.1%、「医療」が 55.8%、「健康づくり」が 32.6%、「年金」が 27.9%となっている

表 3-13 必要な情報について

福祉サービス	医療	年金	住まい	就職	NPO活動など	健康づくり	趣味・娯楽	相続・資産・運用	学校教育・幼稚園・保育園	その他	特になし	回答なし	回答者数
25	24	12	7	1	4	14	10	5	0	1	4	10	43
58.1%	55.8%	27.9%	16.3%	2.3%	9.3%	32.6%	23.3%	11.6%	0.0%	2.3%	9.3%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

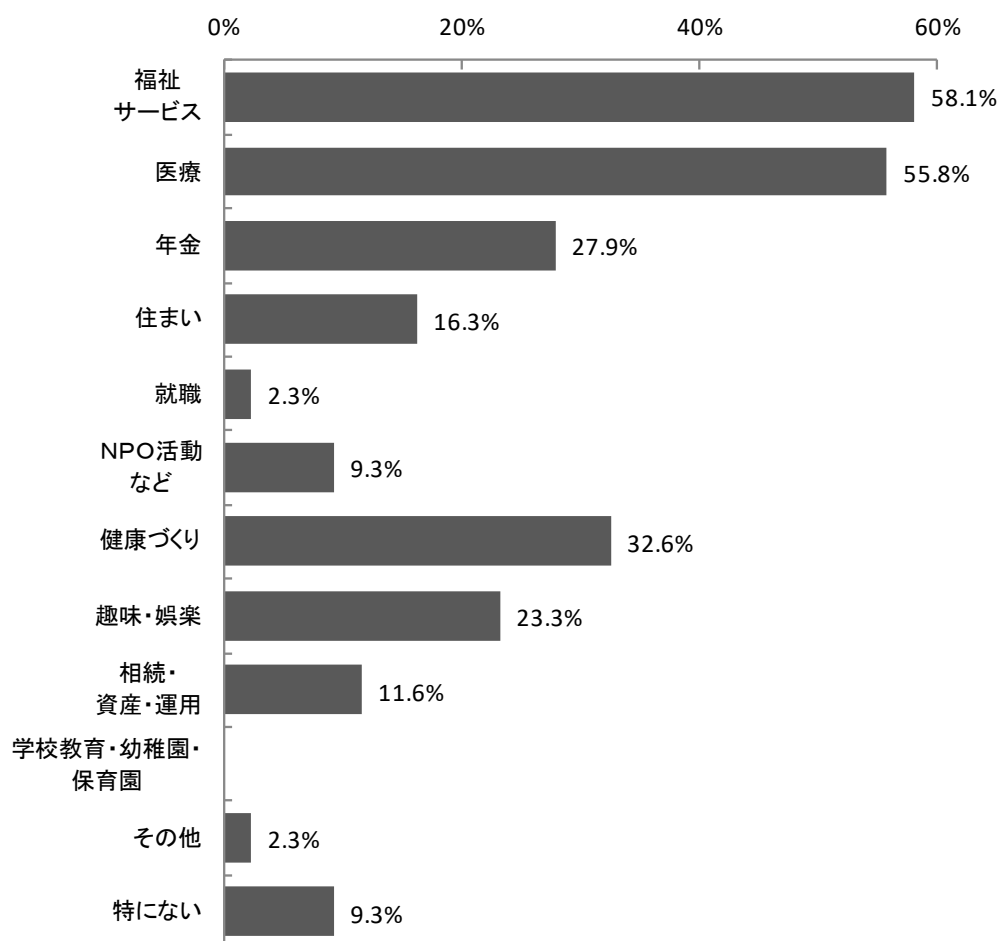


図 3-13 必要な情報について

○具体的に知りたいことの主な内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・ 65 歳以降の福祉と介護
- ・ 介護サービスで出来ること。
- ・ 医療便利グッズなど最先端。
- ・ SJS の最近の治療法
- ・ SJS 専門医の各地の詳細情報

⑧-1 今必要な情報についての情報取得元（複数回答）

○今必要としている情報について、どこから情報を得るかをたずねた結果は、表3-14及び図3-14のとおりである（複数回答）。

□「インターネット・情報サイト」が57.1%、「テレビ」、「家族・友人」がそれぞれ51.4%、「ラジオ」が42.9%となっている

□その他としては「医療従事者」、「患者会」などをあげている

表3-14 必要な情報についての情報取得元

新聞	テレビ	ラジオ	一般図書	雑誌	録音・点字図書	自治体広報	インターネット・情報サイト	家族・友人	その他	回答なし	回答者数
6	18	15	2	2	9	11	20	18	2	18	35
17.1%	51.4%	42.9%	5.7%	5.7%	25.7%	31.4%	57.1%	51.4%	5.7%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

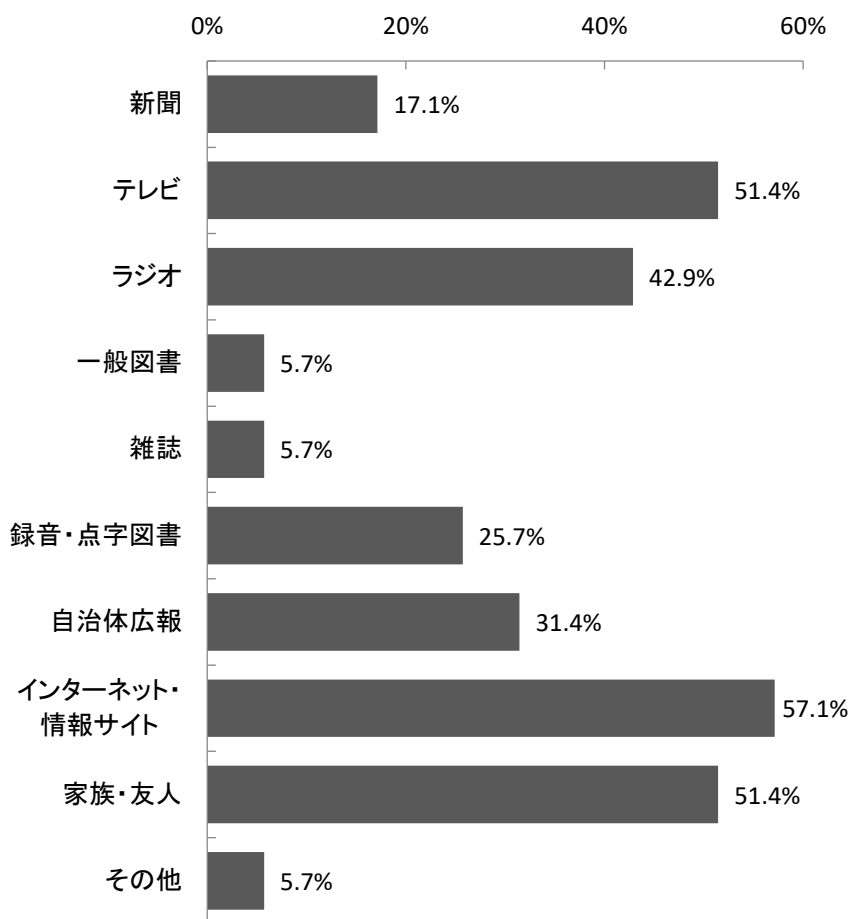


図3-14 必要な情報についての情報取得元

○本調査への意見（自由記載、順不同、複数記載）

◇調査内容

- ・毎回同じ質問のくり返しなので、前回と異なる内容についてのみ記載する様にして欲しい
- ・⑤-5呼吸器領域～の設問で「ない」場合の選択肢も設けて頂くとわかりやすいかと思います。
- ・同じような質問ですので簡略してほしい。

◇調査方法

- ・本人が視力障害の1級ですので点字の調査用紙がございましたら、確認しながらチェックをする事ができると思うのです。よろしくお願い致します。
- ・インターネットによる報告書提出
- ・記入している私も視力障害でよく見えないので負担です 夫婦とも重度視覚障害ですが人間関係に恵まれ全て自分次第と思っています
- ・用紙を小さくして欲しい
- ・回答で「必要がない」の場合、回答欄に「必要がない」と印刷がされていると○をつけるなど、簡単でよいなと思います。

◇その他

- ・目の不自由な方がどんな工夫をして生活しているか参考になれば知りたい。
- ・継続してほしい

### Ⅲ む す び



## むすび

本報告書は、平成17年度に実施した医薬品の副作用による健康被害実態調査の結果を踏まえ、障害者のための一般施策では必ずしも支援が十分でないと考えられる重篤かつ希少な健康被害者のQOLの向上策及び必要なサービス提供のあり方等を検討するための資料を得るため、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間に健康被害を受けられた方々の日常生活の様々な取り組み状況等を調査集計したものです。

日常生活の具体的な工夫事例等については、国際生活機能分類に基づいたライフサイクル（生活環境）ごとにとりまとめています。

今回を含め、19回に亘り調査を実施してきたところですが、本報告書では、医薬品の副作用による健康被害を受けられた調査研究対象者の方々における、日常生活の様々な工夫の実態が明らかとなっております。

その一方で、スティーヴンス・ジョンソン症候群（SJS）の方には、視機能障害に対するケアが、ライ症候群の方には、四肢機能改善、拘縮予防目的のリハビリのほか、全介助を必要とする場合は、介助を行うご家族の高齢化も懸念されており、患者家族の肉体的、精神的負担に対する医療的な介入が必要となっている状況が視えます。

これらの健康被害を受けられた調査研究対象者及び介助を行うご家族のQOL向上の実現のためには、日常生活における工夫だけではなく、更なる医療的な介入、肉体系・精神面でのケアも必要です。

今後もさらに、実態を把握するために、現在の調査項目については、継続して調査を実施することとしております。



## IV 參考資料



■ A 票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「2 現在、受けている①②以外の福祉サービス」

内 容	性別	年代
玄関に手すりをつける。	女	70代
特になし	女	80代
月一度の見守り	女	70代
同行支援を希望しています 一人暮らしなので不安です 新しい病院など1人では行けません 月一度の見守り	女	70代
某区市町村緊急介護人制度	女	80代
音訳サービス・某都道府県障害者福祉会館における視覚障害者文字サービス（代読・代筆・PC入力も含む）・地元社会福祉協議会からの有償ボランティアサポートによる屋内片付け（週一回）・国民健康保険制度による訪問看護（毎週一回ずつの健康管理、2週間毎のアレルギー皮下注射サポート）・訪問薬剤管理（週一回の分包管理サポート））・在宅訪問によるPCサポート>	男	50代
どれも受けていない。	男	80代
サピエ	女	70代
特になし	女	50代
なし	女	60代
同行援護のガイドヘルパー	女	60代
某市福祉特別乗車券	女	50代
利用していない	女	60代
福祉サービスは受けていない	女	60代
福祉医療費受給、特定医療費（指定難病）受給	女	60代
某歯科大学某総合病院にて4月16日に全盲となり44日間入院後退院 現在事後処理として現在も通院中です。介護保険1をもらいましたが、現在まだ一度も使用しておりません。体調が快復すれば、使用させていただきます。	男	80代
盲養護老人ホームでの契約入所	男	80代
特に利用なし	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ A票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「3 障害者総合支援法に基づく福祉サービスで①～④以外のサービス名」

内 容	性別	年代
同行援護	女	80代
演奏会	女	80代
サービス名：居宅介護 家事援助、生活支援、代読・代筆	女	50代
家事援助	男	50代
サービス名：居宅介護 通院等介助（身体なし）・通院のための送迎・付添い	男	70代
・家事支援（買い物、掃除、調理）・朗読CD貸し出し 宅配弁当	女	80代
デイジー図書	女	80代
1.居宅支援 家事援助・印刷物やスマホなどの画面操作・読み書き 2.計画相談支援 3ヶ月に一度ずつのモニタリング 上記の同行援護や居宅支援などの福祉サービスの利用状況聞き取り。	男	50代
家事 援助	女	60代
なし	女	60代
サービス名：居宅支援 家事援助 買物 粗大ゴミ出し	女	50代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ A 票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「4 介護保険制度に基づく福祉サービスで①～⑩以外のサービス名」

内 容	性別	年代
重度支援	男	20代
移動支援・ヘルパー同行	男	30代
某小児療育病院入所	男	40代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「②-2 外出するうえで工夫したこと」

内 容	性別	年代
動きやすく、安定感のあるくつをはく	女	70代
手荷物は軽く	女	70代
白線ライン歩く	女	70代
グーグルマップ、ストリートビューの活用	男	50代
特になし	女	50代
人の多い所などでは車イスを利用	女	70代
新しいくるまです、製作時に日よけとファンを背中に作った。	男	20代
車イスの全介助の子供ですが、ヘルパーさんの負担をへらす為に紙オムツのパッドを二重にし、取りやすいようにしている（移乗しなくてもよいように）	男	20代
特になし。	女	40代
人出の少ない時間帯に行く	男	30代
特になし	男	60代
盲導犬の貸与を受けている。	女	80代
特にありません	女	50代
特になし	女	70代
マスク、アルコール	女	70代
雨の場合傘をさせないのでレインコートを着る。	女	60代
歩きやすい靴を使用する	男	80代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

### ■B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

#### 男女別・年代別の「③－2 社会参加・社会活動等のきっかけ」

(1. 家族、親類 2. 友人、知人等 3. 患者団体、同好会等 4. 情報誌や広告等 5. テレビ、ラジオ 6. インターネット 7. 自発的な活動 8. その他(相手不明の誘い含む))

区分	内 容	性別	年代
1	家族の一人が運動するきっかけで一緒に運動する事になった。	女	40代
1	子供からの誘い	女	80代
2	友にすすめられて参加	女	40代
2	友人との飲み会にさそわれた	男	50代
2	家族で旅行	女	50代
2	友人に誘われて	女	60代
2	知人の紹介、自身の興味があったこと。	男	60代
2	友人と二人で初めての四国遍路の旅を経験してみたが、お互いに障害を持ちながらなので、お互いに非常に誘導や身の回りのサポート面で凄く苦勞をした。	男	50代
2	友人のさそい	女	60代
2	友人のすすめによる	女	60代
2	入所施設内の知人が通っていたため。	男	80代
3	生花教室	女	50代
3	視覚障害者福祉協会等からの情報提供	女	50代
7	自分自身の体のため体を動かす事が必要と思い少し中高年の体操に行った	女	80代
7	趣味、スポーツ	女	80代
7	1年半程前からフラダンスを習う。市外で発表会に参加、今年、10月末に沖縄へ。	女	40代
7	運動不足で他のところが悪くなるのでスポーツ教室に入会	女	40代
7	気分転換の為	男	60代
7	興味のあるスポーツイベントが始まったため	男	60代
7	見聞を広めたり、健康維持のため	男	60代
7	定年退職を機に、時間的余裕が出来、意欲も出て来たため	男	60代
7	買い物等	男	50代
7	運動不足	女	50代
7	ダイエット	女	50代
7	健康づくりのため	男	80代
7	入院で低下した体力・脚力の強化のため	男	80代
7	生活要求の実現、人生を充実させるため	男	70代
8	夏休み	男	50代
8	旅行にさそった。	男	50代
8	健常者と同じようでありたい。	女	80代
8	PC	男	50代
8	ずっと参加しているから。	女	50代

区分	内 容	性別	年代
8	好きなアーティストがコンサートを開催したので参加した。	女	60代
8	誘いを受け、一緒に楽しめる方がいたから。	女	60代
1,2	友人との旅行、妻の還暦祝い	男	60代
1,2,3	患者会の集まり、昔ながらの友人知人、子供達のさそい。	男	70代
2,3	友人のグループの紹介（障がい者）	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

## ■B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「④-2 屋内での生活における工夫」

内 容	性別	年代
部屋は日中でも明るくする 電気を付けて置く 部屋の中の戸もなるべく開けて置く	女	80代
世の中が物そうなので窓等に格子鉄ゴウシ等を取り付けました。	女	80代
部屋と廊下等を通る時に瞬かんに明りがつく様に取り付けている、3ヶ所 外のガレージにもつけている	女	80代
なし	男	30代
採光・照明の調節	女	50代
危険な物は、必ず定位位置に置く（例えば包丁・ハサミ）	女	40代
今迄工夫してきましたが他にもあれば教えてほしいです。	女	40代
今のところは特になし	男	20代
バリアフリーや、リフト（屋外・屋内）もすべて設置しました。	男	20代
身の回りに必要な物を置き移動しなくていいようにしている	男	30代
本人の好む物をまわりに置いて楽しめるようにする	男	30代
特になし	男	60代
毎時00分に、音声時計で時刻を知らせるようにする。	男	60代
特にありません。	女	50代
特になし	女	70代
室内の動線に手すりを設置した。	女	70代
・なるべくドアを開けておいて通るのに障害にならない様気をつけている。	女	80代
・室内動線を考えた家具等の配置・郵便物などの置き場所を一定にして、点字シールを貼る	男	60代
・食器などの整理整頓をしやすい棚の配置 ・扉はすべて開けておく	女	70代
新たにIH圧力式炊飯器やドラム式洗濯機、スティック掃除機などを購入する時には極力視覚に頼らなくても使用できるような凸ボタン式操作可能な製品を選ぶようにしている。訪問薬剤師がきた時に冷蔵庫のドアに予め朝昼晩や頓服用の内服薬それぞれのポケットを用意してもらい、訪問する毎に1週間で内服する常用薬をそれぞれの回ポケットにわけておいてもらえれば、自分でも各一回分の薬の小袋に入れてある物のみを内服すればよくとても簡便。	男	50代
床に点字ばんをはった。	男	80代
（凹凸シール使用）全盲なため手の触る感覚で自分の私物が、わかるよう工夫。	男	50代
スリッパの色を目立つようにしている	女	60代
特にありません。	女	60代
方向が分かる様に室内のライトを片方だけ点ける。	女	60代
透明ガラス食器は、使用后、すぐに片付ける。	女	50代
必要なもの一式を目立つかごに入れて、常に手元に置いている	女	50代
ベッド上部に置いた薬などを入れた小物入れが触って落下しないように、両面テープで台に留めた。	男	80代
整理整頓	女	60代
・各部屋、廊下の灯りを明るくつけておく	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

## ■ B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑤-7 視力以外の状況」

内 容	性別	年代
皮フのかゆみ（アレルギー）	女	70代
爪がないため指先に力が入らない。食道が細くなったので、食べ物を飲み込むのに つまる時がある（むせる事もある）	男	60代
今年の2月乳ガンの手術をしました。治療として特になく年レイ82才という事も あり先が心配です	女	80代
不安は大です 一人暮らしなので心細いです 心から感謝致します	女	70代
体力のおとろえ感じます 感謝致します	女	70代
なし	男	30代
腔癒着（萎縮） 尿道口の癒着 排泄痛（肛門粘膜の炎症） 骨密度の減少（皮膚 におけるビタミンD生成機能の低下も考えられるとのこと）	女	50代
血糖値を下げる薬を飲むようになった。	女	40代
特になし	男	60代
首肩の痛み ひどい頭痛。	女	50代
・すぐに疲れてしまう。・起きていると、めまいがする。	女	50代
全身の関節が痛む。すぐに疲れてしまう。化学物質過敏症がひどい。	女	50代
ひざに水が溜まり、痛みがなかなか治らない	女	80代
脳梗塞の後遺症に右側が不自由	女	70代
見えない為、手で確認しながら移動する為、バネ指（両手指）となり痛みがある。	女	80代
鼻の粘膜が弱い（鼻炎）	男	60代
年令と共に体の自由がきかなくなり、おなかの筋肉やすべての筋肉が落ちた為ト イレ事情がかなり大変になり、本人も外出はしたくなくなっています。長時間（30 分以上）はすわっているのも、大変です。	女	80代
体力がなくなっているのです、ほぼ毎日、寝ている状態です	女	80代
腰痛・座骨神経痛（整形外科でのリハビリ治療中）	男	50代
両腰下肢痛（座骨神経痛）・両膝痛（各リハビリ治療中）	男	50代
だ液が出ないので物を食べる時にかならず水分が必要。	男	80代
ゆ着がひどくて眼が開いてない。さかまつげがひどく眼科に通院する事がたいへ んです。何十長かけても薬害のうごきがあり、明るさもわからなくなっている。う ごく事が大変で手さぐり状態になっている。	男	80代
・てんかん 花粉症 ・片頭痛	男	50代
てんかん、片頭痛、不整脈	男	50代
頻尿	女	70代
圧迫骨折	女	70代
顔にかゆみをともなう発赤が4年以上続いており治療しても良くなっても再発し 同じ症状がくりかえす、原因をつきとめてもらえない。	女	60代
緑内障、感染症	女	50代
角膜穿孔	女	50代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑥-1 主たる介助者の健康状態 詳細」

(1. たいへん良好 2. まあ良好 3. やや悪い 4. たいへん悪い)

区分	内 容	性別	年代
1	問題がないから	女	70代
1	協力者、理解者がいるから	男	50代
2	スポーツをしている。	男	70代
2	皆に助けてもらうから	女	70代
2	出来ることは本人にやってもらう	女	70代
2	特別大きな問題ないから。	女	70代
2	健康のためよく食べることです	女	80代
2	私（被害者）令和3年から羊膜移植、硝子体の手術、次にコメットと3年も続いて某大に入院し、又今年乳ガンのため入院し、その度、つきそって来て来ています。その都度家族を犠牲にして私に付いて来て来て有がたく思っています。	女	80代
2	持病はありますが、今のところ大きな病ではないので。	女	80代
2	ストレッチ他、●=健康に注意している（食事面も）	女	40代
2	特に介護する必要がないため	男	70代
2	昨年アレルギーがセキや下痢、頭痛などの症状が続いていて調子をくずす事が多くなり悩んでいました。6月に入り小麦食品をやめたところ、少しずつ症状も治まり、今まで苦しんでいた不調はグルテンが原因とわかりました。心も少しずつ前向きに整えていけたらと思っています。	男	30代
2	睡眠・運動・食事に気をつけている。	女	40代
2	体調管理に気をつけている	女	70代
2	介護が負担にはなっていないが、将来自分が病気になったらどうしたらいいか不安になる事もある。	男	60代
2	ヘルパーさんに食事介助・入浴などたのめるところはたのんでいる	男	20代
2	年齢重ねて、動きが限られて来た	男	30代
2	疲労感はあるものの、どうにか健康です。	男	30代
2	寝込むことはなかった。	女	20代
2	高齢の為の機能劣化はあるが実生活の大きな障害はないので。	女	80代
2	特に不調はない	女	80代
2	食事、運動に気をつけている。	女	70代
2	特別変化ないため	女	80代
2	日々充実しているから	女	50代
2	ストレスがないから。	女	50代
2	仕事のストレスはありますが、その他は健康です。	女	50代
2	転職しました。	女	50代
2	特に問題なし	女	50代
2	顕微鏡的多発血管炎を患っているため。	女	60代
2	通院、服薬をしているが、体調が急変しなかったため。	女	60代
3	インフルエンザにかかった。	男	70代

区分	内 容	性別	年代
3	自分の事でたいへんで頼まれた事ができない事がある	男	60代
3	自分の体調があまりよくないため	男	60代
3	天候（暑い）の為、体がおもう様に動かせない。	女	40代
3	8月にコロナにかかり、その後調子が悪い日が続き、通院（耳鼻科と内科）しました。また暑さが続いて体にはきびしかったです。	男	30代
3	寒さが続き昔痛めた腰が悪くなり、コルセットを装着して生活しています。	男	30代
3	4月に手術を受けた後、体調が不安定	男	50代
3	気温に体がついていけない	女	70代
3	体力がない。	女	40代
3	父が心臓病で3ヶ月入院した。	女	40代
3	風邪が悪化し、気管支炎になり咳、微熱が続いた。（約2週間）	女	80代
3	全盲なので生活上全てに声かけが必要なため ストレスによる体調不良。	男	70代
3	風邪による体調不良	男	60代
3	常に介護が必要なため	女	70代
3	自身も障害がある	男	50代
3	仕事、子育て、家事、介護 すべてこなす日々の為	男	50代
3	この3カ月間入院する事が多かった	男	50代
3	心身の疲労困ばい	男	50代
4	目 足 腰悪くて医者通い	男	70代
4	入院して手術をした。その後、安静期間が必要だった	男	50代
4	仕事上のイライラに加え、介助があるとつかれる	男	50代
4	介護疲れ	女	50代
4	足の調子が悪く、夕方になると、体調がすぐれない	女	80代
4	腎臓に病気がみつき、本人（配偶者）自身が大変なので	女	80代
4	元からの病気と、自家に行く時間が長くなった為	女	80代
4	常に介護が必要なため	女	70代
4	常に介助介護が必要なため。	男	80代
4	介護者自身の障害の悪化	男	50代
4	視覚障害の悪化	男	50代
4	介助者も目が悪い	女	60代
未回答	常に介護が必要なため。夜中に何度も起きるようになった。	男	80代
未回答	協力者がいてくれるおかげです。	男	50代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑦-1 介護をしていく中で、困ったこと」

(1.増えた、2.減った、3.変わらない、4.困ったことはない)

区分	内 容	性別	年代
1	お互い年をとり、今までできていた事ができなかつたり、できにくくなるため	男	60代
1	●鏡力、スマホでの扱い	女	80代
1	今回は本人が自分の子供のためにいそがしく（私）本人が報告しています。	女	80代
1	一人でくらししているため、犯罪などの心配が大きくなりました。視力の感覚も悪くなってきたように見える。高齢のため火の心配も大きい。	女	80代
1	視力の低下	女	80代
1	入院中、介助をたのめる人がいなかった。サービスも断わられた	男	50代
1	少し依存されるようになった。	男	50代
1	目がはなせず 1人にしておくのが不安	女	70代
1	6-1に同じ（体力がない。）	女	40代
1	母が一人で介護できないので11月～2月の間本人を入院させた。	女	40代
1	自分の体力の衰えを感じます。	男	30代
1	歳を重ねる毎に、自分自身の事も大変になるので、今後は心配	男	30代
1	物の置場が決まった所に戻せない。リモコンが使いづらくなった	女	80代
1	自分の時間がもてない事	女	70代
1	身体の動きに改善が見られない。	女	70代
1	本人が言う事をきいてくれない	女	80代
1	トイレ事情	女	80代
1	急な用事の際、すぐ代わりの介護者が見つからなかった	女	70代
1	日常生活すべてに介助が必要になった。	男	80代
1	配偶者の状態が良くない。	男	80代
1	耳が悪くなっている。家の中でも手さぐり状態	男	80代
1	障害の悪化	男	50代
1	自身の障害の悪化により出来る事が減り、経済的にも物価高騰等とても不安である 余裕が体力、精神的にもない	男	50代
1	物価高もあり、食料品の制限のある健康被害者の食事を考えるのは難しい（添加物をさけると、どうしても安価なものは難しい）	男	50代
1	全盲になりサポートする事が増えた。	男	50代
1	目とは別の病で入退院くり返しており、心身共に疲労困ばい	男	50代
1	介助者も見えづらくなってきたため	女	60代
3	急な病院の同行に連れていく人がいないことがある。	女	70代
3	薬を飲む事にこわがっていた、がその先の事を考えて飲む事を決断した。	女	40代
3	体重がなかなかへらない	男	20代
3	腰痛。	女	80代
3	風邪をひいて2人とも発熱した時。	女	80代

区分	内 容	性別	年代
3	医療費が高い。	女	50代
3	現状維持をしている。	女	70代
3	介護でいそがしい	女	70代
3	1人暮らしのため、急変があった時。	女	80代
3	家事の負担 急用の際 介護者を見つけられないことがある	女	50代
3	妻の外出に同行するため、仕事の調整に困ることがある。	女	50代
3	家の中が片付かない	女	50代
3	外出先でトイレに付きそえない	女	50代
3	人ごみでの誘導、段差の確認、伝達。	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑦-4 介護をしていく中で困ったことを解決した方法」

内 容	性別	年代
身内で連れて行ける人を探した。	女	70代
医師が無理押ししなかった。時間をかけた。	女	40代
公的な介護制度を利用	女	70代
無事退院出来た。	女	40代
話す事で楽になる	男	30代
適当な運動、投薬で腰痛改善。	女	80代
介護している夫が体調を崩した際 子供の嫁たちが時々来宅し家事を分担。	女	80代
愚痴を聞いてもらった。意見を言ってもらった。	男	70代
支援内容の見直しをしてもらった	女	80代
支援センターへ相談した	女	80代
公的介護制度（支援）の利用	男	60代
身内の者に頼んだり、公的な介護制度を利用した	女	70代
今後、支援が受けられる様、支援センターと打ち合せを行う。	女	60代
指定同行援護、通院の支援	女	60代
家事は子供たちと分担、同行援護の回数を増やした。	女	50代
身障者認定をうけた。	女	60代
家族で助け合えるところは助けることによって。	女	60代
身内の者に頼んだ。	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑦-5 介護をしていく中で困ったことを解決するための方法」

内 容	性別	年代
誰かを頼るしかない。	女	70代
たのむ事ができる時はよかったです	男	60代
待つ事が多くなり、がまんする事が多くなり、少しあきらめるしかないかもしれない	男	60代
もっと細かな手助けをすとか。	女	80代
わかりません	女	80代
再度支援サービスを申込み必要があるが、本人が介助者をアテにしすぎるようになっている為、難しい	男	50代
介助しやすいアイテムがほしい	男	50代
わからない	男	50代
体重がふえてきて、みなのかつぐ負担がふえてきている。食事を調整し、現状維持はもてているが減ってはいない。（介助用リフトの購入を検討している）	男	20代
特に最近生活は変わっていない	男	20代
なかなか解決しにくい。	男	20代
解らない。	女	40代
根本的な解決はできないが話せる人が居るとありがたい	男	30代
視力がもどれば全て解決します。	男	70代
よくわかりません。	女	50代
本人の意向を満たす事は難しい	女	80代
方法がわからない	女	70代
短期入所など	女	70代
体力を維持して、回復を待つ	女	70代
子供と同居	女	70代
本人との話がかみ合わないので	女	80代
わかりません	女	80代
健康被害者の視力回復、及び体調の安定で介護者の負担が減る。経済的にも不安	男	50代
がんばるしかない！！！！	男	50代
病が回復するのを祈るのみ	男	50代
今の生活に慣れる、強くなる。	男	50代
わからない	女	60代
テレワークの回数を増やすとか	女	50代
お金を使って業者に依頼する	女	50代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

### ■B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑧-1 主たる介護者を支えるようなもの」

(1. 家族 2. 知人・友人 3. ヘルパー・ボランティア 4. 患者会 5. 公的な機関・制度 6. 趣味・外出など 7. その他)

区分	内 容	性別	年代
1	家族のサポート相談	女	70代
1	本人のきょうだい達がつれだしてめんどうをみってくれる	男	60代
1	義母が笑わせてくれるようになった	男	60代
1	家族	男	70代
1	孫の成長と体力維持。	女	70代
1	娘、孫が、間にはいって話す。	女	80代
1	子供などが手助けしてくれています。主人も私のかわりに実家に行ってくれています。	女	80代
1	家族の支えが一番	男	50代
1,2	友人がさそってくれたり、母と2人でライブをみに行くついでに地方に行っておいしいものをたべて、良い時間です。	女	50代
1,2,5	公的制度、友人、家族などの応援	女	70代
2	友人達と食事・旅行	女	70代
2	友達との食事会	男	60代
2	友人達と旅行に行った。	女	40代
2	体調悪くした時、知人が助けてくれた	男	30代
2	友人	女	20代
2	友人と会うこと	女	70代
2	友人	男	60代
2	友人、知人	男	50代
2	友人との会話など	男	50代
2	友人との飲み会。	女	50代
2	友人、知人	男	50代
2,5	介護保険の活用、知人・友人との交流	女	80代
3	ホームヘルパーさんやデイサービスの職員さんなど	男	20代
3	ヘルパー支援	女	80代
4	障害者同士の家族の会など	男	30代
4	患者の会で病院や介護施設の情報交換をした	女	70代
5	公的制度	女	70代
5	ケアマネージャーの配慮でデイサービス等介護保険の活用が増えたので、配偶者の負担が少し減ってきた。	女	80代
5	同行支援など公的制度	男	60代
5	社会福祉法人・障がい者相談支援センターの説明を聞く。	女	60代
6	趣味	女	40代
6	散歩、一人でいる時間を持つこと	男	50代
6	趣味	女	50代

区分	内 容	性別	年代
6	推し（某アイドル）	女	50代
7	相談相手	女	80代
7	病院の対応（すぐ入院手続きをした。）	女	40代
7	特に必要なし	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑨-2 介護者の社会参加・社会活動等のきっかけ」

(1. 家族 2. 知人・友人等 3. 患者団体、同好会等 4. 情報誌や広告等 5. テレビ、ラジオ 6. インターネット 7. 自発的な活動 8. その他(相手不明、未区分の誘い含む))

区分	内 容	性別	年代
1	本人と親が健康に過ごす為運動を続けている	女	40代
1	子供が予定をつけて、さそってくれた	男	70代
1	家族で旅行	女	50代
1	母と共通の趣味があるから。	女	50代
2	友人からのおさそい	女	40代
2	友人の誘い	女	80代
2	友人からのさそい。	女	50代
6	ネット等で調べた。	女	60代
7	ずっと行っているスポーツ	女	70代
7	気分転換	女	80代
7	趣味	女	80代
7	(以前より続けている)旬のものをみたり、食したりしたいから。	女	40代
7	体が動けるうちにいろいろやっておかなければといつも思っている	女	40代
7	チケットがとれた	女	70代
7	ストレス発散	男	60代
7	積極的に外に出て人と交る機会を増し、心身の老化を防ぎたい。	女	80代
7	健康のため	女	70代
7	体力維持のため	女	70代
7	ストレス解消	女	70代
7	散歩、買い物	男	50代
7	好きだから。	女	50代
7	ダイエット	女	50代
7	趣味(コンサート)	女	60代
7	旅行	女	60代
8	誘われたから	女	70代
8	夏休み	男	50代
8	一緒に旅行に行った	男	50代
8	距離をおかないと精神衛生に良くないと思ったから。	女	70代
8	還暦の祝い	男	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

### ■B票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑩-1 介護をしていく中で、新しい発見や気分転換などがはかれたこと」

(1. コンサートや映画等の観賞やスポーツ観戦 2. 旅行、外出 3. 趣味 4. 患者団体等の活動 5. 地域活動 6. その他)

区分	内 容	性別	年代
1,2	推しているグループ(某アイドル)のアリーナツアーがはじまったので、全国をとびまわり、旅行をすることで気分転換になっています。	女	50代
2	外出（病院の帰りなど）おいしい店を見つけ食事に行く	女	70代
2	友達にランチをさそわれて、でかけて、おしゃべりしたため	男	60代
2	気分転換→プチ旅	女	40代
2	外に出て行く事で色々な人に出会える。	女	40代
2	旅行、食事会など又おしゃべり	女	40代
2	桜をみながらの散歩	女	40代
2	旅行に行くことができた。	女	20代
2	旅行	女	80代
2	友人との会食や散歩など	女	70代
2	日々の生活の中での楽しいでき事 人と話す	男	60代
2	散歩で公園を通る時に、季節ごとの草花を見て季節を感じられることが、気分転換になっている	女	70代
2	散歩など	男	50代
2	健康被害者と外出できた事	男	50代
2	あそびに出ているとき。	女	50代
2	母とのみにいくとき。	女	50代
2	夫婦で一泊二日の小旅行に行ったが、白杖を持つ妻にまわりが思った以上にやさしかった。	女	50代
2,3	趣味の会、旅行等、友人たちとの交流で気分転換はかれる。	女	80代
6	家の庭の花につぼみができて花が増えて咲くとうれしい。	男	60代
6	一人になってホッとした	男	50代
6	今の生活が出来ている事が感謝です。	女	40代
6	気分転換になった。	女	70代
6	一時的に介護を忘れられた。	女	70代
6	同じ生活でも安定してると助かる	男	30代
6	ショートステイ利用時に外出したこと	女	20代
6	友人、親族とのおしゃべり。	女	80代
6	全て完璧な介護をしなくてとは思っていたが、手を抜いても良いんだと思える様になり、気持ちが楽になった。	男	70代
6	季節のうつろい。	女	70代
6	気が晴れる気がする。	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ C票 (1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査) からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「②-1 通院時に注意している点」

内 容	性別	年代
自家用車利用	男	60代
盲導犬	女	40代
母親と一緒に自家用車、公共交通を利用している。	女	40代
通院時の家族の同行	男	60代
雇人に送迎をお願いしています	男	50代
盲導犬と同行。	女	60代
盲導犬同伴	女	50代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「②-2 治療を受けるときに注意している点」

内 容	性別	年代
自分自身の判断で受診時に別の市民検診や検査時にわたされた結果報告書なども提示してみる事もある。	男	50代
服薬時のアレルギーの有無について	男	50代
特にありません。	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「②-3 治療を受けるときに困ったこと」

内 容	性別	年代
話しをして理解してくれて許可をしてくれる所に通院する	男	60代
弱い薬しか出してくれない。	女	80代
薬剤の使用が難しいために、治療だけでなく、より詳しい検査が受けられない 必要最小限の処方になることが多く、痛み等、我慢しなければならない	女	50代
※体質もあるのかもしれない	男	50代
治療薬がないこと。	女	70代
SJSである事を伝えたら受診を断られた。	男	50代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「②-4 その他注意している点」

内 容	性別	年代
なし	男	30代
特になし	男	20代
特になし	女	70代
受診時に禁忌薬の情報を伝えるようにしている。	男	50代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

## ■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「③－1 過去にあった困ったこと」

（1. 外出に関すること 2. 仕事に関すること 3. 日常生活に関すること 4. その他）

区分	内 容	性別	年代
1	買い物や散歩などで外出する際に、介助者が必要なこと	女	70代
1	人身事故で列車のダイヤが乱れ、乗りかえが困難だった	女	50代
1,3	1. 症状が進行し外出時に持参する視覚補助器の種類が増えた。2. サインが自筆できなくなった。3. 酸素を使用で喀痰の排出に体力を消耗し、通常の食事では体力が回復しない。	男	70代
3	MRSA に感染した ゆ着がひどくなり医療用コンタクトが入りづらくなった	女	70代
3	腰の圧迫骨折 花粉症 左肩腱断裂 左親指、人差指のマヒ の症状があり困った。	女	70代
3	昨秋に母が脳出血を患い、介護が必要になった そのため、母が担当していた家事に加え、介護の負担が増えることになった 福祉サービスなど、利用できるものはお願いしているが、毎日が自転車操業である 慢性の睡眠不足で、布団に寝ないこともでてきた 手の使いすぎで。弾発指を発症しこの4月に手術を受けた	女	50代
3	さらに見えにくくなったので室内の移動に支障がある。ゴミ出しが出来なくなった。	女	60代
3	インターネットが使えないので、見えないので、様々なチケットが購入できない。飲食店のオーダーが、タブレット端末が多いので、困惑する。	女	60代
3,4	地元の消化器内科クリニックで胆石の疑いがあると言われ、以前に虫垂炎で手術してもらった経験のある病院で腹部の精密検査をしてもらい、特別薬の処方になかったのしばらく様子を見ていた。が、その後、右腹部付近の鈍痛や違和感症状が時々あり、そのような際にすぐに受診すべき医療機関の選択が適当でなかったらしく、医師から叱責を受けた入所施設で日頃 30 数年生活しているが、一向に生活の質の向上が見られずにいるので、これまで利用してきている外出支援ヘルパー派遣事業所以外の複数の事業所契約利用するニーズを感じて地元市役所障害福祉課担当ワーカーに相談した時に「彼は現在の施設入所でしか対応できるような障害程度の人でないから、可哀想でも他の選択肢がない人なので諦めてください！」とまるで専門職の業エィ指導を抛棄するのが適当であるかのような説明をして、端から家族の相談趣旨を親身になって聞こうという姿勢でなかった。弟本人の希望は現在の施設生活から一刻も早く支援変更を望んでいるが、重度の知的障害や自閉症症状があり周囲からの代理判断に頼るしか方法がないのにも関わらず、現在の施設生活を長年にわたり我慢させており、ストレスによる自傷行為や他害行為、痼疾症状が強いため人での極端に不足している施設生活に見切りをつけられないか検討し出している最中。	男	50代
3	弱視から全盲になり、日常生活の行動全般が困難になった。	男	80代

区分	内 容	性別	年代
4	私が動く事が時間がかかるため	男	60代
4	視力の低下	女	80代
4	体調の悪化	男	50代
4	外国人が増えた為、ぶつかって白杖をおられてしまった。お金は払ってもらえたが、駅員さんがいなかったら、説明できなかったかもしれない(ポケットークを使ってくれた)	男	50代
4	体力が落ち、動けなくなっている	女	70代
4	体重が減らない…。。(本人の)	男	20代
4	チック症状が悪化	男	30代
4	介護人の主人が、寝こんだ時。	女	80代
4	医療費が生活をひっ迫している。	女	50代
4	全く見えにくく、ひとつひとつが難しい	女	80代
4	現状維持できている。	女	70代
4	自分の思っている通りにしか、してくれない	女	80代
4	特に経済的。	男	50代
4	専門医受診に行くのに経費が上昇していること、同行者のいらい	女	70代
4	ADLの低下	男	50代
4	視力低下による影響	女	50代
4	介助者が増えること	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「③－4 解決策（解決した方）」

（1. 心身機能 2. 身体構造 3. 活動 4. 参加 5. 環境因子 6. その他）

区分	内 容	性別	年代
4	デイサービスで、動きをくりかえし練習してもらっている	女	70代
5	生活の工夫、医療措置	女	50代
5	視覚障害に特化した盲養護老人ホームへ契約入所した。	男	80代
6	息子の妻が来訪し、サポートしてくれた。	女	80代
6	息子がすべて航空機、ホテルのチケットを手配した。	女	60代
6	周りのいろいろな人にたずねた	女	50代
6	福祉サービス	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

## ■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「③－5 解決策（解決していない方）」

（1. 心身機能 2. 身体構造 3. 活動 4. 参加 5. 環境因子 6. その他）

区分	内 容	性別	年代
1	わかりませんが治療中です まぶたのゆ着は手術という方法がありますが局所麻酔（眼ぐすり）はアレルギーを起して使用できずどうにもならなくなった時は全身麻酔で手術と言われています。	女	70代
1	健康被害者の体力、視力の回復	男	50代
1	高齢になってから全盲になると、感覚や記憶力も低下しているため、動線を覚えたりが難しくなり、解決自体が難しい。	男	80代
1,5	自分自身の体調管理については、日頃の食生活にこれまで以上に十二分に気をつけて生活するようにして行くしかないと思う。弟の将来に向けての生活支援環境整備については、地元地域において昔からの信頼の置きそうな知的障害者生活・外出支援ヘルパー派遣事業所や現在の施設職員、担当成年後見人、行政、地域の障害者相談員などと連携し綿密な支援計画をじっくりと建てて進めて行く事が肝要かと思う。	男	50代
3	運動がもう少しできたらよいが、車イスの全介護なのでなかなかむずかしい	男	20代
5	それぞれの病院へ通院するしかないと思う	女	70代
5,6	1. および 2. については健康被害者に対する理解と支持が組織化された形で向上すれば希望が持てる 3. については医学の進歩が重要であろう。	男	70代
6	わかりません	女	80代
6	今のところ、これ以上の解決策はない	女	50代
6	これは外的要因が大きいのので解決するのが難しいと思う	男	50代
6	病状に関しては話しても仕方ない	男	30代
6	よくわかりません。	女	50代
6	全てが満足することはない	女	80代
6	不明	女	70代
6	なし	女	80代
6	法が変わらないとムリ	女	70代
6	できない	男	50代
6	兄弟等をお願いする	女	60代
6	わからない	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

## ■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「④－1 満足度の理由」

（1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満）

区分	内 容	性別	年代
1	充実しています	男	50代
1	精神的充実感、経済的安定	男	60代
1	推し（某アイドルグループ）と家族がいるから	女	50代
2	自宅で過ごせるから	女	70代
2	思うように動けないから	女	70代
2	健康で生活出来ている。時々旅行に出かける事もできる。	女	40代
2	外出以外、家の中での生活は慣れてきて何とか一人でやっていけるので。	男	60代
2	ヘルパーさんたちがいて、日常生活を助けてくれる	男	20代
2	大きく体調を崩すことなく過せた	女	20代
2	不自由はありながらも安定した生活が送れています。	男	50代
2	病状や症状の大きな変化もなく、日常生活を送ることが出来ているから。	男	60代
2	健康状態もほぼ良好で、趣味の活動や旅行なども楽しむことが出来た。	女	80代
2	特変ないため	女	80代
2	自立して生活できているので、ありがたいです。	女	60代
2	理解者、協力者に恵まれたから	男	50代
2	行きたい所にも同行援護で行けてるし、食べたい物も食べてる。	女	60代
2	気持ちのもち方。	女	60代
2	盲養護老人ホームへ入所して、日常生活のサポートをしてもらっているため。安全に生活できる。	男	80代
2	家族や親しい友人は病気の事を知っているんで手を貸してもらえらるがパート先では病気の事を話せないでいるため「やや満足」	女	60代
3	なかなか母を見てあげられてない	女	80代
3	日常生活が制限され、思い通り活動できないため。	男	50代
3	物価高で物（食品）の購入も気をつかう。あまり外出もできなくなった。	男	50代
3	地元の福祉センター内で地域住民のためのボランティアマッサージの活動リーダーを担当してきたが、ケアレスミスがあまりにも多く、周囲から叱責や注意を受ける事が多く体調を崩し長期離脱し、仲間に迷惑をかけてしまったので。	男	50代
3	全てがまんするということでしょうか	女	70代
3	外出が困難な為 運動量が少なく、体重が増加	女	50代
3	SJS が知られない事が第1の要因	男	70代
4	でかける事が少なくなったため	男	60代
4	睡眠不足と自分の体調 自分の時間がほとんどない	女	50代
4	自分で思うように生活できない。	男	70代
4	目の痛みで、生活が困難	女	50代

区分	内 容	性別	年代
4	改善が見られない。	女	70代
4	介護につかれている	女	80代
4	体調が全く安定せず、無理なしでは生活できない	男	50代
4	健康的に過ごせなかった	男	50代
4	視覚障害により達成できないことが多い	女	50代
4	とりわけ良いと思わない	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑤ 日常生活を満足するために一番やりたいこと」

内 容	性別	年代
運動	女	70代
魚つり	男	60代
仕事	女	80代
規則正しい生活 家事以外の時間が欲しい	女	50代
旅行	女	50代
自分の時間がほしい、体をゆっくりやすめたい	女	80代
ふつうに生活がしたい。コンビニ、スーパー、病院、食堂、) タッチパネル	女	70代
某アイドルグループのライブ	女	50代
健康づくり	男	80代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

## ■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑤-2 一番やりたいことを実現できるかどうか」

（1. 出来ると思う 2. やや出来ると思う 3. あまり出来ないと思う 4. 出来ないと思う）

区分	内 容	性別	年代
1	介助の者がつれていくから	男	50代
1	心身ともに健康である事。	女	40代
1	計画をして行動する	女	80代
1	とりあえずトライしてみる	女	60代
1	コンサートに当選しました。	女	50代
1	日々努力しているからです。	女	60代
1	視覚障害者を対象としたものがある	女	50代
1	周囲に理解者があり、やりたいことの手助けをしてくれたり、同行してくれたりするので	女	60代
2	つれてくれる人の都合があえばできると思う	男	60代
2	外出支援のヘルパーさんも長いつきあいでよくわかってもらえるから	男	20代
2	体調が落ちついているから	女	20代
2	ガイドヘルパーの利用範囲が広がり、日帰り旅行にも行けるようになった。	男	60代
2	今の健康状態が保てると期待しているので。	女	80代
2	家族旅行だけでなく、最近では、仕事をリタイヤした友人、知人が旅行にさそってくれるので。	男	70代
2	夫が介助してくれる。	女	50代
2	ある程度の時間の余裕あるため	女	80代
2	事前におおよその年間における旅行計画を立てておき、事前に現地情報やサポート依頼のための現地支援団体や自治体に相談し、その実現のための実費支払いのニーズがあったとしてもおおよそ支払い能力が現在のところはあるので。	男	50代
2	時間があり同行者がいる	女	60代
2	子供が介助してくれそう	女	60代
2	配偶者が助けてくれるから	女	50代
2	ウォーキングやデイサービスに通ってがんばっている。	男	80代
3	脳梗塞の副作用があること。	女	70代
3	体調が整わない	男	50代
3	ADL 障害	男	50代
3	SJS が社会と本人にまだ明確に理解されていない	男	70代
4	痛みがあるから	女	70代
4	解決策が見つからないから	女	50代
4	外出がむずかしくなってきた	女	70代
4	介護をやめる事が出来ない	女	80代
4	世の中の仕組みだから	女	70代
未回答	・一人では、予定がたてられないから。（介助が必要！！）	女	40代

区分	内 容	性別	年代
未回答	実施済（実現）	男	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

## ■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑦ 必要な福祉サービスなどについてご意見、ご要望」

（1. 介護サービス（介助者関係） 2. 制度の充実 3. 施設面 4. その他）

区分	内 容	性別	年代
1	定期的な声かけ、話し相手 相談事を聞いてくださると助かります。	女	80代
1	障害者の介護サービスを厚くしてほしい。	女	70代
1	・福祉サービスについてとても助かっているが、書類が多く手続きが大変。	女	80代
1	相談支援従事者と話し合いができ、今後のたすけになると思う。	女	60代
2	自治体によって、受けられるサービスが異なる 福祉用具の補助（パソコンソフト、周辺機器など）また、介護タクシーについては、私の住む地域では視覚障がい者は利用できない どこに住んでいても同じサービスが受けられるようにならないのだろうか 金融機関（公的機関など）において、書類の代筆またATMの操作（タッチパネルの操作）の代行をしてもらえなくなった。その都度、ヘルパーを同行するのは現実的に難しい。代筆、代行についてはセキュリティーの心配があるのだろうが、複数人で確認をしてもらえば良いのではないか。介護区分の認定について、調査項目が視覚障がい者に適当なのか疑問。ヘルパーの不足により、希望する支援が受けづらい	女	50代
2	同行援護のサービス範囲を、より拡大して頂き、利用しやすくなると生活面での向上が図れると思います。	男	60代
2	緊急に必要なになったガイド（例えば家族が不都合になった時）が手配、利用出来るシステムが欲しい。	女	80代
2	福祉サービスと言っても費用が発生するので今後、が心配である。医薬品医療機構さんで助成して頂けると助かります。	男	70代
2	同行支援の範囲の拡大	男	60代
2	地元の公共図書館内で自分持ち込みによる早急に代読・代筆・PC入力も含んだ常時の専門職員サービスの毎日の設置・予算化。弟のように現在入所施設での生活中的利用者においても必要と思われる在宅サービス制度については併用して公費で利用して外出支援ヘルパー派遣や地域内で活動している障害者作業所への通所サポート体制に向けても本人自身の日頃のQOLの向上に向けて誠心誠意公費利用できるように行政考慮をしっかりと検討してほしい。	男	50代
2	ガイドヘルプなどは、業務中でのサポートも出来るように、してもらいたい。	男	50代
2	日常生活用具の耐用年数をなくして欲しい。	女	60代
2	申し込みに必要書類が多い。障害者に対しての認知度が低い。	女	60代
2	日常生活用具給付の貸与年数の短縮が必要	男	70代
3	サビエのダウンロードができなくなるので困っている	女	70代
3	役所等での手続きに必要な書類作成のネット等による電子手続き対応	女	50代
4	なし	男	30代

区分	内 容	性別	年代
4	現在はとりたててない	男	50代
4	福祉全体、人手不足です。やめる方も多い。	男	30代
4	よくわかりません。	女	50代
4	特に思いつかない	女	80代
4	わからない	女	80代
4	バスがなくなってこまっています。	女	50代
4	今は特にはない。	男	80代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑧ 必要な情報について 具体的内容」

（1. 医療・福祉サービス 2. 年金 3. 趣味・娯楽 4. 住環境 5. 社会活動・就職 6. 経済面 7. その他）

区分	内 容	性別	年代
1	福祉サービスはあっても 人材確保ができていない	男	30代
1	65歳以降の福祉と介護	男	60代
1	介護サービスで出来ること。	女	70代
1	医療便利グッズなど最先端。	女	40代
1	SJSの最近の治療法	女	50代
1	治療に関する情報が知りたい	女	70代
1	SJS専門医の各地の詳細情報	男	70代
7	なし	女	80代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

## ■ C票（1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査）からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑨ 本調査の改善等に向けたご意見」

（1. 調査内容 2. 調査方法 3. その他）

区分	内 容	性別	年代
1	毎回同じ質問のくり返しなので、前回と異なる内容についてのみ記載する様にして欲しい	女	70代
1	※「この3ヶ月間で…」以前と同じ解答の場合困る（答えに）	女	40代
1	⑤-5呼吸器領域～の設問で「ない」場合の選択肢も設けて頂くとわかりやすいかと思います。	男	60代
1	同じような質問ですので簡略してほしい。	女	60代
2	本人が視力障害の1級ですので点字の調査用紙がございましたら、確認しながらチェックをする事ができると思うのです。よろしくお願い致します。	男	30代
2	インターネットによる報告書提出	女	70代
2	本調査のメール版のアンケート内容で、各項目番号が付いていない箇所がある事もあるので、その辺りについても事前にチェックしていただけてから送信していただければ大変ありがたい。本調査の報告集配布の際は、ワードなどのPC読み上げしやすいデータ化での配布方法についても検討していただき、希望があれば、その方法で配布してもらいたい。	男	50代
2	記入している私も視力障害でよく見えないので負担です 夫婦とも重度視覚障害ですが人間関係に恵まれ全て自分次第と思っています	男	50代
2	インターネットでも解答できるようになったらうれしいです。	女	50代
2	ネット上でアンケート回答できるようご検討頂けますでしょうか。メール本文でのアンケート回答には、以下の課題があります。①アンケート依頼メールからのアンケート部分のみコピー時に文字化けや、フォントサイズのバラツキ発生②アンケート回答メール作成時のスマホでの文字拡大機能の不便さ（ネット上ではピンチイン、ピンチアウトが可能な場合が多く、文字拡大による入力が至便）	女	50代
2	インターネット上で出来るようにして欲しい	女	50代
2	用紙を小さくして欲しい	女	60代
2	本調査書の記入がスムーズに行なえるよう改善するために、綴じ方をバインダー式（コイル式）にすると、めくった時に反発せず安定して記入が容易に行なえる。	男	70代
2	回答で「必要がない」の場合、回答欄に「必要がない」と印刷がされていると○をつけるなど、簡単でよいなと思います。	女	60代
3	目の不自由な方がどんな工夫をして生活しているか参考になれば知りたい。	女	40代
3	特にありません。	女	50代
3	継続してほしい	男	50代
3	特にありません。	女	60代

注) 内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

## V 用語の解説



## 【用語の解説】

### 1 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

#### 概要

医薬品医療機器総合機構は、平成 13 年に閣議決定された特殊法人等整理合理化計画を受けて、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センターと医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構および財団法人医療機器センターの一部の業務を統合し、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づき平成 16 年 4 月 1 日に設立された。

当機構は、医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健康被害に対して、迅速な救済を図り（健康被害救済）、医薬品や医療機器等の品質、有効性および安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し（承認審査）、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う（安全対策）ことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的としている。

名 称：独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

Pharmaceuticals and Medical Devices Agency (PMDA)

設 立：平成 16 年 4 月 1 日

法人の種別：中期目標管理法人

### 2 医薬品副作用被害救済制度

創設：昭和 55 年 5 月 1 日

医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用により入院治療が必要な程度の疾病や障害等の健康被害を受けた方に対して各種の副作用救済給付を行い、被害者の迅速な救済を図ることを目的とし、医薬品医療機器総合機構法に基づく公的制度として設けられた。

救済給付に必要な費用は、医薬品の製造販売業者がその社会的責任に基づいて納付する拠出金が原資となっている。

### 3 保健福祉事業

保健福祉事業は、昭和 54 年 10 月に医薬品副作用被害救済基金（現医薬品医療機器総合機構）が設立される際、救済制度の目的が医薬品の副作用による健康被害の迅速な救済を図ることにあり、この目的の達成には、健康被害者について救済給付の支給以外に保健福祉事業を行う必要のある場合が考えられることから法制化された。

当初、事業内容としては、医薬品の副作用による健康被害の治療研究等が考えられていた。

具体的には、救済給付を行った死亡、障害等重篤の事例等について、早期診断、治療等に関する研究を行うことにより、救済給付の受給者及び今後発生する健康被害者の治療に役立てること。

根拠 独立行政法人医薬品医療機器総合機構法（平成14年12月20日 法律第192号）

第三条 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下「機構」という。）は、医薬品の副作用又は生物由来製品を介した感染等による健康被害の迅速な救済を図り、並びに医薬品等の品質、有効性及び安全性の向上に資する審査等の業務を行い、もって国民保健の向上に資することを目的とする。

第四条～第十四条 略

第十五条 機構は、第三条の目的を達成するため、次の業務を行う。

一 医薬品の副作用による健康被害の救済に関する次に掲げる業務

イ 医薬品の副作用による疾病、障害又は死亡につき、医療費、医療手当、障害年金、障害児養育年金、遺族年金、遺族一時金及び葬祭料の給付（以下「副作用救済給付」という。）を行うこと。

ロ 次条第一項第一号及び第二号に掲げる給付の支給を受ける者並びに同項第三号に掲げる給付の支給を受ける者に養育される同号に規定する十八歳未満の者について保健福祉事業を行うこと。

ハ～ニ 略

二～五 略

2 略

#### 4 ライ症候群【英字】（Reye's syndrome）

インフルエンザや水ぼうそう等のウイルス性疾患にかかった小児に、アスピリン等のサリチル酸系を投与すると、その後嘔吐、意識障害、けいれん等の急性症状を起こす。予後は悪く死亡率は高い。

#### 5 SJS（スティーブンス・ジョンソン症候群【英字】（Stevens-Johnson syndrome））

皮膚粘膜眼症候群。皮膚粘膜等に発生する高熱性、炎症性の疾患。全身倦怠、食欲不振につづき結膜炎、口内炎、外陰部の炎症を伴う。気管支炎をおこすこともある。原因は不明であるが薬物、ウイルス等が考えられる。

#### 6 QOL（生活の質）【英字】（quality of life）

一般に生活を物質的や技術的で量的側面からではなく、内容としての質的側面から捉え、生活者自身の満足感、幸福感、安心感、安定感等の諸要因のことをいう。医療、福祉、政策、環境等の広い分野で使われ、ADL、IADL、労働問題、情報保障、自己選択、自己決定、自己実現、障害や差別の改善等がある。生活環境を整え、健康で文化的な生活の向上を目指して、価値観も含む。

7 ADL【英字】（activities of daily living）

日常生活動作の事。人間が毎日の生活を送るための基本的動作の事。

8 IADL【英字】（instrumental activities of daily living）

手段的日常生活動作の事。ADLが食事、入浴、排泄等の日常的の基本動作であるのに対し、IADLは電話の使い方、買い物、食事の支援、家事、洗濯、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理の八項目で構成されておりADLで使用する動作を応用した動作が必要な活動を指す。

9 訪問介護（ホームヘルプ）

高齢者、障害者、難病患者等を対象に、家庭等にホームヘルパーを派遣し、入浴、排せつ、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事や生活等に関する相談、助言等日常生活上の世話をを行うサービス。巡回型と滞在型がある。

10 訪問入浴介護

介護保険の給付対象となる居宅サービスの1つで、在宅の要介護者等の居宅を訪問して行われる入浴の介護のことを指す。

11 訪問看護

居宅で介護を受ける要介護者・要支援者に、看護師、准看護師、保健師、理学療法士、作業療法士等が訪問して、必要な診療の補助を行うことを指す。

12 訪問リハビリテーション

要介護者等の居宅において、心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法、作業療法、その他必要なりハビリテーションを指す。

13 居宅療養管理指導

医師、歯科医師、薬剤師等が利用者宅を訪問し、療養上の管理や指導を行う介護保険の居宅サービスのひとつ。

14 通所介護（デイサービス）

在宅の高齢者等に施設に通ってもらい、生活指導・機能訓練・食事・入浴・健康チェック等のさまざまなサービスを日帰りで提供するサービス。

15 通所リハビリテーション（デイケア）

精神症状や問題行動が激しい痴呆性老人を対象とするデイケアで、生活機能の回復への訓練や指導、家族に対する介護指導を行う。

#### 1 6 短期入所（ショートステイ）

居宅で暮らす要介護者について、介護を行う者の疾病その他の理由により、老人短期入所施設、特別養護老人ホーム、障害者支援施設等の福祉施設に短期間入所させ入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話および機能訓練を行うことである。

#### 1 7 移送サービス

交通機関の利用が難しい高齢者や障害者を対象に、運転・介助等を行う送迎サービス。

#### 1 8 同行援護

障害者自立支援法の地域生活支援事業において、視覚障害者が外出する際、その障害者に同行し、移動に必要な情報の提供や移動の援護等を行うこと。

#### 1 9 就労移行支援

就労を希望する 65 歳未満の障害者に対して、生産活動、職場体験その他の活動の機会の提供、その他の就職に必要な知識及び能力の向上の為に必要な訓練、求職活動に関する支援、その適性に応じた職場の開拓、就職後における職場への定着の為に必要な相談、その他の必要な支援を行うこと。

#### 2 0 就労継続支援 A 型

障害により通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して行う雇用契約の締結等による就労の機会の提供および生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援事業のこと。

#### 2 1 就労継続支援 B 型

障害により通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援事業のこと。

## VI 保健福祉事業の一環として実施する調査研究報告書(生活状況調査票)



※記入しないでください。

保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書  
(SJS 等用)

第4・四半期分 (令和7年1月~令和7年3月)

調査票記入者氏名	本人との関係
----------	--------

提出方法

この保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書は、切り離さず基本情報及びA票(毎月記入用)とB票(四半期ごと記入用)とC票(年1回3月末記入用)と併せて4月1日から4月10日の間に返送願います。

問い合わせ先 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

健康被害救済部企画管理課

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2

TEL:03-3506-9460

FAX:03-3506-9439

## 記入例

### 1. 健康被害者情報

基本情報

(ふりがな) **きこう たろう**  
 氏 名 **機構 太郎** 性別  男  女

生年月日  大正  昭和  平成 **30**年**00**月**00**日

自 宅 住 所  
 (〒**100-0013**)  
**東京都千代田区霞が関0-00-0**

[電話 番号 (00) 0000-0000 ]

[FAX 番号 (00) 0000-0000 ]

### 2. 家族構成

同居家族全員を記入してください。

月末日現在

副作用被害者本人との続柄をお答え下さい。	年 齢	主に介護をしている方に○を付けてください。
(記入例) 母	(記入例) 60	(記入例) <input checked="" type="checkbox"/> 主に介護をしている
<b>父</b>	<b>65</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 主に介護をしている
		<input type="checkbox"/> 主に介護をしている
		<input type="checkbox"/> 主に介護をしている
		<input type="checkbox"/> 主に介護をしている
		<input type="checkbox"/> 主に介護をしている
		<input type="checkbox"/> 主に介護をしている

### 3. 障害の種類・程度

**視 力 障 害**

**1** 級

級

1. 健康被害者情報

基本情報

(ふりがな)

氏名 \_\_\_\_\_ 性別 男 女

生年月日 大正 \_\_\_\_\_ 年 月 日  
昭和 \_\_\_\_\_  
平成 \_\_\_\_\_

自宅住所  
(〒 \_\_\_\_\_ )

[電話番号 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ ]  
[FAX番号 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ ]

2. 家族構成

同居家族全員を記入してください。

3月末日現在

副作用被害者本人との続柄をお答え下さい。	年 齢	主に介護をしている方に○を付けてください。
(記入例) 母	(記入例) 60	(記入例) <input checked="" type="checkbox"/> 主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている

3. 障害の種類・程度

\_\_\_\_\_ 級  
\_\_\_\_\_ 級

## 記入例

A票

(SJS等用)

### 生活状況調査票

毎月記入

月末日現在

答えられる範囲でお答え下さい。

(1. 点眼液の利用状況)

現在使用している点眼液はどれですか。

- |                     |                                     |                                     |          |      |    |
|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------|------|----|
| ① ソフトサンティア          | <input checked="" type="radio"/> 右眼 | <input checked="" type="radio"/> 左眼 | ② クラビット  | 右眼   | 左眼 |
| ③ ヒアレイン             | 右眼                                  | 左眼                                  | ④ フルメトロン | 右眼   | 左眼 |
| ⑤ 0.1%ヒアレインミニ       | 右眼                                  | 左眼                                  | ⑥ リンデロン  | 右眼   | 左眼 |
| ⑦ 0.3%ヒアレインミニ       | 右眼                                  | 左眼                                  | ⑧ 血清点眼   | 右眼   | 左眼 |
| ⑨ その他眼科処方薬 (内服薬を含む) |                                     |                                     |          | ) 右眼 | 左眼 |
| (処方薬                |                                     |                                     |          | ) 右眼 | 左眼 |
| (処方薬                |                                     |                                     |          |      |    |
| ⑩ 涙点プラグ             | <input checked="" type="radio"/> 右眼 | 左眼                                  |          |      |    |

(2. 福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。

現在、受けている福祉サービスはどれですか。あてはまるものに○を付けて下さい。

(複数回答可)

- ① 障害者総合支援法に基づく福祉サービス  
→ (3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス) へ
- ② 介護保険制度に基づく福祉サービス  
→ (4. 介護保険制度に基づく福祉サービス) へ
- ③ 上記①, ②以外の福祉サービス

具体的にお書き下さい:

・遠距離の眼科に通う時の宿泊施設の利用 (ボランティア運営)

A票

(S J S 等用)

# 生活状況調査票

毎月記入

3月末日現在

答えられる範囲でお答え下さい。

## (1. 点眼液の利用状況)

現在使用している点眼液はどれですか。

- |                     |    |    |          |    |    |
|---------------------|----|----|----------|----|----|
| ① ソフトサンティア          | 右眼 | 左眼 | ② クラビット  | 右眼 | 左眼 |
| ③ ヒアレイン             | 右眼 | 左眼 | ④ フルメトロン | 右眼 | 左眼 |
| ⑤ 0.1%ヒアレインミニ       | 右眼 | 左眼 | ⑥ リンデロン  | 右眼 | 左眼 |
| ⑦ 0.3%ヒアレインミニ       | 右眼 | 左眼 | ⑧ 血清点眼   | 右眼 | 左眼 |
| ⑨ その他眼科処方薬 (内服薬を含む) |    |    |          |    |    |
| (処方薬                |    |    | ) 右眼     |    | 左眼 |
| (処方薬                |    |    | ) 右眼     |    | 左眼 |
| ⑩ 涙点プラグ             | 右眼 | 左眼 |          |    |    |

## (2. 福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。

現在、受けている福祉サービスはどれですか。あてはまるものに○を付けて下さい。

(複数回答可)

- ① 障害者総合支援法に基づく福祉サービス  
→ (3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス) へ
- ② 介護保険制度に基づく福祉サービス  
→ (4. 介護保険制度に基づく福祉サービス) へ
- ③ 上記①, ②以外の福祉サービス

具体的にお書き下さい：

## 記入例

### (3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。  
各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。

(複数回答可)

<p>① 同行援護 月に 0 日 (回)</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ (5)</p>
<p>受けているサービス内容</p>	<p>上記の理由 <b>必要がない</b></p>
<p>② 移動支援 0 回</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ (5)</p>
<p>受けているサービス内容</p>	<p>上記の理由 <b>必要がない</b></p>
<p>③ 就労継続支援 A型 0 回</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ (5)</p>
<p>受けているサービス内容</p>	<p>上記の理由 <b>必要がない</b></p>
<p>④ 就労継続支援 B型 0 回</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ (5)</p>
<p>受けているサービス内容</p>	<p>上記の理由 <b>必要がない</b></p>
<p>⑤ 上記以外のサービス 月に 0 回 (サービス名: )</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ (5)</p>
<p>受けているサービス内容</p>	<p>上記の理由 <b>必要がない</b></p>

次頁へ続く

(3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。

各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。

(複数回答可)

① 同行援護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
② 移動支援 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
③ 就労継続支援A型 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
④ 就労継続支援B型 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
⑤ 上記以外のサービス 月に 回 (サービス名: )	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
	上記の理由

次頁へ続く↓

## 記入例

### (4. 介護保険制度に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。  
各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。  
(複数回答可)

① 訪問介護 月に <b>0</b> 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ <b>⑤</b>
介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 ( )	上記の理由  <b>必要がない</b>
② 訪問入浴介護 月に <b>0</b> 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ <b>⑤</b>
	上記の理由  <b>必要がない</b>
③ 訪問看護 月に <b>0</b> 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ <b>⑤</b>
看護内容	上記の理由  <b>必要がない</b>
④ 訪問リハビリ 月に <b>0</b> 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ <b>⑤</b>
リハビリ内容	上記の理由  <b>施設のリハビリに通っている</b>
⑤ 居宅療養管理指導 月に <b>0</b> 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ <b>⑤</b>
指導内容	上記の理由  <b>必要がない</b>

次頁へ続く↓

(4. 介護保険制度に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。

各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。

(複数回答可)

① 訪問介護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 ( )	上記の理由
② 訪問入浴介護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
	上記の理由
③ 訪問看護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
看護内容	上記の理由
④ 訪問リハビリ 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由
⑤ 居宅療養管理指導 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
指導内容	上記の理由

次頁へ続く↓

## 記入例

⑥ 通所介護 月に <b>8</b> 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
介護内容  <b>入浴 食事介助</b>	上記の理由  <b>職員が親切である</b>
⑦ 通所リハビリ 月に <b>8</b> 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
リハビリ内容  <b>運動機能を訓練</b>	上記の理由  <b>効果が現れない</b>
⑧ 短期入所 月に <b>0</b> 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (ショートステイ) 3. その他 ( )	上記の理由  <b>必要がない</b>
⑨ 送迎サービス 月に <b>8</b> 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容  <b>施設への送迎</b>	上記の理由  <b>月に利用できる回数を増やしてほしい</b>
⑩ 上記以外の福祉サービス 月に <b>0</b> 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容：	上記の理由  <b>どのようなサービスがあるかわからない</b>

⑥ 通所介護 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
介護内容	上記の理由
⑦ 通所リハビリ 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由
⑧ 短期入所 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (ショートステイ) 3. その他 ( )	上記の理由
⑨ 送迎サービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容	上記の理由
⑩ 上記以外の福祉サービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容：	上記の理由

## 記入例

答えられる範囲でお答えください。

### (5. SJS 専門医への診察回数の状況)

現在、月に何回 S J S 専門医の診察のために通院していますか。

※さかさまつげやドライアイについても診察の必要があると思われませんが

それらは除いて、SJS 専門医に受診した回数を回答ください。

- ① 月に2回以上
- ② 月に1回程度
- ③ 2ヶ月に1回程度
- ④ 3ヶ月に1回程度
- ⑤ 半年に1回程度
- ⑥ 1年に1回程度
- ⑦ その他 (                      回程度)
- ⑧ 行けていない。

### (6. SJS 専門医への通院に係る交通費の状況)

S J S 専門医の診察で通院される際の1回往復交通費であてはまるものに○を付けて下さい。

※さかさまつげやドライアイについても診察の必要があると思われませんが

それらは除いて、SJS 専門医に受診した回数を回答ください。

- ① 1,000 円未満
- ② 1,000 円～10,000 円
- ③ 10,000 円～30,000 円
- ④ 30,000 円～50,000 円
- ⑤ 50,000 円以上
- ⑥ その他 (                      円)

### (7. 入院有無の状況)

今月、S J S に係る治療にて入院をされましたか。

- ① はい
- ② いいえ
- ③ その他 (                      )

答えられる範囲でお答えください。

(5. SJS 専門医への診察回数の状況)

現在、月に何回 S J S 専門医の診察のために通院していますか。  
※さかさまつげやドライアイについても診察の必要があると思われませんが  
それらは除いて、SJS 専門医に受診した回数を回答ください。

- ① 月に 2 回以上
- ② 月に 1 回程度
- ③ 2 ヶ月に 1 回程度
- ④ 3 ヶ月に 1 回程度
- ⑤ 半年に 1 回程度
- ⑥ 1 年に 1 回程度
- ⑦ その他 (                      回程度)
- ⑧ 行っていない。

(6. SJS 専門医への通院に係る交通費の状況)

S J S 専門医の診察で通院される際の 1 回往復交通費であてはまるものに○を付けて下  
さい。  
※さかさまつげやドライアイについても診察の必要があると思われませんが  
それらは除いて、SJS 専門医に受診した回数を回答ください。

- ① 1,000 円未満
- ② 1,000 円～10,000 円
- ③ 10,000 円～30,000 円
- ④ 30,000 円～50,000 円
- ⑤ 50,000 円以上
- ⑥ その他 (                      円)

(7. 入院有無の状況)

今月、S J S に係る治療にて入院をされましたか。

- ① はい
- ② いいえ
- ③ その他 (                      )

記入例

(S J S等用)

**B票**

生活状況調査票

**4半期毎記入**

期	月～ 月分	令和 年 月末日現在
---	-------	------------

答えられる範囲でお答えください。  
(日常生活)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答え下さい。  
(いずれか1つに○を付けてください。)

① 健康被害を受けた本人  
 2. 本人の意向を聞いて介護者が記入  
 3. 本人の意向をくみとり介護者が記入  
 4. 介護者が回答

---

① 健康被害者が過去3ヶ月間に外出しましたか。(いずれか1つに○を付けて下さい。)

1. ほぼ毎日    2. 週に4から5回    3. 週に2から3回    ④. 月に2から3回  
 5. まったく外出していない

---

①-1 外出された方にお聞きします。  
 主に誰の介助を受けて外出しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)

1. 介助なし    2. 配偶者    3. 親    ④. 子供    5. その他の家族  
 6. 親戚    7. ホームヘルパー    8. 隣人・知人    9. 雇人  
 10. ボランティア    11. その他 ( )

---

② 外出するうえで、または、外出しようとするうえで、困ることや不満に思うことはありますか。

1. ない。  
 ②. ある。

---

②-1 上記②で「ある。」とお答えいただいた方にお聞きします。  
 困ること又は不満に思うことの具体的なものは何ですか。  
 (該当するもの全てに○を付けてください。)

1. 介助者がいない  
 ②. 経費がかかる  
 3. 人の目が気にかかる  
 ④. 人と話をすることが困難  
 5. 外出に必要な情報が得られない  
 ⑥. 電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便  
 7. 道路や駅などの公共の場所の利用が不便  
 8. 利用する建物の設備(階段、トイレ、エレベーター等)の利用が不便  
 ⑨. 人の混雑や車に身の危険を感じる  
 10. 駅などにおける人間関係のトラブル  
 11. その他 ( )

次頁へ続く↓

B票

## 生活状況調査票

4 半期毎記入

IV期	1月～3月分	令和7年3月末日現在
-----	--------	------------

答えられる範囲でお答えください。

(日常生活)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答え下さい。

(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

① 健康被害者が過去3ヶ月間に外出しましたか。(いずれか1つに○を付けて下さい。)

1. ほぼ毎日
2. 週に4から5回
3. 週に2から3回
4. 月に2から3回
5. まったく外出していない

①-1 外出された方にお聞きします。

主に誰の介助を受けて外出しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)

1. 介助なし
2. 配偶者
3. 親
4. 子供
5. その他の家族
6. 親戚
7. ホームヘルパー
8. 隣人・知人
9. 雇人
10. ボランティア
11. その他 ( )

② 外出するうえで、または、外出しようとするうえで、困ることや不満に思うことはありますか。

1. ない。
2. ある。

②-1 上記②で「ある。」とお答えいただいた方にお聞きします。

困ること又は不満に思うことの具体的なものは何ですか。

(該当するもの全てに○を付けてください。)

1. 介助者がいない
2. 経費がかかる
3. 人の目が気にかかる
4. 人と話をすることが困難
5. 外出に必要な情報が得られない
6. 電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便
7. 道路や駅などの公共の場所の利用が不便
8. 利用する建物の設備(階段、トイレ、エレベーター等)の利用が不便
9. 人の混雑や車に身の危険を感じる
10. 駅などにおける人間関係のトラブル
11. その他 ( )

次頁へ続く↓

## 記入例

<p>②-2 外出するうえで工夫したことは何ですか。(該当するもの全てに○を付けてください。)</p> <p>【外出前の準備について】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予め、交通機関(時刻や乗り換えなど)や経路について調べておく</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 2. 介助者を依頼する(同行支援・行動支援など)</li> <li>3. コースを事前に決めておく</li> <li>4. その他 ( )</li> </ol>
<p>【服装・持ち物について】(該当するもの全てに○を付けてください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 1. 目立つ服装をした</li> <li>2. 目の保護のためサングラス、帽子を着用した</li> <li>3. 白杖の使用</li> <li>4. 両手が使えるよう、リュックサックを使用した</li> <li>5. その他 ( )</li> </ol>
<p>【移動手段について】(該当するもの全てに○を付けてください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自家用車を利用(家族、友人・知人による送迎)</li> <li>2. 介護タクシーを利用</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 3. 公共交通機関を利用</li> <li>4. その他 ( )</li> </ol>
<p>【上記以外に外出するうえで何か工夫したことがありましたらお書きください。】</p>
<p>③ 健康被害者が過去3ヶ月間に余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)などをしましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 1. まったくしていない</li> <li>2. 参加(活動)した</li> </ol>
<p>③-1 まったくしていないとお答えになった方にお聞きます。 余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)をしなかった理由は何ですか。 (該当するもの1つに○を付けて下さい。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 1. 介助者がいなかった</li> <li>2. 時間的・経済的余裕がなかった</li> <li>3. 体力的に余裕がなかった</li> <li>4. その他 ( )</li> </ol>
<p>③-2 参加(活動)したとお答えになった方にお聞きます。 余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)をするきっかけについてお書きください。</p>
<p>③-3 参加(活動)した方にお聞きます。そればどのような内容でしたか。 (該当するもの全てに○を付けてください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学</li> <li>2. スポーツ教室、大会などへの参加</li> <li>3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動</li> <li>4. 趣味の同好会活動</li> <li>5. ボランティアなどの社会活動</li> <li>6. 障害者団体の活動</li> <li>7. 地域活動</li> <li>8. パソコンを利用した社会参加</li> <li>9. 友達との遊び</li> <li>10. その他 ( )</li> </ol>

次頁に続く↓

<p>② - 2 外出するうえで工夫したことは何ですか。（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <p>【外出前の準備について】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予め、交通機関（時刻や乗り換えなど）や経路について調べておく</li> <li>2. 介助者を依頼する（同行支援・行動支援など）</li> <li>3. コースを事前に決めておく</li> <li>4. その他（ )</li> </ol>
<p>【服装・持ち物について】（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目立つ服装をした</li> <li>2. 目の保護のためサングラス、帽子を着用した</li> <li>3. 白杖の使用</li> <li>4. 両手が使えるよう、リュックサックを使用した</li> <li>5. その他（ )</li> </ol>
<p>【移動手段について】（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自家用車を利用（家族、友人・知人による送迎）</li> <li>2. 介護タクシーを利用</li> <li>3. 公共交通機関を利用</li> <li>4. その他（ )</li> </ol>
<p>【上記以外に外出するうえで何か工夫したことがありましたらお書きください。】</p>
<p>③ 健康被害者が過去3ヶ月間に余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加（活動）などをしましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. まったくしていない</li> <li>2. 参加（活動）した</li> </ol>
<p>③ - 1 まったくしていないとお答えになった方にお聞きます。</p> <p>余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加（活動）をしなかった理由は何ですか。（該当するもの1つに○を付けて下さい。）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介助者がいなかった</li> <li>2. 時間的・経済的余裕がなかった</li> <li>3. 体力的に余裕がなかった</li> <li>4. その他（ )</li> </ol>
<p>③ - 2 参加（活動）したとお答えになった方にお聞きます。</p> <p>余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加（活動）をするきっかけについてお書きください。</p>
<p>③ - 3 参加（活動）した方にお聞きます。それほどのような内容でしたか。</p> <p>（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学</li> <li>2. スポーツ教室、大会などへの参加</li> <li>3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動</li> <li>4. 趣味の同好会活動</li> <li>5. ボランティアなどの社会活動</li> <li>6. 障害者団体の活動</li> <li>7. 地域活動</li> <li>8. パソコンを利用した社会参加</li> <li>9. 友達との遊び</li> <li>10. その他（ )</li> </ol>

次頁に続く↓





## 記入例

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。  
 (いずれか1つに○をつけてください。)

1. 健康被害を受けた人  
 2. 本人の意向を聞いて介護者が記入  
 ◎3. 本人の意向をくみとり介護者が記入  
 4. 介護者が回答

◎5. 日常生活についてお聞きします。  
 (各項目の過去3ヶ月間の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)

◎5-1 ものが見えにくいために、新聞や本を読むことはどのくらい不自由ですか。	まったく不自由はない ①.....②.....◎③.....④ あまり不自由はない とても不自由 見えにくいのでやめた
◎5-2 目や、目のまわりの痛みや不快感の程度はどのくらいですか。	まったくない ①.....◎②.....③.....④ かすかにある 中くらいある かなりある
◎5-3 ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがありますか。	ない ①.....◎②..... ある
◎5-4 物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがありますか。	ない ◎①.....◎②..... ある
◎5-5 呼吸器領域に関して、診断を受けていますか。 (該当するもの全てに○をつけてください。)	
1. 閉塞性細気管支炎 2. 気管支喘息 3. 肺気腫 ◎4. 気管支炎 5. その他 ( )	
◎5-6 呼吸器に関する症状はございますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)	
◎1. 咳、たん 2. 息切れ 3. 酸素の使用 4. その他 ( )	

次頁に続く↓

<p>◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。  (いずれか1つに○をつけてください。)</p> <p>1. 健康被害を受けた人  2. 本人の意向を聞いて介護者が記入  3. 本人の意向をくみとり介護者が記入  4. 介護者が回答</p>									
<p>⑤ 日常生活についてお聞きします。  (各項目の過去3ヶ月間の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)</p>									
<p>⑤-1 ものがみえにくいために、新聞や本を読むことはどのくらい不自由ですか。</p>	<table border="0"> <tr> <td>まったく不自由はない</td> <td>あまり不自由はない</td> <td>とても不自由</td> <td>見えにくいのでやめた</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> </table>	まったく不自由はない	あまり不自由はない	とても不自由	見えにくいのでやめた	①	②	③	④
まったく不自由はない	あまり不自由はない	とても不自由	見えにくいのでやめた						
①	②	③	④						
<p>⑤-2 目や、目のまわりの痛みや不快の程度はどのくらいですか。</p>	<table border="0"> <tr> <td>まったくない</td> <td>かすかにある</td> <td>中くらいある</td> <td>かなりある</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> </table>	まったくない	かすかにある	中くらいある	かなりある	①	②	③	④
まったくない	かすかにある	中くらいある	かなりある						
①	②	③	④						
<p>⑤-3 ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがありますか。</p>	<table border="0"> <tr> <td>ない</td> <td>ある</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>②</td> </tr> </table>	ない	ある	①	②				
ない	ある								
①	②								
<p>⑤-4 物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがありますか。</p>	<table border="0"> <tr> <td>ない</td> <td>ある</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>②</td> </tr> </table>	ない	ある	①	②				
ない	ある								
①	②								
<p>⑤-5 呼吸器領域に関して、診断を受けていますか。  (該当するもの全てに○をつけてください。)</p> <p>1. 閉塞性細気管支炎  2. 気管支喘息  3. 肺気腫  4. 気管支炎  5. その他 ( )</p>									
<p>⑤-6 呼吸器に関する症状はございますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)</p> <p>1. 咳、たん  2. 息切れ  3. 酸素の使用  4. その他 ( )</p>									

次頁に続く↓

## 記入例

⑤-7 視力・呼吸器以外の状況はございますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

**【皮膚や爪に関する症状】**

1. 皮膚のかゆみ、乾燥
2. 瘢痕が残る
- ③. 爪の変更、剥離
4. その他 ( )

**【内臓機能に関する症状】**

1. 高血圧
- ②. 粘膜不全(粘膜部分からの出血等)
3. 心肺機能の低下・異常
4. 肝機能の低下・異常
5. 腎機能の低下・異常
6. その他 ( )

**【聴覚に関する症状】**

- ①. 音声が聞き取りにくい(難聴)
2. その他 ( )

**【眼科領域(視力障害以外)に関する症状】**

- ①. さかさまつげ
2. ドライアイ(涙が出ないなど)
3. 角膜の炎症
4. その他 ( )

**【口腔に関する症状】**

1. 口内炎
2. 味覚障害
- ③. 口の中が乾く(乾きやすい)
4. その他 ( )

**【精神的な症状】**

1. 不安障害
- ②. 睡眠障害
3. うつ
4. その他 ( )

【視力以外の症状で上記に掲げたほかにごございましたら、お書きください。】

次頁へ続く↓

⑤-7 視力・呼吸器以外の状況はございますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

【皮膚や爪に関する症状】

1. 皮膚のかゆみ、乾燥
2. 瘢痕が残る
3. 爪の変形、剥離
4. その他 ( )

【内臓機能に関する症状】

1. 高血圧
2. 粘膜不全(粘膜部分からの出血等)
3. 心肺機能の低下・異常
4. 肝機能の低下・異常
5. 腎機能の低下・異常
6. その他 ( )

【聴覚に関する症状】

1. 音声が聞き取りにくい(難聴)
2. その他 ( )

【眼科領域(視力障害以外)に関する症状】

1. さかさまつげ
2. ドライアイ(涙が出ないなど)
3. 角膜の炎症
4. その他 ( )

【口腔に関する症状】

1. 口内炎
2. 味覚障害
3. 口の中が乾く(乾きやすい)
4. その他 ( )

【精神的な症状】

1. 不安障害
2. 睡眠障害
3. うつ
4. その他 ( )

【視力以外の症状で上記に掲げたほかにございましたら、お書きください。】

次頁へ続く↓









記入例

(SJS等用)

C票

生活状況調査票

年1回3月末記入

3月末日現在

答えられる範囲でお答えください。

(治療状況)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

- ① 健康被害を受けた本人
- 2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
- 4. 介護者が回答

① 健康被害を受けた方の治療状況 (SJS等、副作用による健康被害に関する治療についてお答え下さい。)

- ① 入院中 (いつから入院していますか: から)
- ② 通院中 (往診含む) (月に 2回)

② 副作用の疾患以外で治療を受けるときに注意していることはありますか。

②-1 通院時に注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。

- 1. 事前に交通機関(時刻や乗り換え)やルートを確認しておく
- ② 通院時にはヘルパー等に同行を依頼する。(一人では外出しない)
- 3. 家族などによる送迎(公共交通機関の利用を避ける) 4. 介護タクシーの利用
- 5. その他

具体的にお書きください:

②-2 治療を受けるときに注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。

- ① 既往歴(SJSであることなど)を告げる 2. お薬手帳を持参
- 3. 自らが受けている医療について分からないことは、医師、薬剤師、看護師などの医療スタッフに聞くようにしている
- ④ その他

具体的にお書きください:  
PMDAが発行しているカードを見せる

②-3 治療を受けるときに、何か困ったことはありましたか。

- ① SJSについて、医師が理解していない(又はSJSを知らない)
- 2. 薬剤の処方難しい、または万が一副作用が生じた際に処置ができないと言われた。
- 3. その他

具体的にお書きください:

次頁へ続く↓

C 票

# 生活状況調査票

年1回3月末記入

## 3 月 末 日 現 在

答えられる範囲でお答えください。

(治療状況)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

- 健康被害を受けた本人
- 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 本人の意向をくみとり介護者が記入
- 介護者が回答

① 健康被害を受けた方の治療状況 (SJS等、副作用による健康被害に関する治療についてお答え下さい。)	① 入院中 (いつから入院していますか：                      から) ② 通院中 (往診含む) (月に                      回)
② 副作用の疾患以外で治療を受けるときに注意していることはありますか。	
②-1 通院時に注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。	
<ol style="list-style-type: none"> <li>事前に交通機関(時刻や乗り換え)やルートを確認しておく</li> <li>通院時にはヘルパー等に同行を依頼する。(一人では外出しない)</li> <li>家族などによる送迎(公共交通機関の利用を避ける)</li> <li>介護タクシーの利用</li> <li>その他</li> </ol>	
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;">           具体的にお書きください：         </div>	
②-2 治療を受けるときに注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。	
<ol style="list-style-type: none"> <li>既往歴(SJSであることなど)を告げる</li> <li>お薬手帳を持参</li> <li>自らが受けている医療について分からないことは、医師、薬剤師、看護師などの医療スタッフに聞くようにしている</li> <li>その他</li> </ol>	
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;">           具体的にお書きください：         </div>	
②-3 治療を受けるときに、何か困ったことはありましたか。	
<ol style="list-style-type: none"> <li>SJSについて、医師が理解していない(又はSJSを知らない)</li> <li>薬剤の処方難しい、または万が一副作用が生じた際に処置ができないと言われた。</li> <li>その他</li> </ol>	
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;">           具体的にお書きください：         </div>	

次頁へ続く↓



②-4 その他注意している点がございましたら、お書き下さい。

(日常生活)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

③ この1年間で困ったことが、	1. 増えた	2. 減った
	3. 変わらない	4. 困ったことはない

③-1 困ったことがあった方にお聞きします。それはどんなことですか。

③-2 誰かに相談しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)(複数回答可)  
※選択肢1, 2, 3, 11を選択する場合は、カッコの中のアルファベットに○を付けてください。

1. 親 (a 父親 b 母親)
2. 配偶者 (a 夫 b 妻)
3. 子供 (a 息子 b 娘 c 娘の夫 d 息子の妻)
4. 兄弟姉妹
5. 祖父母
6. 友人・知人
7. 会社の上司・同僚
8. 学校の先生
9. 医師
10. 看護師・保健師
11. 公的機関の職員等 (a 身体障害者更生相談所 b 福祉事務所 c 市(区)役所 d 民生委員 e 身体障害者相談員)
12. 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の保健福祉相談窓口
13. 障害者の団体 (親、家族の会を含みます)
14. 障害者相談支援センター (相談支援事業者を含む) ※1
15. 地域包括支援センター※2
16. その他 ( )
17. 相談する人はいない

※1: 障害者相談支援センターとは、在宅や地域で生活する障害のある方やその家族のための相談窓口で、各市区町村に設置されている。

※2: 介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市区町村に設置されている。

次頁へ続く↓

## 記入例

③-3 解決策はありましたか。	①. 解決した    2. していない
③-4 解決したと答えた方にお聞きします。それはどのような方法で解決しましたか。 身内やヘルパーの方に同伴してもらうことで、解決できた。	
③-5 していないと答えた方にお聞きします。それは、どのような方法で解決できると思いますか。	
④ 過去1年間の日常生活の満足度を教えてください。（最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。）	満足    やや満足    やや不満    不満 ①.....②.....③.....④
④-1 その満足度の理由は何ですか。 外出する際、周囲に対して不安感や不便さを感じることもあるが、そのほかは特に不便を感じず過ごせたため	
⑤ 日常生活を満足するために、一番やりたいことは何ですか。最も良く当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。 1. コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦    2. 旅行・外出    ③. 趣味 4. 社会活動・団体活動（患者会の活動も含む） 5. その他 具体的にお書きください：	
⑤-1 実現できそうですか。（最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。）	出来る    やや出来る    あまり出来    出来ない と思う    と思う    ないと思う    と思う ①.....②.....③.....④
⑤-2 その理由は何ですか。 移動する際の交通機関利用時にサポートしてくれる友人などの気を許せる人が同伴してくれれば、実現できると思う	

次頁へ続く↓



## 記入例

⑥ 健康被害者が今後やってみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などについて、該当するもの全てに○を付けてください。（複数回答可）

1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学
2. スポーツ教室、大会などへの参加
3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動
4. 趣味の同好会活動
5. ボランティアなどの社会活動
6. 障害者団体の活動
7. 地域活動
8. パソコンを利用した社会活動
9. 友達との遊び
10. その他（ スキューバダイビングなどのマリンスポーツ ）
11. 特にない

⑥-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けて下さい。（複数回答可）

- |  |                  |
|--|------------------|
| 1. 新聞  | 2. テレビ           |
| 3. ラジオ                                       | 4. 一般図書          |
| 5. 雑誌  | 6. 録音・点字図書       |
| 7. 自治体広報                                     | 8. インターネット・情報サイト |
| <input checked="" type="checkbox"/> 9. 家族・友人 |                  |
| 10. その他                                      |                  |
- ( )

(福祉サービス)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。（いずれか1つに○を付けてください。）

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

⑦ 必要な福祉サービスなどについてご意見、ご要望などがありましたら自由にお書きください。

福祉サービスを受けるために必要な書類が多すぎる

次頁へ続く↓



## 記入例

### (必要な情報)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

- ① 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

⑧ 今、必要な情報についてお聞かせください。(該当するもの全てに○を付けてください。また、その内容について具体的に知りたいことをお書きください。)(複数回答可)

- ① 福祉サービス
- ② 医療
3. 年金
4. 住まい
5. 就職
6. NPO活動など
7. 健康づくり
- ⑧ 趣味・娯楽
9. 相談・資産・運用
10. 学校教育・幼稚園・保育園
11. その他 ( )
12. 特にない

◎具体的に知りたいこと。

治療に関する情報が知りたい

⑧-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. 新聞       | ② テレビ           |
| 3. ラジオ      | 4. 一般図書         |
| 5. 雑誌       | 6. 録音・点字図書      |
| 7. 自治体広報    | ⑧ インターネット・情報サイト |
| ⑨ 家族・友人     |                 |
| 10. その他 ( ) |                 |

### (その他)

⑨本調査について、改善に関するご意見・ご要望などがありましたらお書きください。

(必要な情報)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

⑧ 今、必要な情報についてお聞かせください。(該当するもの全てに○を付けてください。また、その内容について具体的に知りたいことをお書きください。)(複数回答可)

1. 福祉サービス
2. 医療
3. 年金
4. 住まい
5. 就職
6. NPO活動など
7. 健康づくり
8. 趣味・娯楽
9. 相続・資産・運用
10. 学校教育・幼稚園・保育園
11. その他 ( )
12. 特になし

◎具体的に知りたいこと。

[ ]

⑧-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1. 新聞       | 2. テレビ           |
| 3. ラジオ      | 4. 一般図書          |
| 5. 雑誌       | 6. 録音・点字図書       |
| 7. 自治体広報    | 8. インターネット・情報サイト |
| 9. 家族・友人    |                  |
| 10. その他 ( ) |                  |

(その他)

◎本調査について、改善に関するご意見・ご要望などがありましたらお書きください。

[ ]

※記入しないください。

保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書  
(ライ症候群等用)

第4・四半期分(令和5年1月~令和5年3月)

調査票記入者氏名	本人との関係
----------	--------

提出方法

この保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書は、切り離さず基本情報及びA票(毎月記入用)とB票(四半期ごと記入用)とC票(年1回3月末記入用)と併せて4月1日から4月10日の間に返送願います。

問い合わせ先 独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
健康被害救済部企画管理課

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2

TEL:03-3506-9460

FAX:03-3506-9439

1. 健康被害者情報  
(ホリゴト)

氏名 \_\_\_\_\_ 性別 男 女

基本情報

大正 \_\_\_\_\_ 年 月 日  
 昭和 \_\_\_\_\_ 平成 \_\_\_\_\_

自宅住所 (〒 \_\_\_\_\_ )

[電話番号 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ ]  
 [FAX番号 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ ]

2. 家族構成

同居家族全員を記入してください。 3月末日現在

同居家族本人との続柄をお答え下さい。	年齢	主に介護をしている方に○を付けてください。
(記入例) 母	(記入例) 60	(記入例) <input checked="" type="checkbox"/> 主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている

3. 障害の種類・程度

\_\_\_\_\_ 級  
 \_\_\_\_\_ 級

記入例

1. 健康被害者情報  
(ホリゴト) きこう 太郎 太郎 性別 (男) 女

氏名 齋藤 太郎

生年月日 (昭和) 3000年00月00日

自宅住所 (〒100-0013) 東京都千代田区千代田0-00-0

2. 家族構成  
同居家族全員を記入してください。 3月末日現在  
 同居家族本人との続柄をお答え下さい。

同居家族本人との続柄をお答え下さい。	年齢	主に介護をしている方に○を付けてください。
(記入例) 母	(記入例) 60	(記入例) <input checked="" type="checkbox"/> 主に介護をしている
父	65	<input checked="" type="checkbox"/> 主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている

3. 障害の種類・程度  
 \_\_\_\_\_ 1級  
 \_\_\_\_\_ 級

(ライ症候群等用)

# 生活状況調査票

A票

毎月記入

答えられる範囲でお答え下さい。

(福祉サービス)

3月末日現在

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。

各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。

(複数回答可)

①訪問介護	月に	日 (回)	満足	やや満足	やや不満	不満	利用していない
			①	②	③	④	⑤
介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 [ ]			上記の理由				
②訪問入浴介護	月に	H (回)	満足	やや満足	やや不満	不満	利用していない
介護内容			①	②	③	④	⑤
			上記の理由				
③訪問看護	月に	口 (回)	満足	やや満足	やや不満	不満	利用していない
看護内容			①	②	③	④	⑤
			上記の理由				

④訪問リハビリ	月に	回	満足	やや満足	やや不満	不満	利用していない
			①	②	③	④	⑤
リハビリ内容 上記の理由			上記の理由				
⑤居宅療養管理指導	月に	回	満足	やや満足	やや不満	不満	利用していない
指導内容			①	②	③	④	⑤
			上記の理由				
⑥通所介護	月に	回	満足	やや満足	やや不満	不満	利用していない
介護内容			①	②	③	④	⑤
			上記の理由				
⑦通所リハビリ	月に	回	満足	やや満足	やや不満	不満	利用していない
リハビリ内容			①	②	③	④	⑤
			上記の理由				

次頁へ続く↓



# 生活状況調査票

0票

4半期毎記入

IV期	1月～3月分	令和7年3月末日現在
-----	--------	------------

答えられる範囲でお答えください。

(日常生活)

②以下の質問に回答していただける方についてお答え下さい。  
(いずれか1つに○を付けてください。)

- 健康被害を受けた本人
- 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 本人の意向をくみ取り介護者が記入
- 介護者が回答

①健康被害者が過去3ヶ月間に外出しましたか。(いずれか1つに○を付けて下さい。)  
(外出には通函・通字を含みます。以下の質問も同じ。)

- ほぼ毎日
- 週に4から5回
- 週に2から3回
- 月に2から3回
- まったく外出していない

①-1 外出された方にお聞きします。  
主に誰の介助を受けて外出しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)

- 介助なし
- 配偶者
- 親
- 子供
- その他の家族
- 親戚
- ホームヘルパー
- 隣人・知人
- 雇人
- ボランティア
- その他 ( )

② 外出するうえで、または、外出しようとするうえで、困ることや不満に思うことはありますか。

- ない。
- ある。

②-1 困ることや不満に思うことがある。とお答えいただいた方にお聞きします。  
困ること又は不満に思うことは何ですか。  
(該当するもの全てに○を付けてください。)

- 介助者がいない
- 経費がかかる
- 人の目が気にかかる
- 人と話をすることが困難
- 外出に必要な情報が得られない
- 電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便
- 道路や駅などの公共の場所の利用が不便
- 利用する雑物の設備(階段、トイレ、エレベーター等)の利用が不便
- 人の出聲や車に身の危険を感じる
- 駅などにおける人間関係のトラブル
- その他 ( )

②-2 外出するうえで工夫したことは何ですか。

③健康被害者が過去3ヶ月間に余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)などを行いましたか。

- まったくしていない
- 参加(活動)した

③-1 参加(活動)した方にお聞きします。それはどのような内容でしたか。  
(該当するもの全てに○を付けてください。)

- コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学
- スポーツ教室、大会などへの参加
- 旅行・キャンプ・つりなどの活動
- 趣味の同好会活動
- ボランティアなどの社会活動
- 読書者団体の活動
- 地産活動
- パソコンを利用した社会参加
- 友達との遊び
- その他 ( )

④ 屋内での生活で工夫したことがありません。とお聞きします。

次頁に続く↓

⑦-3 解決策はありましたか。	1. 解決した	2. していない
⑦-4 解決したと答えた方にお聞きします。それは、どのような方法で解決しましたか。		
⑦-5 していないと答えた方にお聞きします。それはどのような方法で解決できると思いますか。		
⑧ 主たる介護者を支えるようなものがありましたか。 (公的介護、友人・知人、ボランティア等)	1. あった	2. なかった
⑧-1 それは具体的にどのようなものですか。		
⑨ 介護者等が過去3ヶ月間に余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)などをしましたか。		
1. まったくしていない		
2. 参加(活動)した		
⑨-1 参加(活動)した方にお聞きします。それはどのような内容でしたか。 (該当するもの全てに○を付けてください。)		
1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学		
2. スポーツ教室、大会などへの参加		
3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動		
4. 趣味の同好会活動		
5. ボランティアなどの社会活動		
6. 障害者団体の活動		
7. 地域活動		
8. パソコンを利用した社会参加		
9. 友達との遊び		
10. その他( )		
⑩ 介護をしていく中で、新しい発見や気分転換などはありましたか。	1. あった	2. なかった
⑩-1 あったと答えた方にお聞きします。それはどのようなこと又はどのようなときですか。		

(主たる介護者の状況)	
◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。 (いずれか1つに○を付けてください。)	
1. 主として介護をしている配偶者	
2. 主として介護をしている親	
3. 主として介護をしている兄弟姉妹	
4. その他( )	
⑥ お答えいただいた方の健康状態について (3ヶ月間のあなたの状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)	たいへん 良所 ①.....②.....③.....④
⑥-1 その理由は何か。	まあ やや 良所 悪い ①.....②.....③.....④
⑦ この1年間に介護をしていく中で、 困ったことが、	1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない 4. 困ったことはない
⑦-1 困ったことがあった方にお聞きします。それはどんなことですか。	
⑦-2 誰かに相談しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)(複数回答可) ※選択肢1、2、3、11を選択する場合は、カッコの中のアルファベットに○を付けてください。	
1. 親 (a 父親 b 母親)	2. 配偶者 (a 夫 b 妻)
3. 子供 (a 息子 b 娘 c 娘の夫 d 息子の妻)	7. 会社の上司・同僚
4. 兄弟姉妹	5. 祖父母
8. 学校の先生	9. 医師
10. 不慮師・保健師	
11. 公的機関の職員等 (a 身体障害者更生相談所 b 福祉事務所 c 市 (区) 役所 d 民生委員 e 身体障害者相談員)	
12. 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の保健福祉相談窓口	
13. 障害者の団体 (親、家族の会を含む)	
14. 障害者相談支援センター (相談支援事業者を含む) ※1	15. 地域包括支援センター ※2
16. その他 ( )	
17. 相談する人はいない	
※1: 障害者相談支援センターとは、在宅や地域で生活する障害のある方やその家族のための相談窓口で、各市区町村に設置されている。	
※2: 介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市区町村に設置されている。	



# 生活状況調査票

C票

作1回3月末記入

## 3月末日現在

寄せられる範囲でお答えください。  
(治療状況)

②以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

- 健康被害を受けた本人
- 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 本人の意向をくみとり介護者が記入
- 介護者が回答

① 健康被害を受けた方の治療状況

① 入院中  
(いつから入院していますか： 月) から (月) 回)

② 通院中 (往診含む)

② 副作用の疾患以外で治療を受けるときに注意していることはありませんか。

- 通院時に注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。
- 事前に交通機関(時刻や乗り換え)やルートを確認しておく
- 通院時にはヘルパー等に同行を依頼する(一人では外出しない)
- 家族などによる送迎(公共交通機関の利用を避ける)
- その他

具体的にお願いします

②-2 治療を受けるときに注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。

- 既往歴を告げる
- お薬手帳を持参
- 自らが受けている医療について分らないことは、医師、薬剤師、看護師などの医療スタッフに聞くようにしている
- その他

具体的にお願いします

②-3 その他注意している点

(日常生活)

③以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

- 健康被害を受けた本人
- 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 本人の意向をくみとり介護者が記入
- 介護者が回答

③ この1年間で困ったことが、

1. 増えた 2. 減った

3. 変わらない 4. 困ったことはない

③-1 困ったことがあった方にお聞きします。それはどんなことですか。

③-2 誰かに相談しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)(複数回答可)

※選択肢1, 2, 3, 11を選択する場合は、カッコの中の1つが必ず○を付けてください。

- 親 (a 父親 b 母親) 2. 配偶者 (a 夫 b 妻)
- 子供 (a 息子 b 娘) c 娘の夫 d 息子の妻
- 兄弟姉妹 6. 友人・知人 7. 会社の上司・同僚
- 学校の先生 9. 医師 10. 看護師・保健師
1. 公的機関の職員等 (a 身体障害者更生相談所 b 福祉事務所 c 市 (区) 役所 d 民生委員 e 身体障害者相談員)
2. 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の保健福祉相談窓口
3. 障害者の団体 (親、家族の会を含みます)
4. 障害者相談支援センター (相談支援事業者を含む) ※1
5. 地域包括支援センター※2
6. その他 ( )
7. 相談する人はいない

※1：障害者相談支援センターとは、在宅や地域で生活する障害のある方やその家族のための相談窓口で、各市区町村に設置されている。

※2：介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市区町村に設置されている。

③-3 解決策はありましたか。

- 解決した
- していない

③-4 解決したと答えた方にお聞きします。それはどのような方法で解決しましたか。

③-5 していないと答えた方にお聞きします。それは、どのような方法で解決できると思いますか。

次頁へ続く↓

① 過去1年間の日常生活の満足度を教えて下さい。(最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)	満足 やや満足 やや不満 不満 ①.....②.....③.....④
④-1 その満足度の理由は何か。	
⑤ 日常生活を満足するために、一番やりたいことは何ですか。最も良く当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。	
1. コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦 2. 旅行・外出 3. 趣味 4. 社会活動・団体活動(患者会の活動も含む) 5. その他	
具体的に書き込んで下さい:	
⑤-1 実現できそうですか。(最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)	出来る やや出来る あまり出来 出来ない と思う ないと思う と思う ①.....②.....③.....④
⑤-2 その理由は何か。	
⑥ 健康被害者が今後やってみてみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などについて、該当するもの全てに○を付けてください。(複数回答可)	
1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 2. スポーツ教室、大会などへの参加 3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動 4. 趣味の同好会活動 5. ボランティアなどの社会活動 6. 障害者団体の活動 7. 地域活動 8. パソコンを利用した社会活動 9. 友達との遊び 10. その他( ) 11. 特になし	
⑥-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けて下さい。(複数回答可)	1. 新聞 2. テレビ 3. ラジオ 4. 一般図書 5. 雑誌 6. 録音・点字図書 7. 自治体広報 8. インターネット・情報サイト 9. 家族・友人 10. その他( )

(福祉サービス)

⑥以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)	
1. 健康被害を受けた本人 2. 本人の意向を聞いて介護者が記入 3. 本人の意向をくみとり介護者が記入 4. 介護者が回答	
⑦ 必要な福祉サービスなどについてご意見、ご要望などがありましたら自由にお書きください。	
(必要な情報)	
⑥以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)	
1. 健康被害を受けた本人 2. 本人の意向を聞いて介護者が記入 3. 本人の意向をくみとり介護者が記入 4. 介護者が回答	
⑧ 今、必要な情報についてお聞かせください。(該当するもの全てに○を付けてください。また、その内容について具体的に知りたいたいことをお書きください。)(複数回答可)	1. 福祉サービス 2. 医療 3. 年金 4. 作まい 5. 就職 6. NPO活動など 7. 健康づくり 8. 趣味・娯楽 9. 相談・支援・運用 10. 学校教育・幼稚園・保育園 11. その他( ) 12. 特になし ⑨具体的に知りたいたいこと。
⑧-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けてください。(複数回答可)	1. 新聞 2. テレビ 3. ラジオ 4. 一般図書 5. 雑誌 6. 録音・点字図書 7. 自治体広報 8. インターネット・情報サイト 9. 家族・友人 10. その他( )
⑨ 本調査について、改善に関するご意見、ご要望などがありましたら自由にお書きください。	

記入要領  
この報告書は、調査研究対象者が答えられる範囲で回答し、切り離さず、生活状況調査票A票（毎月記入用）、B票（四半票毎記入用）及びC票（年3回3月未記入用）と併せて、4月1日から4月10日までの間に提出してください。

記入例

<p>生活状況調査票 3月未記入用</p> <p>記入例</p> <p>1. 性別 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女</p> <p>2. 年齢 <input type="text" value="45"/> 歳</p> <p>3. 職業 <input type="text" value="会社員"/> (職業の種類を記入してください。)</p> <p>4. 収入 <input type="text" value="25"/> 万円 (収入の種類を記入してください。)</p> <p>5. 支出 <input type="text" value="20"/> 万円 (支出の種類を記入してください。)</p> <p>6. 貯蓄 <input type="text" value="5"/> 万円 (貯蓄の種類を記入してください。)</p> <p>7. 借入金 <input type="text" value="0"/> 万円 (借入金の種類を記入してください。)</p> <p>8. その他 <input type="text" value=""/> (その他を記入してください。)</p>		<p>生活状況調査票 3月未記入用</p> <p>記入例</p> <p>1. 性別 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女</p> <p>2. 年齢 <input type="text" value="45"/> 歳</p> <p>3. 職業 <input type="text" value="会社員"/> (職業の種類を記入してください。)</p> <p>4. 収入 <input type="text" value="25"/> 万円 (収入の種類を記入してください。)</p> <p>5. 支出 <input type="text" value="20"/> 万円 (支出の種類を記入してください。)</p> <p>6. 貯蓄 <input type="text" value="5"/> 万円 (貯蓄の種類を記入してください。)</p> <p>7. 借入金 <input type="text" value="0"/> 万円 (借入金の種類を記入してください。)</p> <p>8. その他 <input type="text" value=""/> (その他を記入してください。)</p>
<p>生活状況調査票 3月未記入用</p> <p>記入例</p> <p>1. 性別 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女</p> <p>2. 年齢 <input type="text" value="45"/> 歳</p> <p>3. 職業 <input type="text" value="会社員"/> (職業の種類を記入してください。)</p> <p>4. 収入 <input type="text" value="25"/> 万円 (収入の種類を記入してください。)</p> <p>5. 支出 <input type="text" value="20"/> 万円 (支出の種類を記入してください。)</p> <p>6. 貯蓄 <input type="text" value="5"/> 万円 (貯蓄の種類を記入してください。)</p> <p>7. 借入金 <input type="text" value="0"/> 万円 (借入金の種類を記入してください。)</p> <p>8. その他 <input type="text" value=""/> (その他を記入してください。)</p>		<p>生活状況調査票 3月未記入用</p> <p>記入例</p> <p>1. 性別 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女</p> <p>2. 年齢 <input type="text" value="45"/> 歳</p> <p>3. 職業 <input type="text" value="会社員"/> (職業の種類を記入してください。)</p> <p>4. 収入 <input type="text" value="25"/> 万円 (収入の種類を記入してください。)</p> <p>5. 支出 <input type="text" value="20"/> 万円 (支出の種類を記入してください。)</p> <p>6. 貯蓄 <input type="text" value="5"/> 万円 (貯蓄の種類を記入してください。)</p> <p>7. 借入金 <input type="text" value="0"/> 万円 (借入金の種類を記入してください。)</p> <p>8. その他 <input type="text" value=""/> (その他を記入してください。)</p>



## **Ⅶ 健康状態報告書（診断書様式）**



－ 1 － 20 －

※記入しないでください。

## 健康状態報告書

### 提出方法

この健康状態報告書は10月1日から12月末日までの間に病院又は診療所で証明してください。

なお、保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書と併せて1月1日から1月10日の間に返送願います。

問い合わせ先 独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
健康被害救済部企画管理課  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2  
TEL 03-3506-9460  
FAX 03-3506-9439

D票

(S J S 医師記入用)

年1回記入

### 健康状態報告書

患者氏名		男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日	カルテNo.
------	--	-----	------	----------	-------	--------

(測定日： 年 月 日)

① 視 力 (視力測定の際の照度は200ルクスとします。)

	裸 眼	矯 正	矯正眼鏡
右 眼			D
左 眼			D

② 所 見 (必要なときは適宜図示してください。)

前 眼 部 所 見	中 間 透 光 体 所 見	眼 底 所 見
右	右	右
左	左	左

③ 視 野 (傷病から視野障害を測定する必要があると認めた場合には測定してください。)

④ QOL（生活の質）の改善のために医学的に行えることについてご意見がありましたら具体的にお書きください。（眼科医の視点からのQOL改善について）

⑤ その他に呼吸機能障害、運動機能障害等の症状がある方の現況（眼科医の視点から）

令和 年 月 日

病院又は診療所の名称

診療担当科名  
医師氏名

所在地 〒

電話番号

－ 2 － 20 －

※記入しないでください。

## 健康状態報告書

### 提出方法

この健康状態報告書は10月1日から12月末日までの間に病院又は診療所で証明してください。

なお、保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書と併せて1月1日から1月10日の間に返送願います。

問い合わせ先 独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
健康被害救済部企画管理課  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2  
TEL 03-3506-9460  
FAX 03-3506-9439

D票

(ライ症候群医師記入用)

年1回記入

## 健康状態報告書

患者氏名		男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日	カルテNo.
------	--	-----	------	----------	-------	--------

① 一般身体所見として特記すべき事項

② 知的障害に関わる所見

③ 神経学的所見

- 起立：可能 ・ 介助があれば可能 ・ 不可能
- 歩行：可能 ・ 介助があれば可能 ・ 不可能
- 四肢の運動機能：自発運動可能 ・ 自発運動不可能
- 深部腱反射：正常 ・ 亢進 ・ 低下
- 筋トーン：正常 ・ 亢進 ・ 低下
- その他の神経学的所見

④ 日常生活状況（現在入院中・入所中・その他）

ア 全般的状況について（家庭及び家庭以外の者と対人関係についても具体的に記載してください。）

イ 知的障害に関連した日常生活能力について（該当するものを選んで、いずれか1つを○で囲んでください。）ここで言う知的障害とは、病的体験・欠陥・痴呆・知能遅滞・性格変化等をいいます。

- (ア) 社会生活は普通にできる。
- (イ) 家庭内での日常生活は普通にできるが、社会生活はできない。
- (ウ) 家庭内での単純な日常生活はできるが、時に応じて介護が必要である。
- (エ) 身のまわりのことはかろうじてできるが、適当な介護が必要である。
- (オ) 身のまわりのことは全くできない。

ウ 運動機能障害に関連した日常生活能力について（該当するものを選んで、いずれか一つを○で囲んでください。）

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| ●食事                  | ひとりでできる・介助があればできる・経管栄養等 |
| ●用便（月経）の始末           | ひとりでできる・介助があればできる・オムツ   |
| ●入浴・洗面・衣服の着脱         | ひとりでできる・介助があればできる       |
| ●簡単な買物               | ひとりでできる・介助があればできる・できない  |
| ●家族との話               | 通じる ・少しは通じる ・通じない       |
| ●家族以外の者との話           | 通じる ・少しは通じる ・通じない       |
| ●刃物・火等の危険            | わかる ・少しはわかる ・わからない      |
| ●戸外での危険（交通事故等）から身を守る | 守れる ・不十分ながら守れる・守れない     |
| ●その他（                | ）                       |

⑤ QOL（生活の質）の改善のために医学的に行えることについてご意見がありましたら具体的にお書きください。

令和 年 月 日

病院又は診療所の名称

診療担当科名  
医師氏名

所在地 〒

電話番号

## **VIII 自由欄に記載されたお悩み事項についてのFAQ**



## 自由欄に記載されたお悩み事項についてのFAQ

### ○介護関係

・ 仕事でとても忙しい上に、つかれて帰ってきてても介助をしなくてはいけない。  
⇒お仕事に加え、日々介助のご負担が重くかかっていることのご苦労をお察しいたします。あまりに負担が大きい場合、お一人で抱えず周囲のサポートを受けることをご検討されてはいかがでしょうか。まずは何が一番たいへんだと感じておられるか、整理してみることから始めてみるのも一つの方法かと思います。

・ 仕事の都合で介助できないことがある  
・ 急な用事の際、すぐに代わりの介護者が見つからない。  
・ 介護者の具合が悪い時（インフル等）でも頼ることができるサービスを教えてほしい。

⇒お仕事や急用、ご病気などで介助ができなくなるのは仕方のないことです。日頃からピンチヒッターを依頼する準備をなさっておくと、介助をなさる方のみならず、受ける方も安心のはずです。ご年齢や障害の程度に応じてサービスの枠が異なりますので、お住まいの自治体にお問い合わせください。

・ 私が利用出来る福祉サービスは主に同行援護であるが依頼等での利便性を良くしてほしい

⇒同行援護の依頼に際して利便性がよくないのですね。時間調整が難しい、あるいはヘルパーの手立が容易でないといった内容でしょうか。事業所により利便性の差があるようです。具体的な内容について、自治体の障害担当窓口にご相談されてはいかがでしょうか。

・ ガイドヘルプサービスの充実や視力障害者に特に配慮した老令者住宅を充実してほしい。

⇒ご指摘の通り、ガイドヘルプサービスの充実はより一層進んでほしいところです。視力障害者に特に配慮した高齢者住宅についてですが、昨今、一般的な介護保険適用の高齢者施設に、視力障害者が入所されているケースは多いようです。近隣の施設に視力障害者が入所されているか、情報収集されてみるのも良いかもしれません。

・ 介護について、どんなサービスを利用できるか情報がほしい

⇒介護については、介護保険の枠、あるいは障害者支援の枠において、外出支援（同行援護や移動支援など）・生活支援（身体介護や、洗濯掃除など家事援助）・施設介護（施設入所や短期入所、デイサービスやリハビリテーション）

など多彩なメニューが用意されています。何のサービスを希望されるかまず整理されてはいかがでしょうか。

- ・ 親が亡くなった後の調査協力本人に対しての支援について教えてほしい。  
⇒社会福祉協議会で行なっている「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」や、各自治体で行なわれている障害者サービス「意思疎通支援」などを利用されてはいかがでしょうか。

#### 【その他参考】

既に受給されている方もいらっしゃると思いますが、SJSが発症し後遺症が残った場合は、障害者認定を受けることをお勧めします。障害者認定には障害の程度によって段階があり、その段階によって障害基礎年金、障害厚生年金など、様々な保護を受けることができます。

代表的なものとして

- ・ 国民年金(障害基礎年金)
- ・ 厚生年金保険(障害厚生年金)
- ・ 医療費の軽減
- ・ 補装具の交付
- ・ 交通機関の割引

などがあります。また、他にも自治体によって受けられる保護もありますので、詳しくは各自治体までお問合せください。（SJS患者会HPから）

介護や介助を必要とされる場合、ご年齢やご状況により、障害福祉サービスや介護保険制度が利用できる場合があります。まずはお住まいの市区町村にご相談ください。代表的なサービスとしては、居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、同行援護（視覚障害の方の外出の際の情報提供や介護）、短期入所（ショートステイ）などがあります。

- ・ 障害福祉サービス

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/shougaisshahukushi/service/naiyou.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisshahukushi/service/naiyou.html)

- ・ 介護保険サービス

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000608309.pdf>

◆介護保険と障害福祉で同じサービスがある場合（例：ホームヘルプなど）、65歳以上の方は原則として介護保険サービスの利用が優先です。

## ○外出に対する対応

- ・ 旅行をサポートしてくれるようなサービスがほしい。
- ⇒移動支援サービスのほか、ボランティア団体でそのような企画をしていることもあるようです。一度ボランティアセンター等に相談されてはいかがでしょうか。

## ○日常生活に関すること

- ・ 手紙や公的機関からのお知らせ・通知の内容を確認することが難しい。
- ⇒公的機関からのお知らせについては、電子メールでも送信してもらおうようご依頼されてはいかがでしょうか。電子メールであればコンピュータや電話機が読むことが可能になると考えます。

### 【その他参考】

少子高齢化対策として地域内で高齢者を支える地域包括ケアシステムがあります。高齢者が要介護になっても住み慣れた地域で過ごせるように、「住まい」「介護」「医療」「予防」「生活支援」といった必要なサービスを、地域一帯となって提供する体制を目指しています。2025年をメドに整備が進められていますが、この地域の中核機関として設置されているのが地域包括支援センターです。地域包括支援センターは、在宅介護支援センターの運営法人や社会福祉法人、社会福祉協議会、医療法人、民間企業、NPOなどが市町村から委託を受けて運営しています。各センターには、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの3つの専門職、またはこれらに準じる者が必ず配置されています。「介護予防ケアマネジメント」「包括的・継続的ケアマネジメント」「総合相談」「権利擁護」の4つを業務の柱として、地域に住む高齢者に加え、その支援や介護に携わっている方々を支える役割を果たしています。地域包括支援センターは、前述の通り、高齢者のためのよろず相談所のような性格を持っています。例えば、「近所の一人暮らしのおじいちゃんの姿を最近、見ないんだけど」「お隣の老夫婦の家にゴミがたまって困る」といったように、地域住民からの相談も受け付けています。もちろん、要介護認定の申請や、介護サービスの手続き、介護サービスの事業所の紹介など、介護サービスにかんする最初の窓口としても機能しています。責任主体は各自自治体になりまので、お住まいの市町村で設置の有無等を確認の上、ご活用下さい。（厚生労働省等のHPから）

⇒iPadを利用して意思ツールとして使うと便利。（調査研究の自由記載から）

⇒ラジオから日常の情報を得る。（調査研究の自由記載から）

⇒家で段差のあるところに目印をつけておく。身の回りに必要なものを揃える。（調査研究の自由記載から）

⇒危ないので軽い食器を使うようにしている。（調査研究の自由記載から）

⇒最近は家庭内でのA Iスピーカー利用の応用で音声指示により家電リモコンでエアコン操作やネット動画視聴、地方の放送局の視聴などがとても容易になり、情報も入手しやすくなっている。（調査研究の自由記載から）

⇒食材を切る時に見やすくなる為、黒いまな板を使っている。（調査研究の自由記載から）

### ○経済的な不安

・ 就業していない為、一定の収入がなく障害者基礎年金や機構からの謝金だけで生活していくしかない。

⇒就労移行支援で訓練中のビジネスP Cスキルを生かして、企業内ヘルスキーパーへの就職をした。（調査研究の自由記載から）

⇒就業を希望される場合、障害者雇用などの制度を利用して、障害や体調への配慮を受けながら働くことができる場合があります。ハローワークの専門援助窓口や障害者就業・生活支援センターなどにご相談ください。

障害者雇用のために必要な障害者手帳の取得については主治医や各市区町村の窓口にご相談ください。

### ○その他

・ 映画で視力障害者用の解説（音声）サービス、プールでの助泳者派遣を行ってほしい。

⇒市区町村で行なっている、障害者向けの、意思疎通支援、移動支援サービスが利用できないか、ご確認されてはいかがでしょうか。

・ 将来、グループホームに入れたいけど無いです。簡単にはつくれない。

⇒おっしゃる通り、簡単にはグループホームは作れないと考えます。お住まいの市区町村にグループホームがない場合、近隣の市区町村にないか、確認されてはいかがでしょうか。

・ 視力障害者が受けられるサービスを教えてほしい。

⇒まずはお住まいの自治体にご相談ください。代表的なサービスとしては、居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、同行援護（視覚障害の方の外出の際の情報提供や介護）、短期入所（ショートステイ）などがあります。

・ おなじ仲間がどうやって暮しているのか情報共有したい。

⇒患者会にご相談されてはいかがでしょうか。

（全体に対して：よろしければ「副作用被害救済制度保健福祉相談窓口」もご利用ください。患者様およびそのご家族からの精神的なケアや福祉面でのご相談を当機構の

精神保健福祉士または社会福祉士が承っています。  
(0120-709-566) 平日 9 時～ 5 時